知多の自然観察

2018（平30）年 1月～12月

年　報

夜の観察会（ナイトハイキング）

知多自然観察会

－愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部－

はじめに

日本漢字能力検定協会が募集して決定した今年の漢字は「災」でした。北海道、大阪、島根で起きた地震、西日本豪雨、相次いだ台風の襲来、記録的猛暑など、日本各地で自然災害が頻発しました。運よく、というと大いに語弊があるでしょうが、当地方においては地震や豪雨の被害はこうむらずにすみました。しかし、この夏の猛暑は私どもの観察会活動にとっても大きな脅威になりましたし、台風襲来によって中止を余儀なくされた行事もありました。まさに「災」について多くを学んだ一年だったように思います。

時々読み返して勇気付けられる本があります。サル学の権威として著名な河合雅雄先生が書かれた「森に還ろう」という本で、その中で河合先生、子どもの自然体験の大切さを説いておられます。私たちの会は、自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを広め、活動の場である自然を守るように努めることを目的としています（会則第2条）。観察会活動を行っていく中でその意義について迷いや疑義が生じたときに、原点に帰ってこの方向性でいいんだと思い起こさせてくれる、私にとって貴重な本です。

今年も一年間の活動の記録を冊子にすることができました。観察会の委託をしていただいた自治体の関係部署をはじめとする関係者の皆様に感謝いたします。

「災い転じて福となす」ということわざがあります。今年起きた多くの「災い」を教訓として、少しでもいい方向に転じていけるように努力したいと思います。

平成30年12月31日

知多自然観察会代表　　榊原　靖

目　　次

はじめに　　頁

1　目　　次 ―― 2
2　編集について　　3
3　知多自然観察会について
　・概　　要　　4
　・会　　則　　5

4　2018年の事業計画（会員用） ―― 6

5　支部担当の事業 ―― 12
　・持ち寄り会　　・宿泊研修Ⅰ(春)　　・宿泊研修Ⅱ(秋)
　・知多地方みどりの少年団交歓会

6　ブロック担当の観察会
　(1) 阿久比ブロック ―― 20
　(2) 大　府　〃　　27
　(3) 武　豊　〃　　29
　(4) 知　多　〃 ―― 37
　(5) 東　海　〃　　46
　(6) 常　滑　〃　　51
　(7) 半　田　〃 ―― 56
　(8) 東　浦　〃　　63
　(9) 美浜・南知多　〃　　69

7　臨時の観察会 ―― 76
　・フナビオ(船島小学校)　　・野崎川の生きもの(知多市八幡みどり保存会)
　・東海市エコスクール(３回)

8　発表の場（会員の投稿記事） ―― 84
　・カタツムリとモモタナマ　　・ツノゼミ発見　　・ホルトノキの花
　・マルカメムシの幼虫と成虫　　・イチジクの種子　　・ラッパイチョウ
　・ショウガの根茎の側根に塊根　　・イヌマキの芽生え（胎生種子）

9　役員一覧表 ―― 99

10　編集後記 ―― 100

【編集について】

知多自然観察会ＨＰのURL

http://chitakan.com/

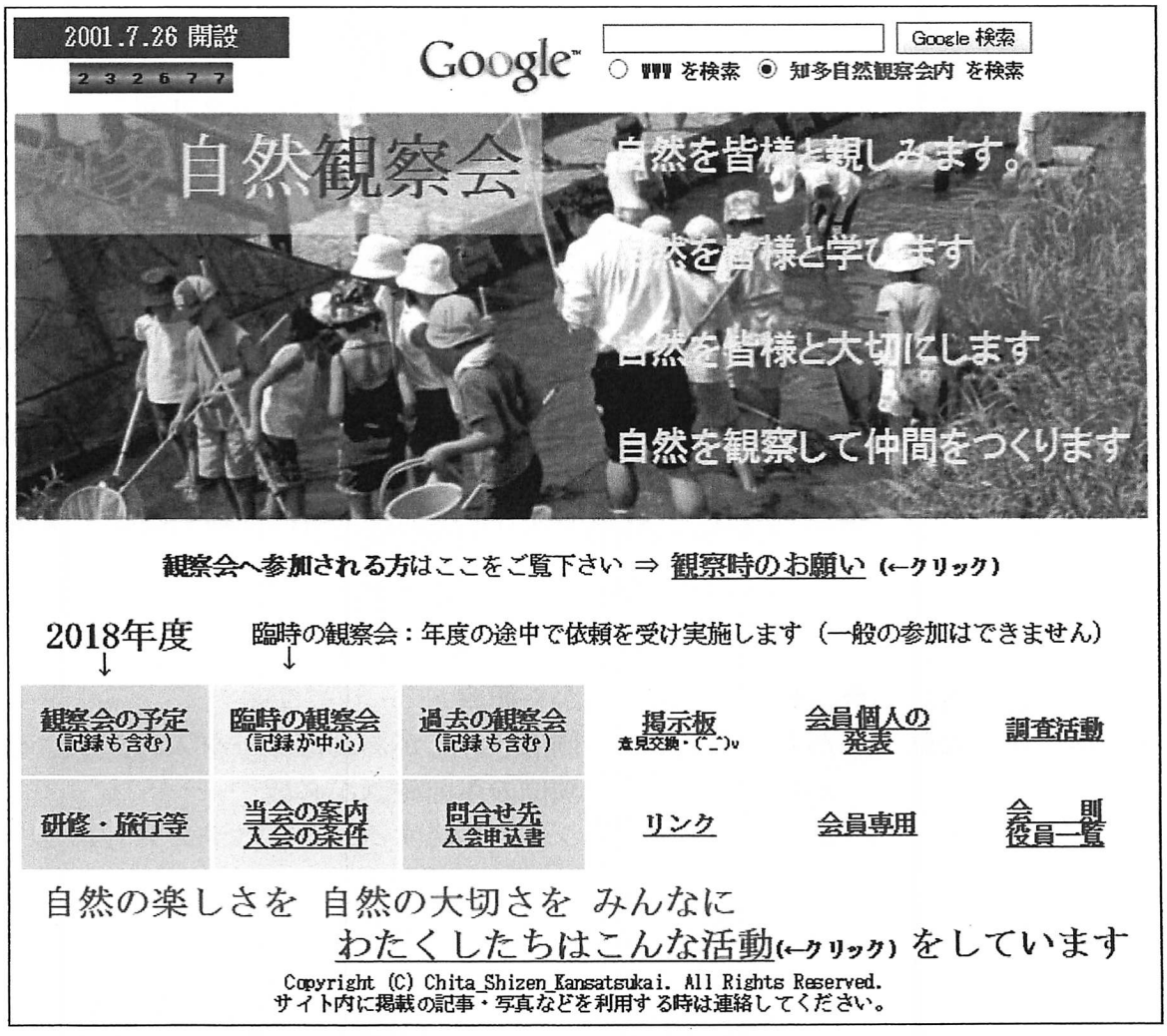
この「2018年 年報」は2018年1月～12月の活動の報告です。

また、この冊子に掲載の記事は、すべて、上記のホームページからの抽出です。

従って、掲載の活動例などはホームページをプリントアウトしたものをそのまま利用しています。ただし、観察会の紹介については一つの活動を印刷しますと文字や掲載写真の多いページは２，３ページになるものもありますので、ここでは、すべて、縮小印刷するなどして１ページに程よく収まる程度の分だけを印刷し掲載しています。

そのため掲載の写真が活動の中心を表していないことが多々あります。このことも併せて宜しくご承知下さい。機会がありましたら、是非、上記ホームページにアクセスいただき実際の全ページをご覧下さい。

以下は知多自然観察会ＨＰのトップページです。



※2019.1.7 現在のトップページ

本 会 の 概 要

1．名 称 等

・会の名称　知多自然観察会　（愛知県自然観察指導員連絡協議会知多支部）
・設立年月　１９８２年５月
　　知多地方自然観察研究会の名称で発足（会員８名で発足）
・周年記念　1192.6　発足 10 周年記念大会開催（半田市勤労会館）
　　2002.5　　20 周年　　(知多市地域文化センター)
　　2012.11　　30 周年　　(　　〃　　)
・会則制定　2006.2.19 総会で承認
・総　　会　原則、毎年２月に開催
・事業年度　４月から翌年３月。ただし、会計年度は１月から１２月
・会　　員　８８名（2018.12.8 現在）
・役　　員　１５名（顧問、代表、副代表、庶務、会計、会計監査、世話役）
・ブロック　９ブロック
　　(阿久比、大府、武豊、知多、東海、常滑、半田、東浦、美浜・南知多)
・年 会 費　１，０００円

2．自然観察会の実施状況（2018 年１月～１２月）

・支部担当事業　役員会、会員研修会、県民センター委託など…２４回
・自 然 観 察 会　本会主催観察会（ブロック主催の観察会）……３０回
　　市町等主催観察会（前年度に予約済）……６０回
　　その他主催観察会（年度途中に要請）……約５回
・観察会の場所　公園、野道、川、海岸、里山、神社、湿地
・一般参加者数　少ないとき…０～１家族(２，３名)　多いとき…数十名
　　当日指導員…２～10 数名(特別な場合は 20 数名)
・雨 天 の 場 合　雨天は原則中止。ただし、担当指導員およびほかの指導員が集合するので、中止宣言のあと、そのまま指導員だけで観察に出発する場合もある。一般参加者もよければ一緒に行動することは可能である。

3．観察会の日時　原則、土曜または日曜　９：３０～１１：３０

・公園…駐車場に集合。公園内の散策路から観察
・野道…適切な駐車場から野道を歩く。側溝(小川)があればタモを入れたりする
・海岸…　〃　から海岸へ移動。潮位の事前確認が必要
・ 川 …　〃　から川へ移動。ハシゴで昇降する。夏日はテントも必要
・朽木…林の中の朽ち木をマイナスドライバーでばらす
・工作…自然の材料を利用。グルーガンを使用する場合もある
・ 夜 …日没頃に集合。ナイトハイクしながら観察。灯火採集装置をセットする

知多自然観察会　会則

(名　称)　第１条　本会は知多自然観察会と称する。

(目　的)　第２条　自然観察会を通して自然とつきあうことの楽しみを人に広めるとともに活動の場となる自然を守るように努力する。

(事　業)　第３条　前条の目的を達成するため次の事業を行う。
自然観察会ガイド、里山活動、自然物の工作、生きもの調査、総合的学習のお手伝い、会員研修会など

(会　員)　第４条　自然観察指導員講習会を受講した者、または、本会の目的に賛同し、本会への参加を希望する者とする。

(会　費)　第５条　会員は毎年５月末日までに会費を納入しなければならない。

(退　会)　第６条　退会を希望する者は代表または世話役に申し出るものとする。
２．会費未納の者は会員の資格を失う。

(役　員)　第７条　本会には次の役員をおく。

顧　　問	若干名
代　　表	１名
副 代 表	若干名
世 話 役	市、町からの代表
庶　　務	１名
会　　計	１名
会計監査	２名

(役員の任期)　第８条　任期は一年とするが再任を妨げない。

(役員の選出)　第９条　代表・会計監査は会員中より互選する。総会で承認を得る。
顧問・副代表・庶務・会計は代表が委嘱する。総会で承認を得る。
世話役は各市町で互選する。総会で承認を得る。

(役員の補充)　第10条　役員に欠員が生じたときは速やかに代理を選出する。

(総　　会)　第11条　本会は毎年１回、原則２月に総会を開催するものとする。
総会の決議は出席者の過半数による。

(役　員　会)　第12条　総会に代わる決議機関とする

(会計年度)　第13条　会計年度は毎年１月１日に始まり12月31日に終わる。

(役員の補充)　第14条　会則の変更は総会または役員会において過半数の賛成を得て行なう。

(内　　規)　第15条　本会の円滑な運営のために内規を定めることができる。

(附　　則)　１　この会則は平成26年２月９日より実施する。
２　本会の事務局は当分の間、庶務宅とする。
＊ 附則の１の年月日は総会で変更があった場合、その総会の実施日が記される。

(覚え)　１　この会則の最初の制定日は平成18年２月19日である
(当日の総会で承認された)
２　平成19年２月19日の総会で７条を次のように変更した。
・世話役「市町代表…10名以内」を「市町及び里山クラブからの代表」に変更
・会計監査「１名」を上記条文の２名に変更
３　平成23年２月13日の総会で７条を次のように変更した。
・世話役「市町及び里山クラブからの代表」を上記条文の通りに変更

2018(平30)年 （1月～12月） 事 業 計 画

◎ 備 考

・種らん…… 募 ＝知多自然観察会主催

受募＝市町等が主催、当日受付でも参加可

受託＝市町等が主催、当日受付での参加は不可(事前申し込みが必要)

・保険らん… 協 ＝県協議会へ保険金を納入

・担当らん…阿久＝阿久比 美南＝美浜・南知多

・テーマらんの主催者……セレトナ＝二ツ池セレトナ

東海-施管協＝東海市施設管理協会

・集合場所らん……健康の森事務所＝あいち健康の森公園管理事務所

みどり公園事務所＝大府みどり公園管理事務所

東浦学習の森＝東浦自然環境学習の森

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」 ●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	13	土			支部	1月役員会 ※ 次第、総会の役割分担	未定 13:30	庶務
2	18	1	14	日	受託		大府	「⑨冬に出会える鳥たち」●二ツ池セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
3	18	1	20	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)細川
4	18	1	21	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺に来た鳥たちを見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)畠
5	18	1	27	土			支部	総会資料の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
6	18	1	27	土	受募		知多	「朽木や落ち葉に生活する生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)近藤
7	18	1	27	土	受託		東海	「公園の野鳥観察」●東海市施管協 参加費100円	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964)岩崎
8	18	1	28	日	募	協	阿久	「朽木の虫を観察しよう」	エスペランス丸山P 9:30	平松裕(090-8071-3954)畠
9	18	2	4	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
10	18	2	10	土	受託		知多	「長旅してきた身近な野鳥」●こども未来館	こども未来館 9:30	神野(080-5169-3964)吉房
11	18	2	11	日	受募		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多 みさき支店P 9:30	河原(0569-82-2307)田中達
12	18	2	17	土	受託		東海	「朽木の虫観察」●東海市施管協 参加費100円	大池公園テニスコート前P 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
13	18	2	17	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
14	18	2	18	日	受託		大府	「⑩朽木に集まる虫たち」●二ツ池セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井一

15	18	2	24	土			支部	総会議事録等の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
16	18	2	25	日	受募	協	美南	「冬鳥と旅鳥カワウの子育て」●美浜町環境保全課	美浜町総合体育館正面玄関 9:30	岩井(0569-87-5661) 永田孝
17	18	3	10	土			支部	持ち寄り会	未定 9:30	榊原正
18	18	3	18	日	受託		大府	「⑪春に出会える鳥たち」● 二ツ池セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974) 門脇重
19	18	3	25	日	受募		常滑	「朽ち木のダンゴムシたち ●大曽公園事務所	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
20	18	4	1	日	受募	協	東浦	「春の野山を見よう」	東浦町体育館玄関前 9:30	岩本(0569-58-0952) 竹内秀
21	18	4	8	日	募	協	武豊	「野山の息吹に触れよう」	別曽池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
22	18	4	8	日	受託		大府	「①植物おもしろ探検隊」● セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
23	18	4	14	土	受募		常滑	「野草摘みと野草料理」●常滑市教育委員会	青海市民センターP 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
24	18	4	14	土	募		東浦	「竹林の探検をしよう」●東浦町環境課	東浦学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
25	18	4	21	土	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	加藤(0569-21-7702) 榊原靖
26	18	4	28	土	受託		知多	「春の野草と虫さん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025) 吉川勉
27	18	5	6	日	受託		大府	「②昆虫おもしろ探検隊」● セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
28	18	5	12	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	出光興産 愛知製油所 9:30	南川(0569-42-5382) 中井康
29	18	5	12	土	受募		東浦	「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
30	18	5	12	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
31	18	5	13	日	募	協	阿久	「田んぼの生き物観察」	グループホーム阿久比P 9:30	平松裕(090-8071-3954)山田和
32	18	5	13	日	募	協	常滑	「砂浜のハマヒルガオたち」 - あいちの自然観察会 -	蒲池漁港P 9:30	中井三(0569-42-2021)森田琢
33	18	5	13	日	受託		大府	「春のいきものをさがそう」● 大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974) 吉川洋
34	18	5	19	土	受募		知多	「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	浅井一(090-3387-8007)野村
35	18	5	19	土	受託		東海	「ヒメボタルを見よう」●東海市施管協 参加費100円	上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992) 浅井一
36	18	5	19	土	受募	協	美南	「山で発見 ヒメボタル」●美浜町環境保全課	美浜町時志観音P 21:30	百合草(0569-82-2354)永田寛

37	18	5	20	日	募	協	武豊	「初夏の野草や花、虫たちに会おう」	壱町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠
38	18	5	20	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
39	18	5	26	土			支部	宿泊研修　1日目	未定 ○:○	(牧野)
40	18	5	27	日			支部	宿泊研修　2日目	未定	(牧野)
41	18	5	27	日	受募		美南	「アオウミウシを見つけよう」(小佐)●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村英
42	18	5	27	日	募		美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
43	18	5	未	平			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	(南川)
44	18	6	2	土	募	協	阿久	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
45	18	6	2	土	受募		東浦	「明徳寺川の生き物を探そう」●東浦町環境課	於大公園第1P(プール側) 9:30	田中央(0562-34-6040)山田公
46	18	6	16	土	募	協	武豊	「光り飛ぶホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畑中
47	18	6	16	土	受託		知多	「佐布里のホタルの観察をしよう」●こども未来館	水の生活館P場 19:00	吉房(0562-55-9025)中井康
48	18	6	16	土	受託		半田	「亀崎海岸の生き物」干潮13:46　●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
49	18	6	24	日	受託		大府	「③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
50	18	6	30	土	受託		知多	「海辺の生きものの観察しよう」●こども未来館	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	森田博(0569-87-0725)吉川勉
51	18	7	1	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと川の生きものすくい」	福寿園の西800m新川沿い 9:30	畠(0569-73-3518)榊原正
52	18	7	7	土	受託		東海	「オオクワイマイを見よう」●東海市施管協　参加費100円	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
53	18	7	7	土	受募		東浦	「初夏の里山で生きものを探そう」●東浦町環境課	東浦学習の森P 9:30	山田公(0562-83-3297)桑原
54	18	7	7	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
55	18	7	8	日	募	協	阿久	「福山川の生き物は今年も元気かな？」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
56	18	7	8	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
57	18	7	13	金	受託		大府	「④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ19:30	水野利(052-323-3620)村瀬

58	18	7	14	土	受募		美南	「山海川生き物観察」●南知多町環境課	南知多町旧山海小学校P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村英
59	18	7	15	日	募	協	阿久	「草木川の生き物観察」	正盛院P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
60	18	7	20	金	募	協	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086)水野利
61	18	7	21	土	受募		知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	神野(0562-34-3964)藤井辰
62	18	7	28	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	JXTGエネルギー 知多製造所 9:30	吉川勉 (0569-43-1501)藤井辰
63	18	7	28	土	受募	協	美南	「干潟の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町奥田農協P 9:30	森田博(0569-87-0725)永田寛
64	18	7	29	日	募	協	常滑	「里山のトンボたち」 井間池・高砂山	南陵市民センター 9:30	降幡(0569-43-8060)森田琢
65	18	7	29	日	受託		大府	「境川の生き物と水質調査」●大府市環境課	大府市神田公民館 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井一
66	18	7	29	日	募	協	半田	「矢勝川の生き物」	修農公民館P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)石川
67	18	8	1	水			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	知多市内 13:30	(南川)
68	18	8	4	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	東邦ガス(株)知多緑浜工場 9:30	野村(0562-55-4122)南川
69	18	8	4	土	募	協	東浦	「川の生き物に会おう②」	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
70	18	8	5	日	受託		大府	「夏のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
71	18	8	5	日	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第3P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
72	18	8	11	土	受募	協	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町冨具崎港P 9:30	森田博(0569-87-0725)永田孝
73	18	8	11	土	募		美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)中村英
74	18	8	12	日	募	協	常滑	「海辺のヤドカリたち」 大潮(干潮 12:43)	蒲池漁港P 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
75	18	8	12	日	受託		半田	「稗田川・平地川の生き物」●半田市環境課	乙川東小北門から西150mの空き地 9:30	榊原正(0569-21-7000)森下保
76	18	8	26	日	受募		常滑	「川のメダカたち」●常滑市教育委員会	青海市民センターP 9:30	降幡(0569-43-8060)金内
77	18	8	未	未	受託		大府	「奥池 生き物調査2018」●大府市農政課	奥池 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
78	18	9	8	土	受託		知多	「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	浅井一(080-6960-6053)吉川勉

79	18	9	8	土	受募	協	美南	「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898)榊原靖
80	18	9	8	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
81	18	9	15	土	受託		大府	「⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
82	18	9	15	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	(株)IHI 愛知事業所 9:30	藤井辰(0562-34-3077)吉房
83	18	9	16	日	募	協	武豊	「秋の先取り・野山探検」	別曽池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畑中
84	18	9	22	土	受託		東海	「秋の虫を探そう」●東海市施管協 参加費100円	大池公園テニスコート前P 9:30	平松俊(052-601-1491)森田琢
85	18	9	23	日	受託		大府	「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	みどり公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
86	18	9	29	土	受募		東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
87	18	9	29	土			支部	みどり…交歓会-下見	知多市 14:00	(南川)
88	18	9	未	未	受託		大府	「延命寺川の生き物調べ」●大府市環境課	大府市立大東小学校前 8:30	村瀬(0562-46-1974)浅井一
89	18	9	未	未	受託		大府	「石ヶ瀬川の生き物調べ」●大府市環境課	石ヶ瀬児童老人福祉センター 9:30	門脇重(0562-46-6807)村瀬
90	18	10	6	土	受託		知多	「キノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
91	18	10	7	日	受託		大府	「⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
92	18	10	7	日	受募		常滑	「雑木林のキノコたち」 ●大曽公園	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
93	18	10	7	日	募	協	半田	「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
94	18	10	13	土			支部	みどり…交歓会-本番	知多市 9:00	(南川)
95	18	10	14	日	受託		東海	「公園のキノコ観察」●東海市施管協 参加費100円	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
96	18	10	14	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
97	18	10	14	日	募	協	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川(0569-23-1101)牧野
98	18	10	20	土	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)岩本
99	18	10	21	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊藤伸
100	18	10	27	土			支部	宿泊研修 1日目	未定	(牧野)

101	18	10	28	日			支部	宿泊研修　2日目	未定	(牧野)
102	18	11	4	日	受託		大府	「セレトナフェスタ2018(⑦)」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
103	18	11	10	土			支部	11月役委員会　※ 年間予定、支部行事	未定 13:30	庶務
104	18	11	17	土	受募		東浦	「秋の宝物で工作をしよう」●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	山田公(0562-83-3297)水野恭
105	18	11	18	日	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清水
106	18	11	24	土	募	協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉
107	18	12	1	土			支部	12月①役員会　※ 支部、ブロック行事調整	未定 13:30	庶務
108	18	12	2	日	受託		大府	「⑧小枝で作ろう！森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
109	18	12	8	土	募	協	阿久	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野
110	18	12	8	土	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正
111	18	12	15	土			支部	12月②役員会　※ 年間予定仕上げ	未定 13:30	庶務

支部主催の事業　2018(平30)年　1月～12月

2018年2月の総会時の予定　※ 以降の各ブロックも同様

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	13	土			支部	1月役員会　※ 次第、総会の役割分担	未定 13:30	庶務
2	18	1	27	土			支部	総会資料の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
3	18	2	4	日			支部	総会	未定 9:30	庶務
4	18	2	24	土			支部	総会議事録等の印刷	(青海公民会) 13:30	庶務
5	18	3	10	土			支部	持ち寄り会	未定 9:30	榊原正
6	18	5	12	土			支部	5月役員会	未定 13:30	庶務
7	18	5	26	土			支部	宿泊研修　1日目	未定 〇:〇	(牧野)
8	18	5	27	日			支部	宿泊研修　2日目	未定	(牧野)
9	18	5	未	平			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	県事務所	(南川)
10	18	7	7	土			支部	7月役員会	未定 13:30	庶務
11	18	8	1	水			支部	みどり…交歓会-事前打合せ会	知多市内 13:30	(南川)
12	18	9	8	土			支部	9月役員会	未定 13:30	庶務
13	18	9	29	土			支部	みどり…交歓会-下見	知多市 14:00	(南川)
14	18	10	13	土			支部	みどり…交歓会-本番	知多市 9:00	(南川)
15	18	10	27	土			支部	宿泊研修　1日目	未定	(牧野)
16	18	10	28	日			支部	宿泊研修　2日目	未定	(牧野)
17	18	11	10	土			支部	11月役委員会　※ 年間予定、支部行事	未定 13:30	庶務
18	18	12	1	土			支部	12月①役員会　※ 支部、ブロック行事調整	未定 13:30	庶務
19	18	12	15	土			支部	12月②役員会　※ 年間予定仕上げ	未定 13:30	庶務

持ち寄り会

・2018(H30)年3月10日(土)(晴れ)　アイプラザ半田第　4会議室にて

・出席者：18名
浅井一、岩本、桑原、榊原正、榊原靖、鈴木汎、竹内秀、田中央、中井三、畠、藤井辰、降幡、南川、森下夫妻、森田琢、吉川勉、吉房

(内、持ち寄り品の持参者：８名、飴-あめ-持ち寄りも当然含む)

・内容：
下記日程(写真の後に掲載)の通りに実施する予定であったが、パソコンのアプリやプロジェクターの相性などの関係で、発表者の持参したＳＤカードが使えなくて、その人の分は来年度の持ち寄り会での発表となった。
このことについては、大変、申し訳ないことであったが、それ以外の発表や持ち寄り物品の話題が豊富であったり、おみやげ物品が今回は多くあったりして、今回も「よかった」という会になりました。※次回は事前にチェックしないといけないかも…(^_^;)　[記：榊原正]

・当日の様子

【左・右】発表の部…事前に依頼済みの発表者の発表

【左・右】持ち寄り談義の部…持ち寄り品の説明　※説明役は持ってきた人

【左】持ち寄り品の説明　【右】卵の大きさ比べ。ダチョウ、エミュー、ウズラ、ウミガメなど

・日程および内容

平成29年度　知多自然観察会　「持ち寄り会」

１．実施日　平成30年3月10日（土）　９：３０～（１５：００頃）
２．会　場　アイプラザ半田　第４会議室（２階）
　　半田市東洋町１－８　TEL 0569-23-2255
　　※半田市役所、半田病院の北側に位置する
３．日　程
　　～９：４５　諸準備　　＊発表の準備や持ち寄り品（持参品）の展示など
（１）９：４５～　持ち寄り発表会　-前半-
・調査活動報告「知多半島の淡水エビ」-種類と分布、棲み分け-　榊原　靖
・「竹林を岩本農園に」- 桃源郷への開墾・道半ば -　岩本　妙子
・「知多半島の三角点探訪」　鈴木　汎
　- 基準点(水準点50ヶ所、三角点163ヶ所)全てを探し求めた結果 -
・「私のガサガサ」- 対象の習性を利用した捕獲術 -　浅井　一光

（２）１１：３０～（１２：４０）　休　憩
・昼　　食　　＊弁当持参でない人は、例年、外へ食べに行く
　　＊館内の喫茶店でカレーが食べられる
・展示物の鑑賞

（３）　　～　１３：４０　持ち寄り談義
・持ち寄り品（持参品）の紹介や解説　　（解説者…持参人本人）
・試食、プレゼント
・

（４）１３：４０～　発表会　-後半-
・「タブレットで楽しむ生きもの図鑑」（※森田琢氏の自作の図鑑）　森田　琢磨
・（予備）「半田市内の社寺林の樹木」- 鎮守の森と狛犬-　榊原　正躬

（５）１４：２０～　質問や各種の情報交換
・パソコンの使い方
・フェースブックの使い方　など質問があれば、知ってる人が応える
・飛び入り情報提供

（６）１４：５０～　後片付け

　　解　　散

※ 発表は、原則、一人当たり２０分前後です
※ 進行が早まれば、上記日程の限りでなく、早めに終了します

【行事名】　知多支部　親睦研修旅行　北飛騨の自然をたずねて　　● 知多自然観察会主催

【日　時】　2018年5月26日(土)～27日（日）
【場　所】
＜１日目＞　池ケ原湿原
＜２日目＞　奥飛騨数河流葉県立自然公園
【天　気】　１日目　曇り時々晴れ　　２日目　曇り時々晴れ
【担　当】　牧野
【参加者】　指導員：１2名
（浅井一、桑原、竹内秀、永田、藤井辰、降幡、南川、森下栄、森下保、吉川勉、吉房、牧野）
【内　容】
北飛騨の旅は、2年前、春の研修旅行で雪が多く行けなかった天生県立自然公園へ今度こそ…と企画しましたが、今回も道路の崩落により開通予定が7月下旬とのことでまたおあずけ。その代わりに、1日目は池ケ原湿地、2日目は奥飛騨数河県立自然公園を堪能することができました。

◆池ケ原湿原　入口のシラカバ林を抜けると、湿原が広がります。ここで有名なのが、ミズバショウの群生ですが、数個の花は残っているものの季節は夏に進んでおり、葉が大きく成長していました。しかし、黄色い花を咲かせるリュウキンカやサワオグルマをはじめとする様々な湿原の花を見ることができました。
＜見ることができた花＞
オオバタネツケバナ、ベニバナイチヤクソウ、ホウチャクソウ、ナツトウダイ、アズキナシ、ツリバナ、ナルコユリ、サワハコベなど
また、湿地を流れる小川には、小魚や20ｃｍほどあるイワナも泳いでいて感動。
昆虫は、ハンミョウの仲間、ベニボタルの仲間、ウスバシロチョウ、ハムシの仲間、ジョウカイボンの仲間、カゲロウやトビケラの仲間など挙げたていったらきりがない…。
※移動の道路わきで見たハクウンボク、ホオ、ヤマフジの花は大型でかなりきれい。

◆棚田と板倉の風景
石を積み上げてつくった棚田（私たちが見たのはミョウガ畑）とたくさんの種倉が点在する日本の原風景を楽しみました。ここではハルジオンに集まるウスバシロチョウを撮影。ウスバシロチョウは、今回の旅全般でかなり遭遇度が高かったです。

◆奥飛騨数河流葉県立自然公園
アルプス展望　神秘の森コース約5㎞をウオーキング。
新緑の森の足元にはギンリョウソウ、チゴユリ、マイズルソウ、ユキザサ、ギンランなどの花々が咲いていて楽しみながら歩くことができました。途中、“神秘の水”で喉を潤し、スキー場ゲレンデからは麓の街並みや遠く北アルプスの山々を眺めることができました。
そして、珍しいキバネツノトンボが無数に飛んでいる。かなり高速で飛び回り、草の上にとまったところを必死で撮影しました。
今回は、ワラビをはじめとする山菜もゲットし、まさに実のある旅でした。

【参考写真】

トップページへ

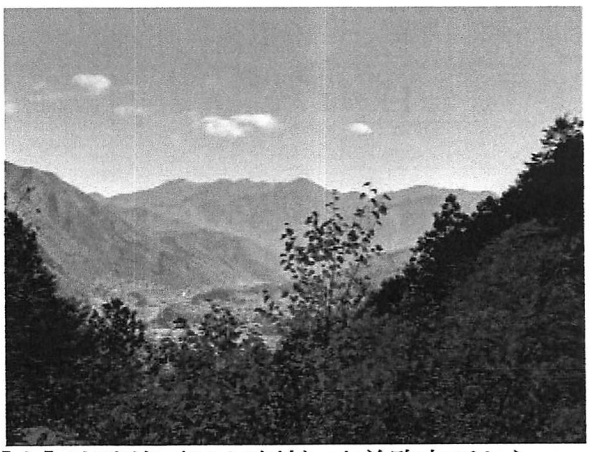
【行事名】　知多支部　秋の宿泊研修旅行 －中津川・阿寺方面－　　● 知多自然観察会主催

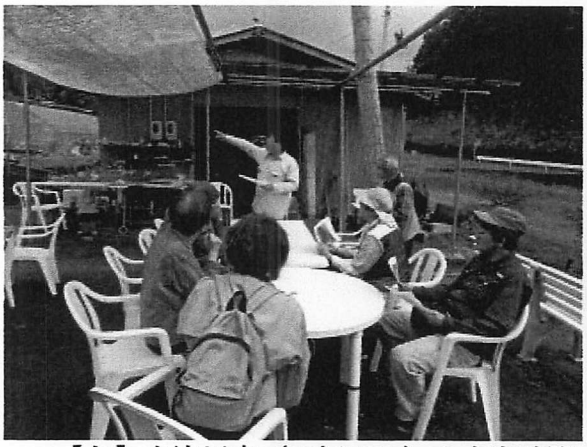
【日　時】　2018 年10月27日(土)～28日(日)
【場　所】
＜1日目＞　大池公園⇒笠岩（国天）⇒坂本のハナノキ(国天)⇒中津川市鉱物博物館　⇒尾張支部山本尚三氏農園（自然体験場の準備）　⇒賤母の材木遺伝資源保存林（以前は学術参考林）⇒柿其すずめ（泊）
＜２日目＞　恋路峠⇒阿寺渓谷⇒諏訪神社⇒道の駅⇒大池公園
【天　気】　１日目、２日目　晴れ
【担　当】　降幡
【参加者】　指導員：10名
（浅井一、岩本、桑原、竹内秀、永田、藤井、降幡、南川、）
【内　容】
車が進むにつれて、スギ、ヒノキ、アスナロの緑にヤマハゼとマルバノキの紅　葉、タカノツメの黄葉へと変化していった。見事な花崗岩の笠岩！！まるでお化けキノコが生えているようである。花崗岩でできた千畳敷の上は、舞台に立っているようで眼下に恵那峡が見えた。これ以上近づくなとでも言うかのように、センボンヤリがたくましく生えていた。坂本のハナノキの自生地は材木で作った歩道が整備されていて、コムラサキやシロシキブが見頃である。中津川市鉱物博物館では、時間を掛けて豊富な鉱物を見学し、宝石探しに挑んだがいい物は見つからなかった。　尾張支部山本尚三氏農園は、自然体験場にするため、一人で頑張っている彼のバイタリティーに感動した。かつて国道１９号線沿いだった賤母の材木遺伝資源保存林では、ツチアケビが真っ赤に熟した実を沢山付けていて、食べると甘酸っぱかった。
柿其の民宿「すずめ」にて、豪華な食事と今年初のマツタケに歓声が上がった。
翌朝、散歩に出ると吐く息が白く、手が冷たくて手袋が欲しくなった。人間の気持ちとは不思議なもので、恋路峠と改名してから観光客が増加したとのこと。以前無かった手すりの鎖に愛の錠前がぶら下がっていた。無事愛が成就することを陰ながら願っている。阿寺渓谷の紅葉と黄葉、エメラルドグリーンの木曽川の流れが美しい。ホットホールが何カ所もあり、知多の海岸で見るタイドプールと思わず比べてしまった。１２㎝位もあるナナフシを見つけ、皆自分の手と思わず比べてしまった。諏訪神社では珍しい木々が多く、シダレエノキを初めて見た。（記：吉房）

【観察した生きもの】　◎　植　物
タカノツメ、ナツハゼ、ソヨゴ、ツクバネウツギ、アセビ、ヤマウルシ、シオデ、ハナノキ、ツチアケビ、フサザクラ、トチノキ、ホオノキ、バイカツツジ、シロモジ、クロモジ、ウメモドキ、ムラサキシキブ、コムラサキシキブ、シロシキブ、ヤマアジサイ、ミズキ、クリ、ウリノキ、コミヤマカエデ、ダンコウバイ、ウリハダカエデ、アラカシ、シダレエノキ、ツクバネガシ、サカキ、ヒサカキ、シラカシ、サンショウ、コシアブラ、ウラジロガシ、ウメモドキ、センボンヤリ、ヒヨドリバナ、ノコンギク、リュウノウギク、フユノワラビ、マツカゼソウ、ハナゴケ、オオチリメンタケ、コウヤワラビ、
◎　昆　虫
ナナフシ(１２㎝位もあった)

【観察会の様子】

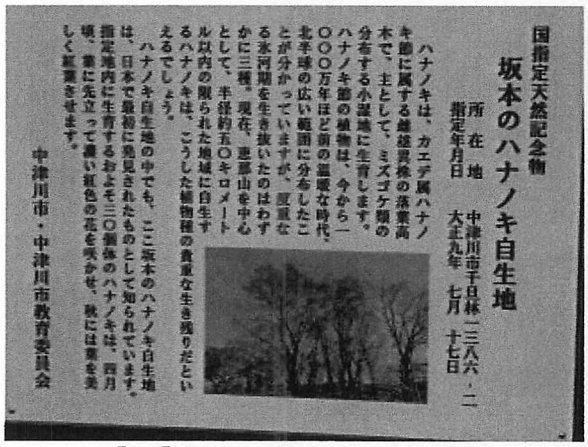
【左】恵那市にある国天、傘岩


【右】恋路峠（旧小路峠）木曽駒方面から



【左】中津川市（旧坂下町）山本宅訪問

【右】花と紅葉が見られるマルバノキ



【左】国天のハナノキ

【右】阿寺渓谷の林間鉄道の跡

【上の１枚】岐阜県天然記念物の諏訪神社にあるシダレエノキ

トップページへ

【行事名】　2018年度(平成30年度)　知多地域　みどりの少年団交歓会

【日　時】　2018年10月13日(土)　9:00～12:20
【場　所】　知多市旭公園
【天　気】　曇(くもり)
【担　当】　南川（知多自然観察会の担当）
【参加者】　みどりの少年団員及び引率、各市町担当者、県農地林務課担当
（指導員：浅井一光、岩本妙子、桑原　誠、榊原正躬、榊原　靖、鈴木　汎、竹内秀代、中井三従美、野村静二、畠　　烈、平松裕規、藤井辰子、降幡光宏、南川陸夫、森下栄子、森下保男、森田琢磨、山田和男、吉川　勉、吉房　瞳）

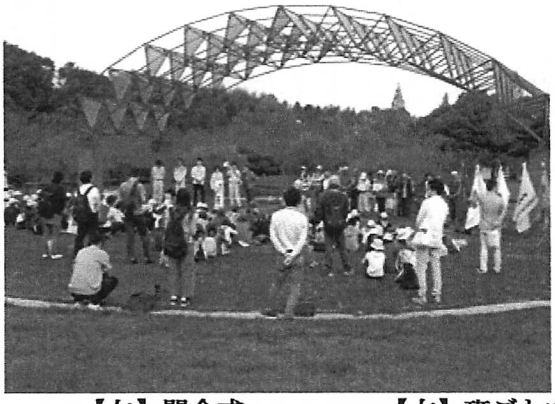
【内　容】
＜当初の日程＞

【晴天時】
9：00～ 9：20　受付（つどい広場）
9：25～ 9：40　開会式（同上）
9：45～11：30　自然観察
　　自己紹介、名札作成
11：30～12：00　記念撮影
　観察から戻ったグループから記念写真
12：00～12：20　閉会式
12：20～　　解散後各自由に昼食

【雨天時】
9：00～ 9：20　受付（体育館）
9：25～ 9：40　開会式（同上）
9：45～11：30　自然物工作　写真立て作製
　　自己紹介、名札作成
11：30～12：00　作品発表
　様子を見ながらグループ毎に記念写真
12：00～12：20　閉会式
12：20～　　解散後各自由に昼食

晴天時日程で予定通り実施できた。
分団ごとに整列し、開会式。
式後、全団員を７班に分け、その班ごとに園内の散策路に沿って、動植物を観察。
参加者への配付物の一つに〝レンズ付き観察ケース〟があったが、それに入れて盛んに観察していた。
11:30頃から各班が順次本部へ到着。到着順に記念撮影。
全班撮影後、分団ごとに整列し、閉会式を実施。終了後、解散。

【活動の様子】


【左】開会式

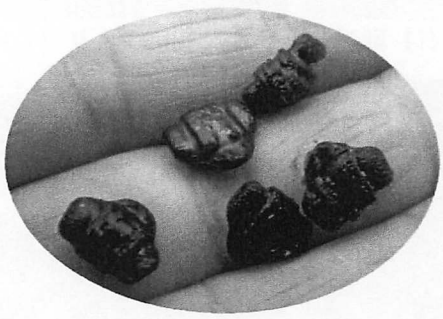
【右】班ごとで自分の名札づくり→この後、自己紹介

【左】レンズ付き観察ケースに入れて観察

【右】本部に到着。記念撮影

阿久比ブロック観察会　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	28	日	募	協	阿久比	「朽木の虫を観察しよう」	エスペランス丸山P 9:30	平松裕(090-8071-3954)畠
2	18	5	13	日	募	協	阿久比	「田んぼの生き物観察」	グループホーム阿久比P 9:30	平松裕(090-8071-3954)山田和
3	18	6	2	土	募	協	阿久比	「竹林であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)榊原正
4	18	7	8	日	募	協	阿久比	「福山川の生き物は今年も元気かな？」	阿久比板山公民館P 9:30	平松裕(090-8071-3954)浅井一
5	18	7	15	日	募	協	阿久比	「草木川の生き物観察」	正盛院P 9:30	平松裕(090-8071-3954)田中央
6	18	12	8	土	募	協	阿久比	「リース作りや竹の工作であそぼう」	洋菓子サリュー東 9:30	平松裕(090-8071-3954)牧野



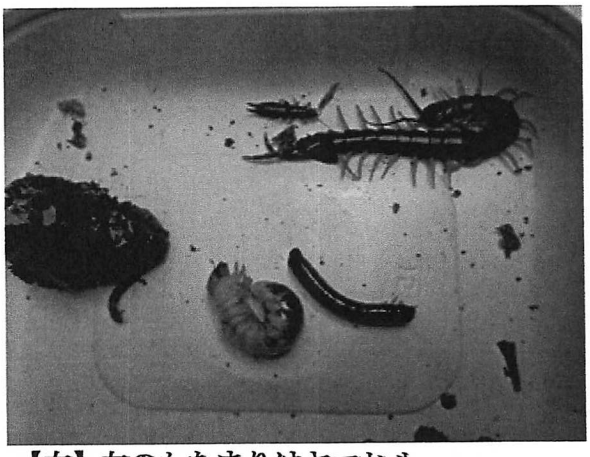
【行事名】　朽ち木の虫を観察しよう

【日　時】　2018年1月28日　　9：30～11：40
【場　所】　集合場所：エスペランス丸山Ｐ　→　箭比神社
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松裕、畠
【参加者】　一般 大人 4名，　子ども 6名
（指導員：浅井一、榊原正、　畠　、山田和）

【内　容】
このところずーと寒く、今日は特に寒いと感じる朝でした。
もちろん、例年通りの観察コースを目指して出発。昆虫もいないので、イスノキの葉っぱの「イボ」を割ったりして説明したが虫も入ってないので感動しない。イヌマキの葉っぱで「手裏剣」を作ったら、やっぱり、これは子供たちに受けた。
進むと、２，３年前にも氷ができていたところで、今年もできていた。とってみるととても厚いので一同びっくりした。霜柱もできていて、見せたが、子供たちは余り感動しなかった。
朽ち木の虫観察の目的地である箭比神社に到着。狛犬にカメムシの成虫が付いていたが全く動かないので子供たちは興味なさそう。朽ち木探しや朽ち木バラシは、子供たちは積極的に参加していた。
この活動は子供たちにとって川の生きもの採集と同程度の原体験になるものであろうと思っている。　　（記：榊原正）

【観察会の様子】

【左】厚さ4cm以上あった氷。何日もかかってできた。　さすが、みんなビックリ
【右】赤い鳥居をくぐると「おこり」になるとあった。もちろん、避けて通った



【左】お父さんと共同作業　　【右】左のかたまりはヤマヒル

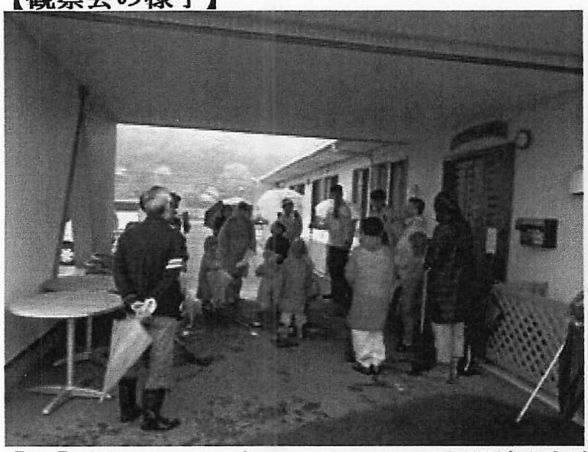
【観察会の様子−追加】

【行事名】　「田んぼの生き物観察」

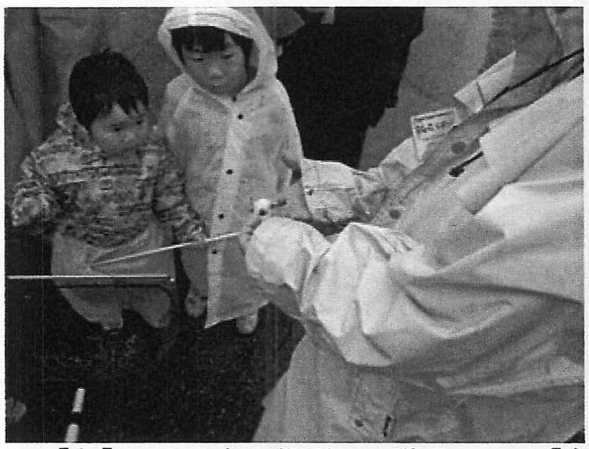
【日　時】　22018年5月13日（日）　9：30～11：30
【場　所】　グループホーム阿久比周辺
【天　気】　雨
【担　当】　平松裕、山田和
【参加者】　一般　大人　8　名，　子ども　11　名
（指導員：榊原(正)　竹内(秀)　田中(央)　平松(裕)　古川　森田(博)　山田(竜)　山田(和)　8名　）
【内　容】
雨が開始30分前ぐらいから激しくなってきて、中止も考慮したがエコクラブの参加者もたくさん来てくれたので決行することにした。
耕運機の後をついて回るアマサギの説明を古川さんにして頂き、新川（用水路）を探りながら起こす前の田んぼでカエルやザリガニを捕まえたりしました。
途中除草中のヤギと触れ合って、分かち合いをして終わりました。
結構寒かったので尻もちついたひともいたし、みんな風邪を引かなかったか心配です。

【観察した生き物】
カワニナ・シオカラトンボの幼虫・ハグロトンボの幼虫・タニシ・アメリカザリガニ・ダルマガエル・ヌマガエル・ヒメガムシ・ハイイロゲンゴロウ・トノサマガエル・カダヤシ・メダカ・ヨシノボリ・ケリ・アマサギ・チュウサギ・ムクドリ　　（記：平松裕）

【観察会の様子】



【左】始めのあいさつ。ホームの玄関前を拝借して　　【右】降雨のため水かさが増してた



【左】つかまえた場所での説明　　【右】ミニ水族館の前での説明。ホーム玄関前

【観察会の様子−追加】

【行事名】　「竹林であそぼう」　　● 阿久比ブロック主催

【日　時】　2018年6月2日（土）　9：30～11：30
【場　所】　洋菓子サリュー東竹林
【天　気】　曇り
【担　当】　平松裕、榊原正
【参加者】　一般 大人 3 名，子ども 3 名
（指導員：平松裕、榊原正）

【内　容】
ちょうどシーズンの桑の実を食し、葉をヤギたちにあげて、触れ合ってから竹林で遊びました。
パチンコ、ターザンロープ、シーソー、竹の平均台など小二の女子児童3人で存分に楽しんでいました。
妻の優子さんとその友人は途中から畑にドクダミや桑の収穫に行きました。発酵させて酵素ジュースとかを作るらしいです。
こじんまりしていた分、存分に満喫して解散しました。　　（記：平松裕）

【観察会の様子】

【左】ゴム銃(パチンコ) 的(まと)当て

【右】ターザンロープ

【左】ゆらゆら竹渡り

【右】シーソー

【観察会の様子−追加】

【行事名】　福山川の生き物は今年も元気かな？

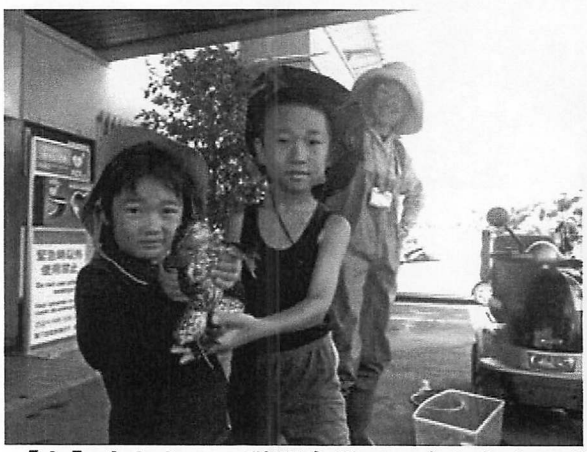
【日　時】　2018年7月8日（日）9：30～11：30
【場　所】　福山川―福山公民館
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松裕、浅井一
【参加者】　一般：　一般　大人　3　名，　子ども　2　名
　　指導員：浅井一、安達、金内、岸野、桑原、榊原正、鈴木汎、竹内秀、田中央、平松裕
【内　容】
　川の観察会には最適な天候で、前日の雨の影響もさほどなかった。水は濁っていたが、大きなウシガエルやミシシッピアカミミガメとイシガメなどで盛り上がりました。
　少し早めに川から上がり、分ちあいをしました。
　終了した時点で、公民館でお囃子の練習をしていた親子が出てきて採集した生き物に触ってもらったりしたので、少しは地域PRになったかもしれません。
　開始前に参加者と指導員の行き違いで1組の親子が帰ってしまうトラブルがあったので、集合場所がすぐわかるようにのぼりの旗を必ず掲げるように注意します。（記：平松裕）

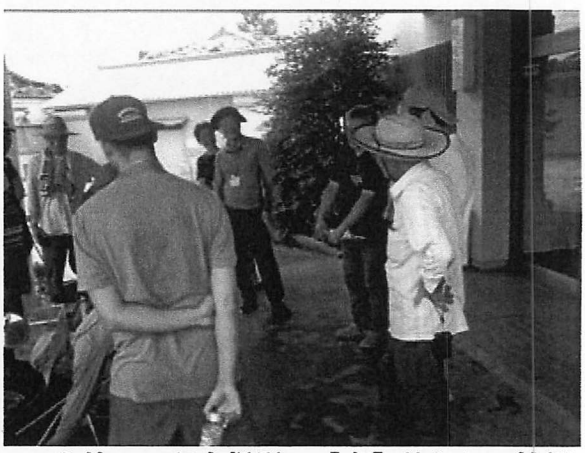
＜観察した生き物＞
○魚類：カマツカ、タモロコ、オイカワ、メダカ、カダヤシ、モツゴ、ヒメダカ
○貝類：マシジミ、カワニナ
○昆虫類：マツモムシ、コオイムシ
○両生類・爬虫類：ウシガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、イシガメ、ミシシッピアカミミガメ
○甲殻類：アメリカザリガニ、スジエビ、モクズガニ

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話

【右】採集時の一場面





【左】生きものの説明会場で、大きなウシガエルを持って記念撮影　【右】終わりの挨拶

【観察会の様子―追加】

【行事名】　草木川の生き物観察

【日　時】　2018年7月15日（日）9：30～11：00
【場　所】　正盛寺P～草木川
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松裕、田中央
【参加者】　一般　大人　5　名，　子ども　4　名
指導員：浅井一、大矢晃、門脇重、岸野、榊原正、鈴木汎、田中央、平松裕、古川
【内　容】
予報では38℃まで上がる気温で、熱中症対策を行うように話して、他の注意事項を伝えて川に入った。
小さな子が転んで泣き出したので、みんな釣られるように川から上がったが、暑かったので早めに上がって良かった。
門脇さんの水槽に捕獲した生き物を移してみんなで分かち合いをした。田中さんが、タナゴがドブ貝に卵を産み付け、ドブ貝はヨシノボリのエラに卵をつけて運んでもらうという話や外来種の説明などをしてくれた。
去年より種類も多くて欲しい魚を分け合って解散した。

【観察した生き物】 魚類：タイリクバラタナゴ、メダカ、モツゴ、カダヤシ、ヌマチチブ、ウキゴリ、ドジョウ、ブラックバス、ブルーギル、ヨシノボリ
昆虫：ガムシ、コオイムシ、ギンヤンマヤゴ、ハグロトンボ、マツモムシ、ノコギリクワガタ
その他：ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、アメリカザリガニ、スジエビ、モクズガニ、シジミ、ヌマガエル

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶とお話

【右】採集時の一場面

【左】タイリクバラタナゴ。この観察会では、よく、捕れる

【右】捕らえた生きものの説明

【行事名】　リース作りや竹の工作であそぼう

【日　時】　２０１８年１２月８日9：30～12：00
【場　所】　洋菓子サリュー東
【天　気】　曇り
【担　当】　平松裕、牧野
【参加者】　一般　大人　5　名，　子ども　4　名
　　指導員：榊原正、平松裕、藤井辰、牧野
【内　容】
　開始時間を少し過ぎたころから一般参加者が２組来て、ヤギと戯れてから竹林へ入って遊びました。　未就学児童だけでしたが、ブランコやターザンロープなどを楽しんでいました。竹林で遊びすぎたのか、作る時間が足りなくなって12時までかかってしまいました。
　いろいろ自宅に取りに戻ったりしていて、作っているところを見れなかったのが残念でした。（記：平松裕）

【観察会の様子】

【左】挨拶の後、ヤギの爪切りの説明

【右】林の中。竹ブランコで遊ぶ（お尻の棒も竹）

【左】リースづくり（木の実などの飾り付け）

【右】自分で作ったリースを持って記念撮影

【観察会の様子−追加】

大府ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	14	日	受託		大府	「⑨冬に出会える鳥たち」●二ツ池セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
2	18	2	18	日	受託		大府	「⑩朽木に集まる虫たち」●二ツ池セレトナ	セレトナ 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井一
3	18	3	18	日	受託		大府	「⑪春に出会える鳥たち」●二ツ池セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
4	18	4	8	日	受託		大府	「①植物おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
5	18	5	6	日	受託		大府	「②昆虫おもしろ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
6	18	5	13	日	受託		大府	「春のいきものをさがそう」●大府市環境課	大府市役所 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
7	18	5	20	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
8	18	6	24	日	受託		大府	「③きのこ探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
9	18	7	8	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)門脇重
10	18	7	13	金	受託		大府	「④灯火に集まる虫たち」●セレトナ	セレトナ19:30	水野利(052-323-3620)村瀬
11	18	7	29	日	受託		大府	「境川の生き物と水質調査」●大府市環境課	大府市神田公民館 9:30	門脇重(0562-46-6807)浅井一
12	18	8	5	日	受託		大府	「夏のいきものをさがそう」●大府市環境課	健康の森公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
13	18	8	未	未	受託		大府	「奥池 生き物調査2018」●大府市農政課	奥池 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
14	18	9	15	土	受託		大府	「⑤秋の鳴く虫さがし」●セレトナ	セレトナ 14:30	吉川洋(052-381-4426)福岡
15	18	9	23	日	受託		大府	「秋のいきものをさがそう」●大府市環境課	みどり公園管理事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)福岡
16	18	9	未	未	受託		大府	「延命寺川の生き物調べ」●大府市環境課	大府市立大東小学校前 8:30	村瀬(0562-46-1974)浅井一
17	18	9	未	未	受託		大府	「石ヶ瀬川の生き物調べ」●大府市環境課	石ヶ瀬児童老人福祉センター 9:30	門脇重(0562-46-6807)村瀬
18	18	10	7	日	受託		大府	「⑥どんぐり探検隊」●セレトナ	セレトナ 9:30	吉川洋(052-381-4426)村瀬
19	18	10	14	日	受託		大府	「虫・花・樹をさがそう」●あいち健康の森公園	健康の森事務所 9:30	村瀬(0562-46-1974)今西
20	18	11	4	日	受託		大府	「セレトナフェスタ2018(⑦)」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋
21	18	12	2	日	受託		大府	「⑧小枝で作ろう！森のリース」●セレトナ	セレトナ 9:30	村瀬(0562-46-1974)吉川洋

【行事名】　「虫花樹を探そう」　●あいち健康の森公園
【日　時】　2018年10月14日(日)　9:30～11:45
【場　所】　大府市　あいち健康の森公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　村瀬、今西
【参加者】　一般２名、事務所職員２名
　　指導員：今西、竹内秀、田中央、福岡、村瀬、吉川洋
【内　容】
雨模様の多い秋、久しぶりに天気のよい週末になりました。９：３０に管理棟会議室に集まり、職員のあいさつ、指導員紹介の後、村瀬さんがコース、注意事項を説明しました。準備して管理棟前の広場に集まり観察に出発しました。参加者は虫だいすきの男の子と父親の2人。バッタを追いかけながらゆっくりのんびり進みます。
「生き物達の谷」を左回りに一周する予定を変更して、橋を渡って左の方へ進み、管理棟裏へ戻るコースを行きました。所々でカツラの甘いにおいをかいだり、バッタを追いかけたり、コオロギを捕まえたりしました。大きなどんぐりに歓声を上げ、「帽子」にいろいろな形があって、みんな種類が違うと、虫かごの中にいれたくなります。
秋はバッタとアカトンボの季節です。バッタはコースの土手のいたるところにいろいろな種類が飛び跳ね子供たちはもちろん親御さんも楽しく追いかけていました。大型のトノサマバッタは人気がありましたが遠く速く飛ぶのでみんな捕まえるのに手こずっていました。探してもなかなか見つからないマツムシ♀が偶然見つかり指導員たちが驚きました。
一方トンボのほうはさっぱりだったような気がしました。シジミチョウが見られました。もどりは疲れてお父さんにだっこをせがんでいたので、振り返りの時間はとらずに解散しました。（記　竹内）

＜観察した生き物＞
ササキリの仲間、イナゴの仲間、イボバッタ、エンマコオロギなど

＜観察コースで見た比較的珍しい植物＞

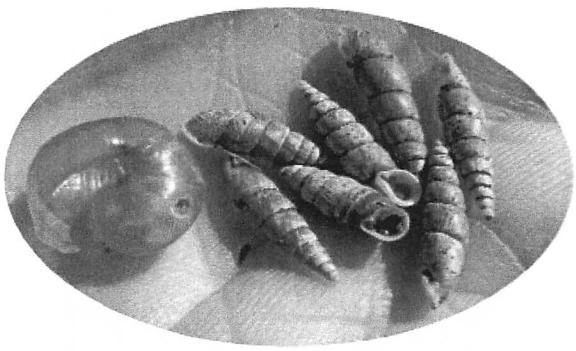
【左】オオモクゲンジ

【右】ヒノキバヤドリギ

トップページへ

武豊ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	21	日	募	協	武豊	「冬の風物・海辺に来た鳥たちを見よう」	河和口駅前の海岸 9:30	古川(0569-73-6078)畠
2	18	4	8	日	募	協	武豊	「野山の息吹に触れよう」	別曽池公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)古川
3	18	5	20	日	募	協	武豊	「初夏の野草や花、虫たちに会おう」	壱町田湿地P 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畠
4	18	6	16	土	募	協	武豊	「光り飛ぶホタルに会おう」	市原農村広場P 19:00	畠(0569-73-3518)畑中
5	18	7	1	日	募	協	武豊	「ジャブジャブと川の生きものすくい」	福寿園の西800m新川沿い 9:30	畠(0569-73-3518)榊原正
6	18	9	16	日	募	協	武豊	「秋の先取り・野山探検」	別曽池公園駐車場 9:30	伊藤伸(0569-73-5059)畑中
7	18	10	21	日	募	協	武豊	「ツルや枝・ドングリ等で工作しよう」	武豊自然公園P 9:30	畑中(080-1631-0413)伊藤伸
8	18	11	18	日	募	協	武豊	「にぎやかな秋の鳥たちを見よう」	中山保育園P 9:30	古川(0569-73-6078)清水



【行事名】野山の息吹に触れよう（草・花・虫）

【日　時】２０１８（H30）年　４月　８日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】武豊別曽池公園周辺
【天　気】晴れ
【担　当】畑中、古川
【参加者】一般　６名（大人４、小人２）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、畠、畑中、古川、森田博、（畑中記）
【内　容】
少し前まで夏日のような暑い日が続いていたのに今日は風が強く肌寒い日になりました。kai 一般参加者は6歳、3歳の兄弟とその両親。タイから帰国してきてまだ3か月とのこと。さすが男の子たち、ベニシジミを捕まえたり、水路に入ってザリガニを獲ったり、はたまた木の枝、葉っぱ、くっつきむし、カマキリの卵、ウラジロの馬など興味の湧いたものを次々とビニール袋に入れて大事に持って進みました。
　高架下のトンネルでは声の反射を楽しみ、毛虫の集団を見つけて数をかぞえたり、また別曽池の大きいのにびっくりしたり元気いっぱい。改めて「子供たちの世界は驚きと感激に満ちている」という言葉を思い出しました。同時に自分たちが子供時代に遊んだ色々なことを思い出し、子供たちが子供時代を自然と触れ合ってしっかり楽しめるよういつまでも自然豊かな武豊町であってほしいと願うばかりです。
　「エコのためのソーラー建設」という自然破壊がこれ以上進みませんように。

トップページへ

【行事名】初夏の野草や花、虫たちに会おう（草・花・虫）

【日　時】２０１８（H30）年　5月　２０日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】武豊　壱町田湿地　周辺
【天　気】晴れ
【担　当】伊藤伸、畠
【参加者】一般　１６名（大人１０、小人６）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、清水佐、鈴木汎、畠、畑中、森下栄、森田琢、（伊藤記）
【内　容】
　心地よい日差しの中、壱町田湿地周辺を散策。
　日向ぼっこ中のシマヘビに遭遇し、観察のため捕獲を試みるが動きの速さに断念。しかしこのヘビとは観察会後半で再会し捕獲。指導員の注意を聞きながら触ったり記念撮影をしたりとこの日一番の盛り上がりとなった。（ちなみに、ひなたぼっこしていたヘビだったので、ヘビの体温は暖かかった）

【観察できたもの】
　ニワゼキショウ、ギシギシ、クズ、アメリカフウロ、コバンソウ、ヒメコバンソウ、チガヤ、ナガミヒナゲシ、ヤブジラミ、コメツブツメクサ、テイカカズラ、スイカズラ、ノイバラ、メマツヨイグサ
　ベニシジミ、モンキアゲハ、モンシロチョウ、アゲハチョウ、アオスジアゲハ、タテジマカミキリ、ナナホシテントウ、ハルゼミ（鳴き声）
　ホオジロ、ウグイス（鳴き声）
　シマヘビ、カナヘビ（草刈り機で切られた死骸）

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつ

【右】観察コース。道ばたの草花のお話

【左】サクランボの試食

【右】シマヘビにタッチ。皆さん、初めての体験

【観察会の様子−追加】

【行事名】光り飛ぶホタルに会おう

【日　時】２０１８（H30）年　6月１６日(土)　１９:００～２０：４５
【場　所】市原農村広場　近傍
【天　気】晴れ
【担　当】畠、　畑中
【参加者】一般　４３名（大人２１、小人２２）
　　指導員：伊藤伸、畠、畑中、（畑中記）
【内　容】
　さすがホタルの観察会は人気あり。駐車場はずらりいっぱい。
　指導員からホタルについての話と注意事項を聞いてから農道を歩いてホタルのいる場所まで移動。途中にはカエルやバッタのこども、ナデシコの花などありましたが、段々と暗くなってきて、ホタルへの期待が高まります。
　草むらに目を凝らしてみると、“あっ！　光った”と子供の声。この声が合図であったかのようにそこここで光りはじめ、２０時頃には舞いはじめるものもあり、子供たちは大盛り上がり。手にとってみたり服につけてみたり、大人達も一緒になって楽しみ、ほっこり癒されホタルを満喫しました。
　帰り道でもあちこちで光ったりふわーと飛んだりで再び歓声。たくさんのホタルに会えた「思い出の夕べ」となりました。
　なお今年のホタル出現のピークは一週間前だったようで、来年は出現ピークの日に当たるよう願っています。　　以上

トップページへ

【行事名】ジャブジャブと川の生き物すくい

【日　時】２０１８（H30）年　7月　　1日(日)　　9：３０～１１：３０
【場　所】新川上流部（福寿園西８００m）
【天　気】晴れ
【担　当】畠、　榊原正
【参加者】一般　３４名（大人１４、小人２０）
　　指導員：浅井一、伊藤伸、大矢晃、門脇重、金内、榊原正、鈴木汎、田中央、畠、畑中、森下栄、森下保　（畠記）
【内　容】
　ホタル観察と並んで人気がある川の観察会。次々に集まってきて川沿いの道路の片側はずっと先まで駐車の列。
　今朝の雨はどこへいってしまったのか。開会するころには太陽がカーッと照り付け、暑いあつい。
　小学生はもちろん幼児もパパママも水に入る準備万端。注意事項を確認していざ川中へ。慣れない手つきでタモを使う。藻の下をザッザッザッとすくうとドジョウやコエビが入った。うれしくって、楽しくってたちまち時間終了。
　獲物は一旦水槽に入れてミニ水族館とし、一種一匹を小型ケースに分け入れて名前や習性を説明。
　「川に入って魚を獲った」その思い出が残って欲しい。

【観察できたもの】
ヌマムツ、ニホンウナギ、モツゴ、ゴクラクハゼ、テナガエビ、ヤリタナゴ、ギンブナ、ウキゴリ、シジミ、マツカサガイ、アメリカザリガニ、　コオイムシ、ガムシ、ハグロトンボ（やご　も）トノサマガエル、イシガメほか　　以上

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつ

【右】川に降りる。指導員が下に１名、上に２名つく

【左】母子ずれには指導員が補助

【右】つかまえた生きものの説明中。子どもは最前列

【観察会の様子-追加】

【行事名】秋の先取り　野山探検

【日　時】２０１８（H30）年　9月　１６日(日) 9：３０～１１：３０
【場　所】別曽池公園周辺
【天　気】晴れ後くもり
【担　当】伊藤伸、　畑中
【参加者】一般　　３名（大人１、小人２）
　　指導員：浅井、伊藤伸、榊原正、清水佐、鈴木汎、田中央、畠、畑中、古川、森下保、森下栄、　（伊藤伸記）
【内　容】
　本日のタイトルに「秋の七草を見つけよう」を加え、すべて見つけることができるか意気揚々とスタート。
　トノサマバッタやツチイナゴが草むらから飛び出すと、子供たちは捕獲に夢中になり大はしゃぎ。元気な声が響き渡りました。
　更に進むとスズメガの幼虫を発見。その大きさに感激し手のひらに乗せた感覚が今も残っています。
　ストライプがとても美しいコントラストで、思わず見入ってしまいました。そして最後に登場したのがオオミズアオです。これはもう文句なく美しいとしか言えません。今回見つけることができた秋の七草は「葛」「萩」「ススキ」の３種類でした。　（伊藤伸記）

＜観察できた草花・昆虫＞
　トノサマバッタ、ツチイナゴ、オオカマキリ、メンガタスズメ、オジロアシナガゾウムシ、オオミズアオ、キチョウ、ヤママユガ（羽）ほか
　クズ、ヤマハギ、メドハギ、オオカメノキ、ヒヨドリバナ、ノアズキ、センニンソウ、ノブドウ、ホシアサガオ、ガマ、ナンバンギセル　ほか

【観察会の様子】

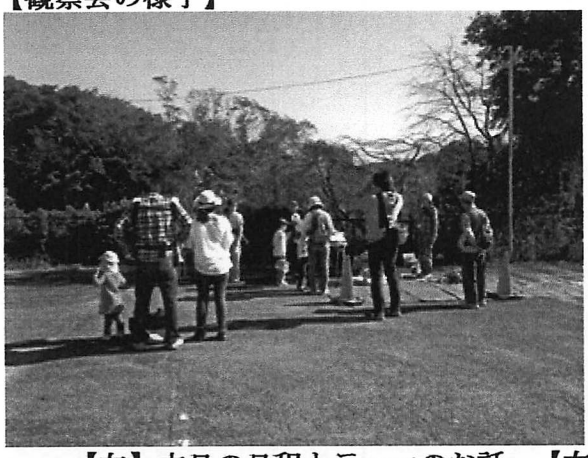
【左】本日のコースとテーマのお話　【右】メンガタスズメに出会う。近年、久しぶり

【左】ガマの穂で大喜びをパパがパチリ　【右】ナンバンギセルの説明。群生…と言える？

【行事名】つるや枝、ドングリ等で工作しよう

【日　時】２０１８（H30）年１０月２１日(日) ９:３０～１１：３０
【場　所】武豊町自然公園
【天　気】晴れ
【担　当】畑中、伊藤伸
【参加者】一般　　２７名（大人１１、小人１６）
　　指導員：伊藤伸、榊原正、鈴木汎、畑中　　（畑中記）
【内　容】
　秋晴れのとってもいい天気で工作日和となりました。
　工作材料は、観察会側が用意したドングリ各種、クルミ、松ボックリ、ツバキ、ムクロジ、モミジバフウ等に加え、工作の前に自然公園を散策して集めたツバキの実やヤツデ、アジサイ、モミジなどの葉も加わって、たくさんの種類の材料が揃いました。
　短時間ながら大作の恐竜やクレーン車の作品もあり、参加のみなさん楽しんでいただけたようで、笑顔で終わることができました。

【観察会の様子】



【左】本日の日程とテーマのお話　【右】山頂広場から帰って、さっそく、製作

【左】全員の作品を並べて鑑賞　【右】終わりのあいさつ。持ち帰り時の注意も

【観察会の様子−追加】

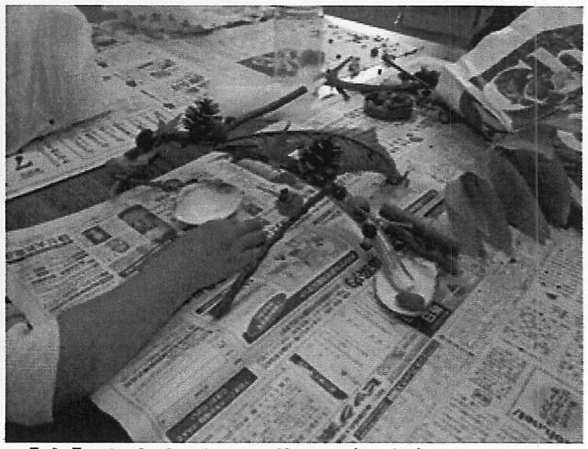
【行事名】　「秋の宝物で工作」　　● 東浦町環境課主催
【日　時】　2018年11月17日(土)　9:30～11:30
【場　所】　東浦町於大公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　山田公、水野恭
【参加者】　一般：親子　5　名
　　指導員：岩本、桑原、榊原正、竹内秀、田中央
【内　容】
　天気予報では雨が予想されて心配しましたが、観察会当日は、風がなく気持ちの 良い青空の中で開催しました。
　観察会は、工作に使う材料集めからスタートです。どんぐり、木の実や松ぼっくりを拾いました。ホオノキの大きな葉に顔が隠れると喜んだり、モミジの紅葉が赤か ら青まであることを楽しんだり、奥まった秋を楽しみました。ムクロジの実もたくさんなっていました。
　木の実や葉を拾った後は、いよいよ工作です。部屋の中での作成です。木の枝を組み合わせて台にした上に思い思いに木の実をホッとボンドでつけて、リースや飾りにしていました。
　観察会後、ふと気がつくと公園内の池の水を抜いてかい取りをする準備が進められていました。大きなコイが背中を干してうごめく姿や、サギ、カモ類の鳥たちがサロンとばかりに集まる様子が観察されました。（記　竹内秀）

【観察会の様子】

【左】始めの挨拶

【右】自然物工作の材料探し（宝探し）

【左】室内で工作を始める

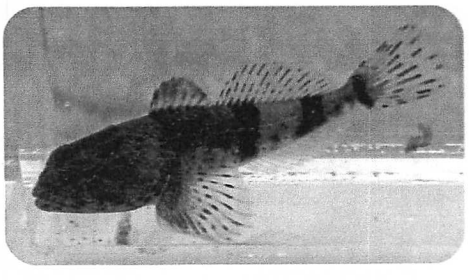


【右】出来上がった作品（一例）

【観察会の様子-続き】

知多ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	20	土	受募		知多	「佐布里池に集まる野鳥を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	古川(0569-73-6078)細川
2	18	1	27	土	受募		知多	「朽木や落ち葉に生活する生きもの」●梅の館	知多市梅の館 9:30	藤井辰(0562-34-3077)近藤
3	18	2	10	土	受託		知多	「長旅してきた身近な野鳥」●こども未来館	こども未来館 9:30	神野(080-5169-3964)吉房
4	18	4	28	土	受託		知多	「春の野草と虫さん」●こども未来館	こども未来館 9:30	吉房(0562-55-9025)吉川勉
5	18	5	12	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	出光興産　愛知製油所 9:30	南川(0569-42-5382)中井康
6	18	5	19	土	受募		知多	「信濃川の生きものを観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	浅井一(090-3387-8007)野村
7	18	6	16	土	受託		知多	「佐布里のホタルの観察をしよう」●こども未来館	水の生活館P場 19:00	吉房(0562-55-9025)中井康
8	18	6	30	土	受託		知多	「海辺の生きものの観察しよう」●こども未来館	新舞子海岸 郷戸広場P 9:30	森田博(0569-87-0725)吉川勉
9	18	7	21	土	受募		知多	「佐布里の野鳥や昆虫を観察しよう」●梅の館	知多市梅の館 9:30	神野(0562-34-3964)藤井辰
10	18	7	28	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	JXTGエネルギー 知多製造所 9:30	吉川勉 (0569-43-1501)藤井辰
11	18	8	4	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	東邦ガス(株)知多緑浜工場 9:30	野村(0562-55-4122)南川
12	18	9	8	土	受託		知多	「水田や水路の生きもの」●こども未来館	こども未来館 9:30	浅井一(080-6960-6053)吉川勉
13	18	9	15	土	受託		知多	「企業緑地の生きもの」●市環境政策課	(株)IHI　愛知事業所 9:30	藤井辰(0562-34-3077)吉房
14	18	10	6	土	受託		知多	「キノコに会いに行こう」●こども未来館	知多市旭公園北P場 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房
15	18	11	24	土	募	協	知多	「日長神社の紅葉を愛でよう」	産業道路日長インター東広場P 9:30	細川(0569-43-3670)吉川勉



【行事名】　「雑木林の中にある朽木や落ち葉に生活する生きものを観察しよう」
● 知多市梅の館 主催

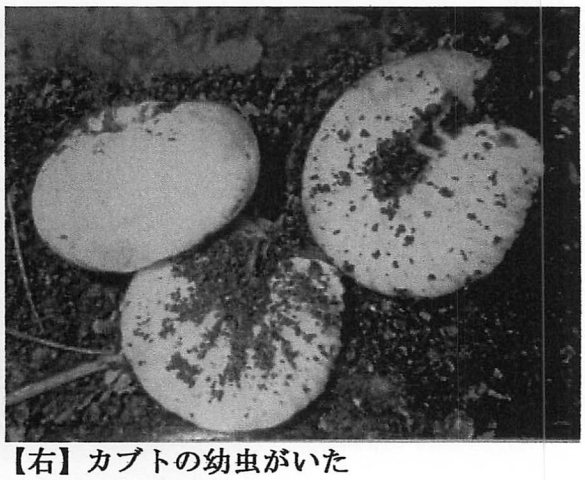
【日　時】　2018年1月27日(土)　　09:30～11:30
【場　所】　梅の館
【天　気】　晴れ
【担　当】　藤井辰、近藤
【参加者】　一般 25 名　梅の館：江尻
（指導員：浅井一、藤井辰、古川正、吉川勉、吉房）

【内容】

25名
寒気団が下り、朝マイナス3度。
とても参加者が少くないと思っていましたが、25名集まり
梅の木についたクモの卵、カメムシ、サルノコシカケ、
落ち葉を堀るとカブトムシの幼虫がゴロゴロ出て来ました。
今は一番寒いので50センチ深い所にカブトムシの幼虫は
もぐっていると見つからないと言われましたが、いました。
昨年同じ時期に親子で来られた小学生の男児
カブトムシを羽化したのが嬉しくて、昆虫好きになられた
とお父さんがおっしゃっておられました。
今年も、虫カゴ持参で子供たち、夢中に……

【容観察会の様子】

【左】落ち葉溜まりを掘ってみる



【右】カブトの幼虫がいた

【行事名】　「冬に長旅してきた身近な野鳥を観察しよう」　　● こども未来館　主催

【日　時】　2018 年 2 月 10 日(土)　　９：３０ ～ １１：３０
【場　所】　こども未来館周り
【天　気】　曇
【担　当】　神野、吉房
【参加者】　　一般　２７名、こども未来館　１名
（指導員：浅井一、石川よ、榊原正、神野、森田琢、吉川勉、吉房）

【内　容】
空はどんよりと曇り気温が低いせいか、田んぼの野鳥も池の水鳥も逃げること無く、エサを待つかのようにじっとしている。餌になる動物が巣から出てこないのではないか。ノスリは屋根の上で長い時間微動だにしないので、カメラを持っている方は素敵な写真を撮ることができたと大喜び。長年野鳥の観察をしていてノスリの姿を間近でじっくり観察できたのは初めてである。

参加した皆さんは神野さんが用意したプリントに記録したり、セットした望遠鏡を覗いたりして、大人も小さな子まで熱心に観察していた。何時もなら野鳥が動いてセットした望遠鏡から消えてしまうのに、個々に持っている望遠鏡でも観察しやすかった。神野さんに野鳥にも方言があることとホオジロの鳴き声は「一筆啓上」と教えて頂きなるほどと思った。

上空ではトンビが気持ちよさそうに上昇気流に乗って飛んでいる姿はとてもうらやましかった。（記：吉房）

【観察した鳥】
キジバト、ムクドリ、モズ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ヒバリ、ノスリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロ、トンビ、ケリ、コサギ、アオサギ、カワウ、オオバン、キンクロハジロ、マガモ、コガモ、カルガモ、

【容観察会の様子】

【左】始めのあいさつとお話

【右】電柱のてっぺんにいるノリスを観察

【左】子供たちはテントウムシを見つけて大喜び

【右】ケリを観察

【容観察会の様子−追加】

【行事名】　「企業緑地の生き物」　　●　知多市環境政策課主催
【日　時】　2018 年 5 月 12 日(土)　　9：30～11：30
【場　所】　出光興産愛知製油所
【天　気】　晴
【担　当】　南川、吉房
【参加者】　一般　４９名、
　　指導員：吉川、鈴木凡、野村、古川、藤井辰、降幡、浅井一、南川、吉房

【内　容】
好天に恵まれ昆虫が沢山いて、芝生の所で虫取りをはじめ、子ども達は大喜びである。虫取り網で上手に捕まえる子、ナミホシテントウやキリギリスを手で捕まえる子、親御さんも童心に返り皆歓声をあげて、昆虫を追いかけていた。初め虫を手で虫籠に入れることができなかった子が、平気で自分の手でやれるようになったのは素晴らしい。緑地帯に入ると、以前カブトムシが沢山いたことを覚えている子達が、カブトムシ探しに夢中になったが、残念ながら時期が悪く見つからずがっかりしていた。成虫を見つけるには時期があることを学んだことであろう。木々や草花には興味がわかないようであったが、実に楽しそうであった。最後に芝生の所に生えているシロツメクサの中に、四つ葉のクローバーを全員が摘むことができ、感動していいた。参加者全員にいいことがありますように！！（記、吉房）
【観察した生きもの】
◎　昆　虫
ナミホシテントウ、タイワンクマバチ、キリギリス(幼虫)、アオスジアゲハ、　モリチャバネゴキブリ、モンキチョウ、シロテンハナムグリ、ゾウムシ、
◎　植　物
トベラ、シナサワグルミ、クスノキ、カクレミノ、
シロツメクサ、コメツブツメクサ、オオキンケイギク、ギシギシ、スイバ、　ドクダミ、フキ、カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウ、キズタ、
ヤブジラミ、オオバコ、ヒメジオン、シャガ
◎　鳥
ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ハクセキレイ、コゲラ、シジュウカラ、ヒバリ、ハシブトガラス、ムクドリ、ツバメ
◎　その他
アシダカグモ
【観察会の様子】
主催者からの挨拶

出光の担当者から工場と観察地の説明

虫さんいるかな？

ナミホシテントウムシが居たよ

【行事名】「信濃川の生き物を観察しよう」　● 梅の館主催
【日　時】2018年5月19日(土)　9:30～11:30
【場　所】知多市梅の館　　実施場所（信濃川新七反田橋周辺）
【天　気】晴
【担　当】田中央、野村
【参加者】　9名　（大人4名・子供5名）　梅の館職員1名　大橋
【指導員】田中央・金内・門脇重・藤井辰・森下栄・森田博・吉川勉・南川・野村以上9名
【内　容】前日の豪雨が心配されましたが、水量は安定し、清れいな水が流れており、本日の信濃川自然観察会は楽しい会となる予感をさせてくれました。現地では梯子の降り方、登り方の説明、サポートもしっかり安全に降りる事が出来ました。川に入ると皆さん網の掛け方、足の踏み方らは、リーダーの田中さんに教えられたように、草の茂みの下を盛んに、ジャバジャバと踏み込んで何かが入っているかなと、興味深々、ザリガニ、カワニナ、カダヤシ、ヤゴ・・・・等々、なんか判らんが、小さいけど魚がたくさん捕れました。今日は大漁、大漁の日でありました。終わりに講師の田中さんによる各魚類等の説明が専用のケースを使用して魚の名等由来の説明を受けました。この川でアユが捕れた。説明を聞けば納得しますが、感嘆の声も上がり、良かったです。他に魚類等多数で終了。
皆さん元気で、又ネ～と云って楽しく終わった観察会でした。
（　記：野村）

【観察した生き物】
（魚類）稚アユ、カダヤシ、カマツカ、マハゼ、オイカワ、タモロコ、ウキゴリ、スミウキゴリ
（甲殻類）モクズガニ、スジエビ、ヌマエビ、アメリカザリガニ、
（貝類）カワニナ、マルタニシ、マシジミ　（水生昆虫）ハグロトンボのヤゴ、アメンボ、

【観察会の様子】
川の観察会の第一関門　　先ず安全に

思い思いに川の生き物を求めてガサガサと

ぼくが捕まえた魚はどれかな？

ミニ水槽で泳ぐ魚とエビさん

みんなで捕まえた魚たち（川の生き物）をミニ水槽に入れて名前を説明しています。

【行事名】　海辺の生き物を観察しよう　　● こども未来館 主催

【日　時】　2018年6月30日(土)　9:30～11:30
【場　所】　知多市　新舞子海岸
【天　気】　快晴
【担　当】　森田博、吉川勉
【参加者】　一般：こども12名、おとな11名　　(こども未来館職員) 3名
　　(指導員：門脇重、浅井一、榊原正、田中央、降幡、森田博、吉房、吉川勉
【内　容】
　早朝から快晴、暑い日となりました。
　干潮は午後1時過ぎで、開始時は海岸のかなりのところまで潮が満ちていました。
しかし、潮干狩りのお客さんはほとんどいなくて、駐車場も参加者の皆さんが困られることもありませんでした。
　オープニングで未来館担当者や館長さんのごあいさつ、海辺の生き物を探す範囲や危険な生き物について指導員の森田からお話しをした後、サー！海辺の生き物を探しの開始、参加者の皆さんには潮が見る見るうちに引いていく中での海辺の生き物探しを楽しんでいただけました。
　しかし、海水が引いていく中で、アオサの群落が目立つようになり、ついにはタモでアオサをまとめて浜辺にすくい上げるとアオサの中から小魚やえびがぴょんぴょん飛び跳ね、子供たちの格好の海辺の生き物探し、いや捕獲かな？で大騒ぎ、あちらこちらで歓声が飛び交っていました。
　その後、捕獲した生きものを、それぞれ生き物の種類別のバットに移しながら、”これ何？”など、ワイワイ賑やかに交流が進みました。
　そして、終わり頃にそれぞれのバットの中の生き物について、参加者、特にお子さんにそれぞれの生き物を間近で見て触ってもらいながら、おもしろおかしくお話し進めました。
　今回のお子さんはみんな平気で触っていましたよ。子供たちは楽しそうでした。
　最後に、みんなで集合写真をパチッ。(記・吉川勉)

＜観察した生き物＞
　◎　魚　：マハゼ、アゴハゼ、ヒメハゼ、ミミズハゼ、ボラの幼魚
　◎ エビ：テナガエビ、ユビナガホンヤドカリ、
　◎ 貝類：モクズガニ、ケフサイソガニ、シロスジフジツボ、イワフジツボ、マガキ、サルボウ、アサリ、シオフキ、イボニシ、イソシジミ、ナミマガシワ
　◎ その他：ミズクラゲ、アナアオサ、ミル、イカリナマコ、タマキシゴカイの卵塊

【観察会の様子】

【左】オープニングの説明

【右】母子で海岸の砂ほじり

【左】ほら！ここに魚がいるよ！

【右】効率よくアオサを掬い上げ！

【観察会の様子−追加】

（記録、絵手紙：藤井辰）

行事名	「企業緑地の生きもの」 市環境政策課
日時	2018年　7月28日(土)　9:30～11:30
場所	JXTGエネルギー(株)　知多製造所
天気	晴
担当	吉川勉．藤井(辰)
参加者	一般　34名 指導員　南川．野村．降幡．吉房 知多市関係者．4名．　JXTGエネルギー関係者 4名
内容	台風12号　接近　は夜中で　午前中　なんとか 持ちこたえました．この間の猛暑より少し楽に 観察出来．工業内にあるビオトープへ行くと ガマとヨシの茂る所はチョウトンボ．ショウジョウトンボが たくさんいて．タモを振りまわさないので．ジッとしてくれ 身近かで見れました．グリーンベルトは長さ1000mの クスノキの並木で涼しく．セミの羽化が見れ クヌギがないので　カブトムシはいないかと思われていましたが 男の子がゲット　とても嬉しそうでした
観察した昆虫	チョウトンボ．キイトンボ．シオカラトンボ．ギンヤンマ ヒメアカネ．サトクダマキモドキ．ショウリョウバッタ カブトムシ．アシナガバチ．アオモンイトトンボ． ヤマトタマムシ　アブラゼミ．アオイラガ．クマゼミ ウスバカミキリ．蛍(メダカ)　鳥(ヒヨドリ)
木	クスノキ．サンゴジュ．レンギョ．キリの木．ガマ．ヨシ．シナサワグルミ イヌビワ．シュロ．シラカシ．イチョウ．シャリンバイ．スギ．ディカカズラ ベラバナセンブリ．アケビ．キズタ．ヤブカラシ．クミ．ハゼの木．カクレミノ． アオキ．ヤブイチゴ．イヌマキ．ナンキンハゼ．メタセコイヤ

自然観察会報告書

【行事名】「東邦ガスのビオトープと森の観察会」・・知多市自然調査隊（知多市環境政策課）
【日　時】2017年8月4日（土）　9:30～11:30
【場　所】東邦ガス知多緑浜工場内のビオトープと森
【天　気】晴れ
【担　当】野村・南川
【参加者】40名（大人15名・子供25名）知多市関係者3名・東邦ガス関係者3名
【指導員】野村・降幡・吉川　勉・吉房・藤井（辰）・南川　以上6名
【内　容】
今年も昨年同様の夏の観察会となり、酷暑中での観察会日となり熱中症対策を充分にして実施された。参加者も真夏の暑い日にもかかわらず、タモや虫かごを手に参加された。主催者知多市環境政策課からの挨拶と東邦ガス（株）からは東邦ガス緑浜工場の成り立ちと生産概要と「地球に優しい環境への取り組み活動」の経過をビデオで紹介があり、その後、容器に入ったマイナス１６０度の液化天然ガスによる実験が行われ、ゴムボールが燃焼して硬化したボールを落下させたり、ガスが燃焼するテストが実施されて、参加者、特に子供たちは驚嘆したり、感激し、液化天然ガスについて学んだ。
観察時の注意事項と観察の仕方を説明後２グループに分かれてビオトープ回りと森周辺の生き物、植物の観察に入る。途中旧式のガス発生装置が展示してある建物の前の草むらに今年からヤギ２頭が飼われて、餌になる葛の葉や餌になる草を与えてヤギと戯れた後観察地に入る。ここの目玉は2000年に作成されたビオトープが豊かに成り立ちにそこに集う生物とその東に広がる林と草原の広陵地であり、生物多様性豊かな立地である。
ビオトープ回りでは東海地域の固有種で知多市の天然記念物のマメナシの木には小さな実が付いていたし、水辺をスイスイ飛び、ひらひらと舞うトンボやツバメが飛び交っていた。水辺や草むらでタモを片手にトンボやバッタ、セミ、カマキリなどを無心に追う姿や観察する親子さん達が楽しむ姿があり、ビオトープの水辺の佇まいと緑豊かな森で生物多様性が実感出来た観察会であった。　　（記：南川　陸夫）

＊見られた生き物
ギンヤンマ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、チョウトンボ、ハッチョウトンボ、アオモンイトトンボ、キイトトンボ、マイコアカネ、、キチョウ、イチモンジセセリ、アゲハチョウ、モンキチョウ、オオスミアゲハ、アブラゼミ、クマゼミ、クマバチ、アシナガバチ、コウロギ、ショウリョウバッタ、クルマバッタモドキ、イナゴ、ツチバッタ、マネコガネ、ナミテントウムシ、ヌマガエル、アマガエル、ウシガエルのオタマジャクシ、
＊植物
マメナシ、クリ、サザンカ、シャリンバイ、ナワシログミ、エゴノキ、エノキ、クロマツ、アカマツ、ヤブツバキ、ガマ、ヒシ、コガマ、ヒメガマ、アシ、オオバヤシャブシ、メタセコイア、コナラ、シイ、シラカシ、ムクノキ、ヤマモモ、トウネズミモチ、クスノキ、サンゴジュ、ハンノキ、スタジイ、マテバシイ、ウバメガシ、ヒメユズリハ、マサキ、カクレミノ、イロハモミジ、クズ、マダケ、ミソハギ、コニシキソウ、
＊見聞きした鳥
ハクセキレイ、ツバメ・キジバト、ハシボソカラス・ハシブトカラス・ヒヨドリ

【観察会の様子】

東邦ガス工場の観察地の経緯と現状の説明

ヤギさんが飼われていました。

見てみてチョウトンボだよ

液化天然ガスのテスト

アブラゼミも鳴いてました

ギンヤンマも見つけました

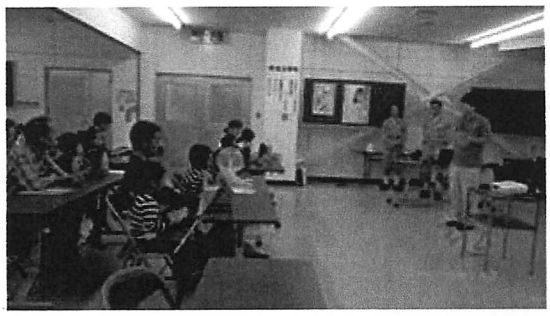
【行事名】　企業緑地の生きもの　　●　知多市環境政策課　主催
【日　時】　2018 年 9 月 15 日(土)　9:30 ～ 11:30
【場　所】　(株)IHI愛知事業所
【天　気】　曇
【担　当】　藤井辰、吉房
【参加者】　IHI２名、環境政策課３名、一般　大人６名、子ども９名
　　指導員：藤井辰、吉房、浅井一、野村、南川、吉川、
【内　容】
明け方まで雨が降っていたので、昆虫についてはあきらめていたが、なんとグランドにはバッタ、トンボ、コオロギ等が沢山いて、子ども達は大喜びである。特にコクワガタを見つけた時には大歓声。全員が虫籠に色々な虫を入れて満足そうであった。お天気が悪く半分以上欠席となったのに参加された、ご家族だけに熱心に生き物探しをしていた。悪天候のためソフトが中止になったので、思いっきりグランドを駆け回ることができた。また、グラウンドには日頃見られないキノコが色々生えていて観察会としては最高であった。途中知多メディアスの取材があったが、子ども達ははきはきと応じていた。観察会が終わったら雨が降るという恵まれた日となった。（記：吉房）　↑

【観察した生きもの】
◎　植　物
　エノキ、シナサワグルミ、クスノキ、アラカシ、シラカシ、フウカエデ、シュロ、サンゴジュ、ニセアカシア、トウネズミモチ、チャ、ケヤキ、ヤブツバキ、ヒガンバナ、クズ、ヤブガラシ、

◎　昆　虫
　スズメガの幼虫、セスジスズメガの幼虫、トビイロスズメガの幼虫、キチョウ、モンシロチョウ、ルリシジミ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、エンマコオロギ、ツチイナゴ、クマバチ、オオカマキリ、オオカマキリの卵、ハラビロカマキリの卵、コクワガタ、ツクツクボウシ、キイロスズメバチ、

◎　その他
　ダンゴムシ、カタツムリ、コガネグモ、カナヘビ
　ツチスギタケ、オオシオカラカサダケ、直径２５㎝ぐらいの白いキノコ

【観察会の様子】
主催者からの挨拶



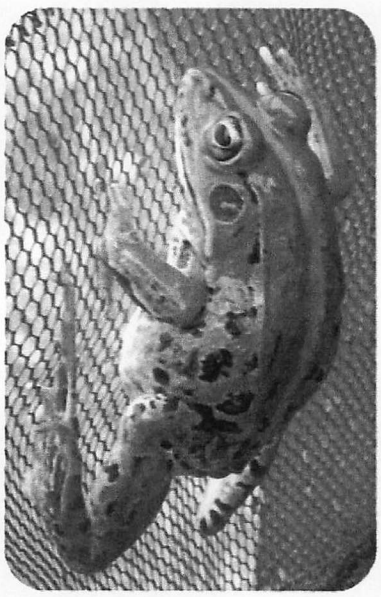
草むらでバッタやトンボ捕らえてます

何をとらまえたのかな？

捕えたバッタを虫かごへ

東海ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	1	27	土	受託		東海	「公園の野鳥観察」●東海市施管協　参加費100円	大池公園動植物資料館 9:30	神野(080-5169-3964)岩崎
2	18	2	17	土	受託		東海	「朽木の虫観察」●東海市施管協　参加費100円	大池公園テニスコート前P 9:30	吉村(0562-32-3760)降幡
3	18	5	19	土	受託		東海	「ヒメボタルを見よう」●東海市施管協　参加費100円	上野台公園P 21:30	早川(052-602-2992)浅井一
4	18	7	7	土	受託		東海	「オオケマイマイを見よう」●東海市施管協　参加費100円	しあわせ村玄関前 9:30	吉川洋(052-381-4426)平松俊
5	18	9	22	土	受託		東海	「秋の虫を探そう」●東海市施管協　参加費100円	大池公園テニスコート前P 9:30	平松俊(052-601-1491)森田琢
6	18	10	14	日	受託		東海	「公園のキノコ観察」●東海市施管協　参加費100円	大池公園多目的室 9:30	降幡(0569-43-8060)吉房



【行事名】　「朽木の虫観察」　　● 東海市施設管理協会

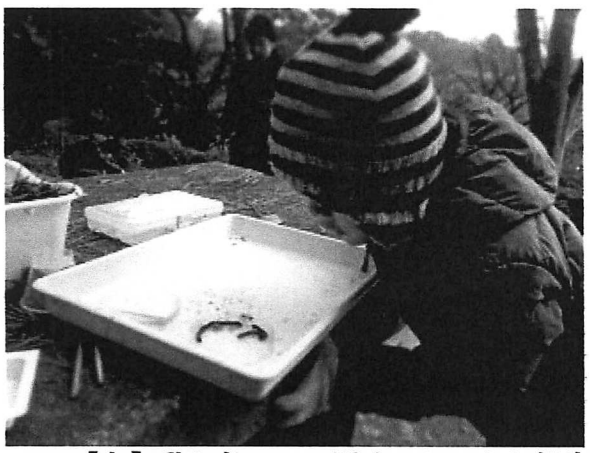
【日　時】　2018 年 2 月 17 日(土)　　９：３０ ～ １１：３０
【場　所】　東海市大池公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　吉村・降幡
【参加者】　一般　大人１２名，　子ども１８名
　　指導員：浅井一、平松俊、降幡、森田琢、吉村
【内　容】
　テニスコート前に集合。担当である公園事務所の阿知波氏のあいさつの後、冷たい風が強かったので地良かったので毎年実施している「池の見える丘」に移動し、採集方法や注意などを参加者のお話ししてから家族単位に森に移動し開始。
　あらかじめブルーシートを用意していたので参加者がそれぞれ森の中から生き物が入っていそうな朽ち木を持ち出して家族ごとに採集と観察をした。
　毎年参加している家族がクワガタの幼虫などを見つけて大喜びをしていた。

【見られた生き物】
　＜昆虫類＞ガ類蛹、コクワガタ（幼）、カブトムシ（幼）、タマムシ（幼）、ウバタマコメツキ（幼）、コメツキ類（幼）、ルリオオキノコムシ（成）ユミアシゴミムシダマシ（成、幼）、ルリゴミムシダマシ（成）、ヨツコブゴミムシダマシ（成）、エグリゴミムシダマシ（成）、キマワリ（成）、ウメマツオオアリ（成）、ヒゲジロハサミムシ（成）アケビコノハの羽根など
　＜その他＞ノウタケ、粘菌の一種、ミミズ、クモ、陸貝2種、イシムカデ、アオズムカデ、マクラゴヤスデ、ゲジ、ダンゴムシ、ワラジムシなど

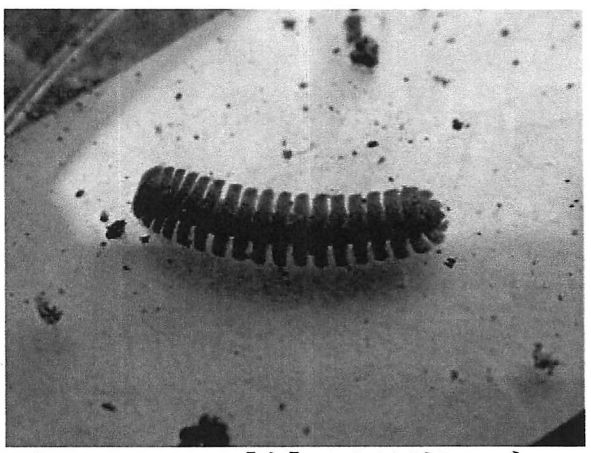
【観察会の様子】

【左】虫が入っていそうな朽ち木を探す

【右】親子で協力して朽ち木割り作業



【左】動かないので近くでしっかり観察できる



【右】マクラギヤスデ

トップページへ

【行事名】　「ヒメボタルを見よう」　　● 東海市施設管理協会

【日　時】　２０１８年5月１９日（土）２１：３０～２２：３０
【場　所】　上野台公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　早川、浅井一
【参加者】　一般４３名、施設管理協会２名
　　指導員：浅井一、岩崎、早川
【内容】
　今年も桜が例年より桜が早く開花してしまったり、ミカンの花が終わってしまったり、植物が時期をずらしてしまっていて、ヒメボタルも観察できるか心配をする中での観察会になりました。前日の雨が幸いしたのか、今年は例年より、多くのヒメボタルを観察することができました。
　ヒメボタルについて、観察のポイント、注意事項の説明の後、すぐに生息場所へ移動しましたが、すぐにヒメボタルの発光を確認することができました。風もありましたが、公園の森の中ということもあり、ヒメボタルが影響を受けることも少なく、光を点滅させながらの飛翔も観察することができました。
　観察会の後、もっと多くのヒメボタル観察されるのでしょうが、参加者の話の中で楽しい時間が過ごせたと満足している様子がうかがえました。
　ヒメボタル以外にヘイケボタルやゲンジボタルは見られませんかという質問がありました。

トップページへ

【行事名】　「オオケマイマイを見よう」　　● 東海市施設管理協会

【日　時】　２０１８年7月7日（土）９：３０～１１：３０
【場　所】　しあわせ村
【天　気】　薄曇り
【担　当】　吉川洋、平松俊
【参加者】　一般２１名、施設管理協会２名
　　指導員：浅井一、平松俊、吉川洋

【内容】
台風から変わった低気圧と梅雨前線による大雨で九州、中国地方、飛騨地方等に大きな被害が出る中、朝の天気を見て実施を決定しました。結局雨は降らず、薄日もさす天気になり後悔せずに済みました。しかし参加者は40名の応募があったにもかかわらず21名と半分しか来てもらえませんでした。

施設管理協会課長さんあいさつの後、吉川さんからオオケマイマイや昆虫の話、行程説明、注意事項の説明があり、私が分布的に珍しいトウキョウヒメハンミョウの話をして観察に出かけました。

去年と同じ右回りのコースを談話室まで歩きました。途中吉川さんから昆虫だけでなく植物の話も聞けました。コースのあちらこちらでコシアキトンボがやたら目につきました。ヤカン池の北側の土手や石垣でたくさんのオオケマイマイが見つかり、その独特の形に見とれました。一方トウキョウヒメハンミョウはハーブ園を必死に探しましたが一匹も見ることができませんでした。曇りの日はどこかに隠れてしまうのでしょうか。

談話室で吉川さんが今日見た生き物のまとめをして観察会を終了しました。

アンケートでカブトムシ、クワガタムシが見たかったという声がちらほら聴かれました。

（記：平松俊）

【観察結果】
＜昆虫＞
ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、オオスカシバ、コシアキトンボ、ショウリョウバッタ幼虫、シロテンハナムグリ、コフキゾウムシ、キマワリ、クマゼミ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、アオバハゴロモ、ヤブカ類、ニクバエ類、ルリチュウレンジバチ、オオスズメバチ、アシナガバチ類、クマバチ、クロヤマアリ、

＜昆虫以外＞
オオケマイマイ、イセノナミマイマイ、ナミコギセル、オカチョウジガイ、ナメクジ類、ダンゴムシ

【観察会の様子】

【左】施設管理課長さんのあいさつです

【右】吉川さんの注意事項等の説明です

【行事名】　東海市　大池公園のキノコ観察会　　● 東海市施設管理協会

【日　時】　2018 年 10 月 14 日(日)　 9 : 30 ～ 11 : 50
【場　所】　東海市　大池公園
【天　気】　曇
【担　当】　降幡、吉房
【参加者】　大人１１名　子供６名、施設管理協会１名
　　指導員：浅井一、降幡、南川、吉房、

【内容】
はじめに管理協会の方から公園の諸注意、次に観察会からヤマカガシやマムシ、スズメバチへの対応に付いての注意をした。 続いて本日の本題であるキノコについて、簡単な説明をした。キノコには寄生するものや共生するものがある。キノコの形にはカサ、ヒダ、ツバ、柄、ツボなどの部位名がある。ツボが付いているテングタケの仲間は毒キノコが多いので注意が必要である。採集に当たり、カサ、ヒダ、ツバ、柄、ツボなど取り除くと名前が分らなくなるので注意が必要である。
早速、野外に出て観察。入り口のケヤキの木に立派なコフキサルノコシカケが生えている。昨年も参加した人々は、更に成長したコフキサルノコシカケに感心していた。協会の方が用意して下さった脚立に乗って、子供達が全員触って「かったい！」と歓声を上げていた。これでコフキサルノコシカケという名前、堅いこと、真っ白な状態だったことを参加者は忘れないだろう。今年は猛暑で蚊がいなかっせいか、今になって蚊が多く、蚊に襲われながらも熱心に採集した。途中、毒のキノコが多いが、食用になるもの、サルノコシカケやレイシのように薬用になるものがあるという説明に参加者が驚いていた。
子供達は目線が低く思いがけないところでもキノコを見つけ、親御さんも童心に返り熱心に図鑑を観ながら採集していた。昨年立派なコウヤクタケが付いていたサクラの木に、今年も更に立派になったコウヤクタケ（幅１５㎝長さ３０㎝）が付いていた。不思議なことに別の所でコウヤクタケを見かけたが、このサクラの付近のサクラには付いていなかった。分かち合いの時、ノウタケをたたくと胞子が飛び散る様子に皆さんが驚いた。今回はキノコの種類が豊富であった。(記：吉房)

【観察した生き物】 ◎　キノコ　 コフキサルンコシカケ、コウヤクタケ、ホウロクタケ、ハカワラタケ、 マンネンタケ（レイシ）、ｼﾊﾞﾌタケ、スエヒロタケ、オオシロカラカサタケ、 カレバキツネタケ、カワラタケ、ツヤウチワタケ、アラゲキクラゲ、シロハツ、 アラゲウチワタケ、オオカワライタケ、ノウタケ、クロハツ、キツネノタイマツ、 キクラゲ、アラゲキクラゲ、ハナビラニカワタケ、ウズラタケ、アオゾメタケ、アカハツ、ツルタケ、モミジタケ、アマタケ、ベッコウタケ？チチアワタケ、ザイモクタケ、カイガラタケ、クロハツ、

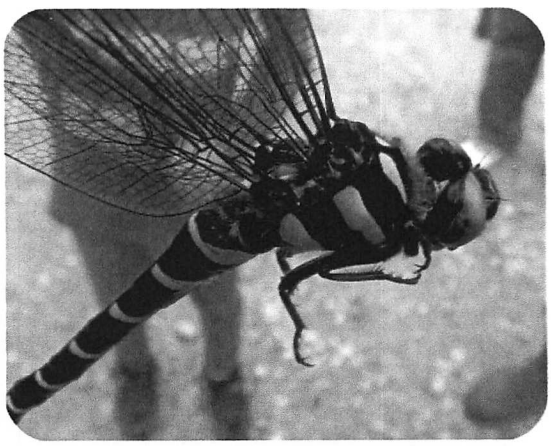
【観察結果】
◎　キノコ
コフキサルンコシカケ、コウヤクタケ、ホウロクタケ、ハカワラタケ、マンネンタケ（レイシ）、ｼﾊﾞﾌタケ、スエヒロタケ、オオシロカラカサタケ、カレバキツネタケ、カワラタケ、ツヤウチワタケ、アラゲキクラゲ、シロハツ、アラゲウチワタケ、オオカワライタケ、ノウタケ、クロハツ、キツネノタイマツ、キクラゲ、アラゲキクラゲ、ハナビラニカワタケ、ウズラタケ、アオゾメタケ、アカハツ、ツルタケ、モミジタケ、アマタケ、ベッコウタケ？チチアワタケ、ザイモクタケ、カイガラタケ、クロハツ、

【観察会の様子】

【左】大きくなったコフキサルノコシカケを梯子をかけて観察　　【右】食用になるハナビラタケ

常滑ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

1	18	3	25	日	受募		常滑	「朽ち木のダンゴムシたち ●大曽公園事務所	大曽公園P 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
2	18	4	14	土	受募		常滑	「野草摘みと野草料理」●常滑市教育委員会	青海市民センターP 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
3	18	5	13	日	募	協	常滑	「砂浜のハマヒルガオたち」 - あいちの自然観察会 -	蒲池漁港P 9:30	中井三(0569-42-2021)森田琢
4	18	7	29	日	募	協	常滑	「里山のトンボたち」 井間池・高砂山	南陵市民センター 9:30	降幡(0569-43-8060)森田琢
5	18	8	12	日	募	協	常滑	「海辺のヤドカリたち」 大潮(干潮 12:43)	蒲池漁港P 9:30	森田琢(0569-42-1708)中井三
6	18	8	26	日	受募		常滑	「川のメダカたち」●常滑市教育委員会	青海市民センターP 9:30	降幡(0569-43-8060)金内



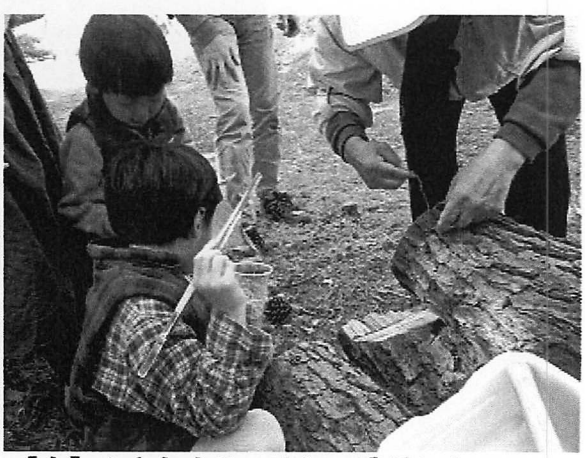
【行事名】　朽ち木のダンゴムシたち　主催 大曽公園(指定管理者:岩間造園)

【日　時】　2018年3月25日(日)　09:30～11:00
【場　所】　集合:大曽公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田琢、中井三、岩間造園(柴山)
【参加者】　一般4名（大人2名、子供2名）
（指導員12名：浅井一、榊原正、中井三、平松俊、降幡、南川、森下栄、森下保、森田琢、森田博、吉川勉、吉房、）
【内　容】 公園のソメイヨシノが開花し始めていました。一般参加者は1家族4名、指導員は12名の盛況な観察会になりました。
　朽ち木が少ない雑木林にも関わらず見る目が多いので、思った以上に朽ち木の生きものを観察することができました。
幼少の子どもは「ダンゴムシ」採集がお目当てでしたので、他の虫には中々関心を示さず、ガイド役の難しさを感じました。
皆が集めた生きものは昨年と同様に足の本数別に分類し、種名を確認しながら知見の分かち合いをしました。
（記・森田琢）

【観察した生き物】
◎雑木林の樹木
ヒサカキ（開花中)、
クロマツ、アカマツ、イチョウ、コナラ、クロガネモチ、ニセアカシア、カクレミノ
◎動物
土壌動物　(足の数別)
0本＝カタツムリ（イセノマイマイ）　キセルガイ　ヤマナメクジ
6本＝カブトムシ　キマワリ　クシコメツキムシ（成虫の死骸）　モリチャバネゴキブリ（成虫）
　　オオモンシロナガカメムシ（成虫）　ヒゲジロハサミムシ（成虫）
　　ホソヘリカメムシ、クビキリギス、クロウリハムシ（死骸）、ナガニジゴミムシダマシ類（成虫）
　　クチキムシ（ゴミムシダマシの仲間）　コクワガタ
8本＝クモの仲間(捕獲採集できず)
12本、14本＝ダンゴムシ
100本？＝百足＝トビズムカデ　イシムカデ
1000本 ？ ＝マクラギヤスデ
鳥類　ウグイス(さえずり)、ヒヨドリ、カラス
◎その他
菌類　キクラゲ(乾燥)

【観察会の様子】

【左】ソメイヨシノ　開花


【右】小さな虫見つけた、逃がした

【行事名】　春の楽しみ　野草摘みと野草料理　主催 常滑市教育委員会（生きがい工房まなとこ）

【日　時】　2018年4月14日(土)　09:30～12:30
【場　所】　集合:青海市民センターP及び料理室
【天　気】　曇り
【担　当】　森田琢、中井三
【参加者】　一般19名（大人8名、子供11名）
（指導員7名：浅井一、鈴木汎、中井三、降幡、古川、森田琢、吉川勉）
【内　容】　天気予報は曇りのち雨、募集人員20名をほぼ満たしました。
料理室に全員を集め、食べられる野草、食べてはいけない野草、採集マナーなどについてガイダンスした後、青海市民センター西の田園地帯を周回して野草を採集しました。
開花期の花々を自然観察したり、動き始めた虫たちを見つけたり、食べられない野草(キツネノボタン)についても実物解説ができ有意義な野草摘みになりました。
1時間ほど野草摘みをして料理室に戻り、野草料理(天ぷら)講座を開設しました。
摘んできた野草を水洗い、キッチンペーパーで水分を拭き取り、天ぷら粉に浸けた後、油で揚げ試食しました。
香ばしい香りと苦みが口に広がり、美味しいので完食できました。参加した子ども達も何度もお代わりをしましたので、用意した天ぷら粉はすっかり無くなりました。
最後に料理室の掃除、食器洗い、余った食材や、持参頂いた夏みかんや野菜を持ち帰えって頂き無事行事を終えました。
過去に各地で開催されていた野草摘みと野草料理ですが、結構楽しめる自然観察会行事である事を再認識しました。
企画、募集、会場手配、器材準備、スタッフ分担、雨天対策など負担が多かったですが、参加者全員が楽しめる催しになりました。
（記・森田琢）

【観察した生き物】
◎植物
イタドリ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、タンポポ、オオジシバリ、ハルジオン、ハルノノゲシ、ギシギシ、スイバ、ヨモギ、菜の花(セイヨウカラシナ)
スミレ、シロツメクサレンゲソウ、セリ、コオニタビラコ（ホトケノザ）、ハコベ、ノミノフスマ、スギナ(土筆)、ミゾソバ、ツルウメモドキ、ナワシロイチゴ
キツネノボタン（有毒）、タガラシ（有毒）、シソ科のホトケノザ（小毒）、イヌコモチナデシコ（犬子持ち撫子）
<会員が持参した野草>
ノビル、クコ、ハマボウフウ、ツリガネニンジン、ガマ
◎動物(昆虫)
ベニシジミ、ナナホシテントウムシ
◎その他
オオタニシ

【観察会の様子】

【左】野草摘み(シロバナタンポポ)

【右】セリ群落

【行事名】　海辺のヤドカリたち

【日　時】　2018年8月12日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:蒲池漁港P
【天　気】　曇り
【担　当】　森田琢、中井三
【参加者】　一般18名（大人7名、子供11名）
（指導員2名：中井三、森田琢）
【内　容】
連日の猛暑日続きで参加者が危ぶまれましたが例年以上の18名になりました。ガイド役は2名でしたが毎回知立市内から一般参加の0氏にも助けられました。
潮は大潮、干潮が12時43分と遅めで、14号台風の発生もあってか、観察会開始時の海辺は波がやや強く、ヤドカリが見つからず採集に苦労しました。
10時30分過ぎには遠浅になり海辺の生きものが次々と採集観察できるようになりました。
参加者が採集した生きものや貝殻は広げたバットに仕分けてもらい、個々に説明しながら話題の分かち合いをしました。小学生やお母さんから「これなあに」の
問いも沢山頂き、返答に窮した場面もありましたが、無事に楽しい時間を過ごすことができました。
（記・森田琢）
【観察した生き物】
◎海岸動物
フジツボの仲間、カメノテ、ホンヤドカリ、イソガニ、ガザミ、イシガニ(死骸)
アゴハゼ、ミミズハゼ
フナムシ、未同定(写真?)
タテジマイソギンチャク
ゴカイの仲間
巻き貝(貝殻)：(ツメタガイ)、(アカニシ)、マツバガイ イボニシ 、(コシダカガンガラ)、(ボウシュウボラ)、イシダタミ、(キサゴ)、(シマメノウフネガイ)
二枚貝(貝殻)：(アサリ)、(アカガイ)、 (サルボウ)、(ハイガイ)、(イタヤガイ)、 (ウチムラサキ)、(カガミガイ)、(ナミマガシワ)、 (マガキ)、ホトトギスガイ
◎海藻
ミル、アナアオサ、オゴノリ、アマモ(海草)
◎その他
海鳥:カモメの仲間(多数飛翔)
昆虫:ウスバキトンボ(多数飛翔)

【観察会の様子】

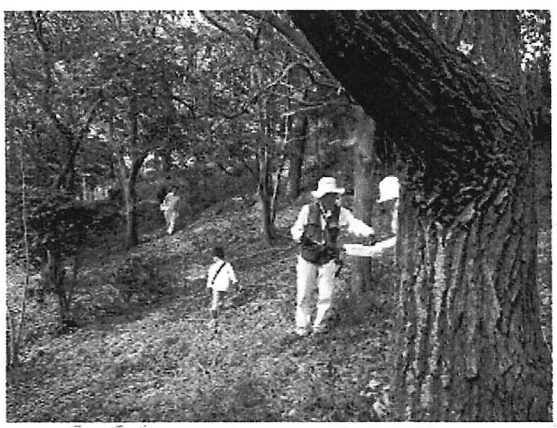
【左】開始時は波荒し

【右】採れた、採れた

【行事名】　雑木林のきのこたち　主催　大曽公園(岩間造園)

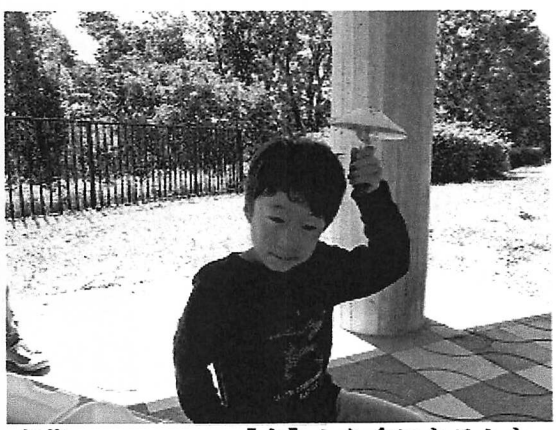
【日　時】　2018年10月7日(日)　09:30～11:30
【場　所】　集合:大曽公園P
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田、中井三
【参加者】　一般6名（大人4名、子供2名）
　　(指導員3名：中井三、森田琢、吉川勉)
【内　容】
　台風25号が日本海を通過した余波で昨日は小雨が時々降った。公園内にもいくらか湿り気の恩恵が有り
下見(10/2)の際には4種ほどしか見つけられなかった茸が、観察会当日(10/7)は20種弱を見つけることができた。
毎回、茸の種名同定に悩まされていたので、今回は大枠の形態分類までを実践し、後は参加者の図鑑検索力に委ねた。
幼菌、成菌、老菌の大きな変異、傘の有無、ひだの形態の違い、ひだの色の違いに注目して仕分けてもなお、
図鑑写真との比較で実物を同定することの難しさを理解してもらえたと思う。
（記・森田琢）
【観察した生き物】
◎茸
オオシロカラカサタケ、イヌセンボンタケ、クサハツ、キニガイグチ、ヒメショウロ
クジラタケ、ノウタケ、ニガクリタケ、ビロードツエタケ、イヌセンボンタケ、ドクベニタケの仲間、カワリハツ、ニオイワチチタケ
◎昆虫
ホタルガ、オオカマキリ、ゾウムシ
◎その他
ハギ(開花)、コナラ(結実)、イチョウ(結実)

【観察会の様子】


【左】樫の木(どんぐり)雑木林できのこ探し

【右】雑木林外縁の萩の花

【左】芝地に生えるオオシロカラカサタケ　老菌


【右】から傘になるかな

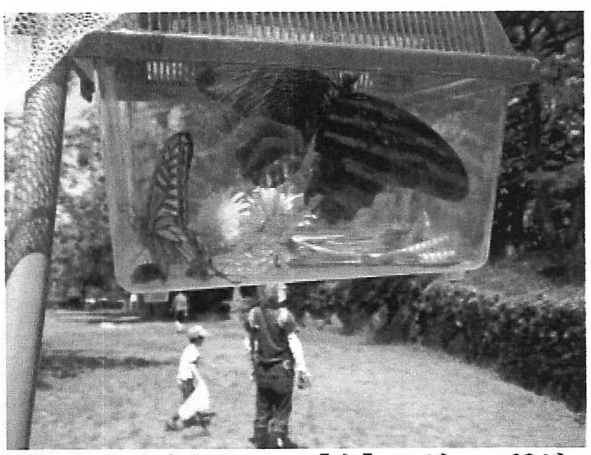
半田ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	4	21	土	募	協	半田	「任坊山の春-虫や野草の観察」	任坊山公園P 9:30	加藤(0569-21-7702)榊原靖
2	18	6	16	土	受託		半田	「亀崎海岸の生き物」干潮13:46　●半田市環境課	亀崎海浜緑地P 9:30	山田和(0569-22-4660)加藤
3	18	7	29	日	募	協	半田	「矢勝川の生き物」	修農公民館P 9:30	榊原靖(0569-21-3497)石川
4	18	8	5	日	受託		半田	「ナイトハイクと灯火に集まる虫」●半田市環境課	半田運動公園第3P 19:00	榊原正(0569-21-7000)山田和
5	18	8	12	日	受託		半田	「稗田川・平地川の生き物」●半田市環境課	乙川東小北門から西150mの空き地 9:30	榊原正(0569-21-7000)森下保
6	18	10	7	日	募	協	半田	「運動公園の秋-秋の草花や昆虫」	半田運動公園第一P 9:30	榊原正(0569-21-7000)榊原靖
7	18	10	14	日	募	協	半田	「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」	任坊山公園P 9:30	石川(0569-23-1101)牧野
8	18	12	8	土	募	協	半田	「康衛池のカモと阿久比川河口の生き物」	瑞穂記念館P 9:30	鈴木汎(0569-22-0908)榊原正

【行事名】　「任坊山の春−虫や野草の観察」
【日　時】　2018年4月21日（土）　　9:30〜11:30
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　加藤、榊原靖
【参加者】　一般：　大人４名　　こども３名
　　指導員：浅井一、加藤、門脇重、榊原正、榊原靖、鈴木汎、田中央、森下保、森田琢、
【内　容】
　早い時間から指導員はたくさん集まっていたが一般の子どもの姿がない。今日は子どもづれは来ないのかな思ってたら二組来てくれた。
　小さな子どもが来ると、ついつい、その子たち中心の観察会になってしまうのが常であるが今回も当然そうなった。
　子どもの興味の対象は動く生き物だ。まだ親になりきってないバッタ類や蝶を追いかける。地面にかぶせた昆虫網の中にそれらが入ってもうまく取れないので、取り方を教える指導員。
　結果的にはアゲハ二種類ゲット、それと道脇の草むらにいた子ガメなどがいて、子どもたちは満足。
　指導員には、本日は虫こぶの研修となった。　　（記：榊原正）

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつ　　【右】子どもがいると子ども中心になってしまう観察会



【左】道脇の草むらの中で見つけた子ガメ。子どもたちは大好き　　【右】アゲハ二種ゲット

【観察会の様子−追加】

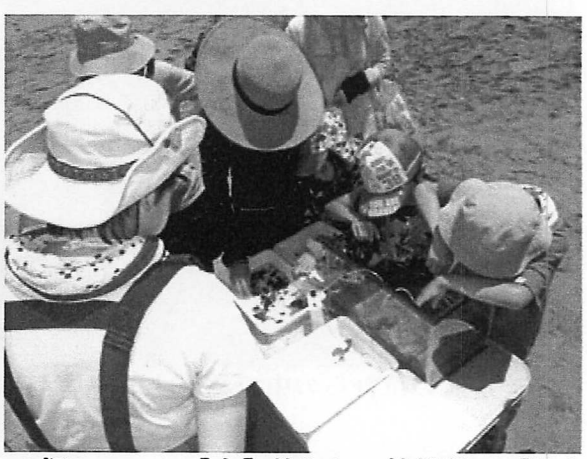
【行事名】　「亀崎海岸の生き物」　干潮　13:46　●半田市環境課
【日　時】　2018年6月16日（土）　9:30～11:30
【場　所】　集合：亀崎海浜緑地P
【天　気】　晴れ
【担　当】　山田和、加藤
【参加者】　一般：　大人、こどもで約３６名
　　指導員：浅井一、加藤、門脇重、榊原正、鈴木汎、田中央、森下保、
【内　容】
天気は絶好。干潮時刻が午後２時近くのため集合時刻では潮が多く、パッと見、期待できない。
それよりむしろ、波打ち際や堤防上に釣り人が多く、これはむづかしいなと直感した。
※例年、堤防下に散在する石の周りが“絶好の漁場”なのに近づけない…
それでも、指導員や地域ボランティアの積極的な努力で、それなりに採集でき、魚の仲間のミニ水族館と魚以外のミニ水族館ができたので、それぞれの水族館前で解説をした。
（１５分ぐらいで聞いてる人は場所をチェンジする）
もっとも、子どもたちは指導員と一緒に頑張ったりして大変楽しくヤッテいた。第一、何と言っても水の中は楽しい。
また、終わりに、主催の環境課から市内の川や池の生きものの下敷きをもらって、子どもたちは大喜びであった。
ところで、めったにないことであるが、指導員の一人の「昼飯食べに行こう」で行き、食後、帰ってきたら凄く潮もひっていて釣り人も少なく「この時間帯が観察会には最高だね」と言ってたものでした。　（記：榊原正）

【観察会の様子】

【左】受付場所の近くで「はじめの挨拶」

【右】指導員の指示で「追い込み漁」

【左】指導員の指示で「海底の砂の中の生きもの探し」



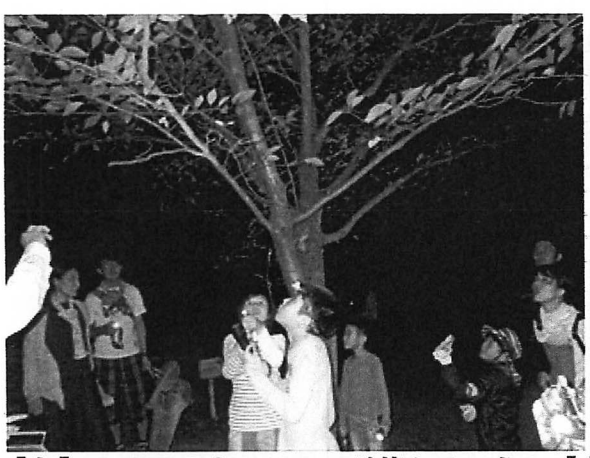
【右】終わりの挨拶後の「生きものふれ合いタイム」（カニ）

【観察会の様子−追加】

【行事名】　「ナイトハイクと灯火に集まる虫　●半田市環境課
【日　時】　2018年8月5日（日）　19:00～20:30
【場　所】　半田市運動公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　榊原正、山田和
【参加者】　一般：　大人、こどもで約４０名
指導員：安達、石川よ、石川由、加藤、榊原正、榊原靖、鈴木汎、平松裕、山田和
【内　容】
とにもかくにも蒸し暑かった。とっくに陽は落ちているのにゆっくりと歩いていてもシャツがびしょ濡れになった。
よい印象も残っている。それは参加した子どもの反応や親の協力姿勢が大変良かったこと。
今回は、始めの諸注意のときに、全員が捕る虫網を持っている子どもたちへ指導員から〝カブトやクワガタを見つけても、捕らないでね〟とお願いした。後から続く人や他のグループの全員がその状態を見ることができるように…。また、〝どうしてもほしい人は終わってから捕まえに行って下さい〟を付け加えた。
実際は、カブトムシのすばらしい状態が全部で３ヶ所あった。（私のグループの観察コースでは１ヶ所だった）
子どもたちは小さな昆虫を時々見つけては声を上げていた。　（記：榊原正）

【観察会の様子】

【左】主催者あいさつと指導員からの諸注意　【右】この木でカブトムシの様子を堪能した



【左】ここではオニヤンマが休んでいた　【右】灯火に集まった虫の説明。ナイトハイク出発前にセット

【観察会の様子−追加】

【行事名】　「稗田川・平地川の生き物」　●半田市環境課
【日　時】　2018年8月12日（日）　9:00～11:30
【場　所】　稗田川・平地川（乙川小学校の東位置）
【天　気】　晴れ
【担　当】　榊原正、森下保
【参加者】　一般：　大人、こどもで約３５名
　　指導員：浅井一、安達、加藤、門脇重、榊原正、鈴木汎、田中央、古川、森下栄、森下保
【内　容】
　指導員の駐車場は年間予定表の通り乙川東小の西方面の空き地であったが、一般募集の参加者は場所が分かりやすい乙川東小の北駐車場であった。そちらは父ちゃん野球の催しのためか満車で何台かこちらに回されてきた。
　このことはともかく今回も地域のボランティアの人や指導員が頑張ったため、期待以上の獲物を捕ることができた。
　それら獲物を半田ブロック方式（水槽を２ヶ使い、片方に魚類、もう片方に魚類以外）でミニ水族館を設置し、その前で獲物の説明をした。説明を聞く人は１５分ぐらいで隣りのミニ水族館に移動。即ち、説明する人は同じことを二度繰り返すという方法。この方法は子どもの数が12,3名以上からは子どもにとって大変有効な方法である。
　また、この観察会への参加を夏休みの自由研究にするという子どものためにお父さんが写真などで頑張っていた。観察会がこんな面でも役に立って嬉しいですね。　（記：榊原正）

＜観察できた生きもの＞
・カワアナゴ（15㎝以上? 本日の目玉）、フナ、アユ、タモロコ、モツゴ、マハゼ、ゴクラクハゼ、スミウキゴリ、カダヤシ、ブルーギル、等々
・モクズガニ、アメリカザリガニ、スジエビ、ミゾレヌマエビ、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ、ヌマガエル、ウシガエルのオタマジャクシ（手足あり）、カワニナ、等々

【観察会の様子】

【左】主催者あいさつと指導員のお話　【右】手前が稗田川。向こうが平地川（細くて水面が見えない）

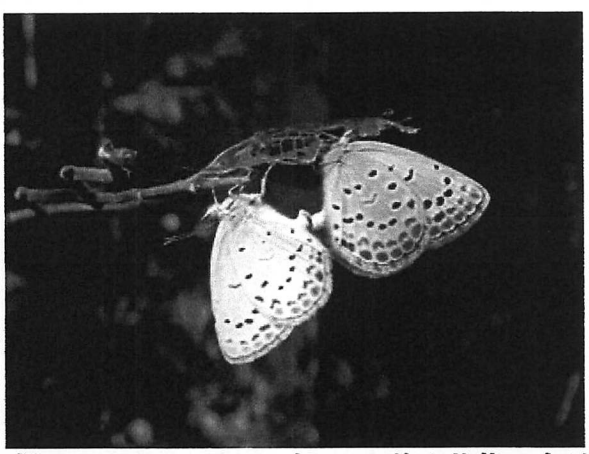
【左】魚類以外の説明場所　【右】魚類の説明場所。どちらも子どもが前列、親御さんは

【行事名】　「運動公園の秋−秋の草花や昆虫」
【日　時】　2018年10月7日（日）　　9:30〜11:30
【場　所】　半田運動公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　榊原正、榊原靖
【参加者】　一般：　大人　１名
　　指導員：安達、石川よ、石川由、榊原正、榊原靖、鈴木汎
【内　容】
　絶好の観察会日和でしたが一般の参加者数は残念な状態でした。それでも昨年に続き今年も保育園の先生に参加いただいた。
　彼女は園での遊びに使える教材探しが目的であるようですが、なかなかどうして、指導員の説明に上手に耳を傾けてくれるので、指導員の方も、ついつい頑張って(?)、説明が雄弁になっていたようです。
　以上についてはともかく、例年と同じコースを、ほぼ、同じ時間を使って観察歩きしたのですが、見つけた昆虫類の少なさに、ちょっと、不思議な気がした。特に、ツチイナゴはいっぱい見られると思いこんで出発したが、わずか、３ヶ所で数匹見つけただけでした。これって、異変…？　（記：榊原正）

＜観察できた生きもの＞
　・ツチイナゴ、ジョロウグモ、ヤマトシジミ、クマバチ、ミツバアケビの果実、ナンキンハゼの果実、シイの実の試食、等々

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつとお話



【右】写真を撮ってくれと言わんばかりの静止状態。右が♀(メス)か

【左】林縁のツル植物観察

【右】所定の観察コースをまわって、終わりのあいさつと話

【観察会の様子−追加】

【行事名】　「任坊山の秋-アサギマダラに会えるかな」
【日　時】　2018年10月14日（日）　　9:30～11:30
【場　所】　任坊山公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　石川由、牧野
【参加者】　一般：　大人２名、子ども３名
　　指導員：安達、石川よ、石川由、加藤、榊原正、鈴木、古川、牧野、森下栄、森下保、山田和
【内　容】
　結果から言うと、今回はアサギマダラに会えた。それも、しっかり観察できた！！！。
　始めの挨拶と話の中で、「１０年ほど前までは毎年会えたがこのところ３年に１回ぐらいなっている。ことしは会えるかも…」と、期待をさせてしまったが、ホント、良かったです。
　集合場所の駐車場の下（西側）の法面にあった巨木を含む木々が公園整備工事の関係ですべて伐採されていた。その工事の関係で駐車場の下の観察コースは立入不可（案内板によると〝再来年〟の初夏には新しい公園に生まれ変わる）。そこを省いて公園内の例年のコースを進む。
　例年通り大きなシイの実が落ちていたので例年通り試食。ヤマノイモの〝むかご〟も試食。ほぼ、例年通りで進む。展望台近くの道でアサギマダラがひらひらとゆっくり飛ぶのを見る。捕獲に失敗。皆、あ～と言いながらも、でも、見えたねよかったねと感動した。
　で、本当によかったのは、コースの終わりころ、５，６年か７，８年前にゆっくり観察できた同じ場所（アベリアの花作場所）に止まっていた。遠巻きで観察。たったの１匹でしたが皆さん、ホントに、感動。　　（記：榊原正）

＜観察できた生きもの＞
　・アサギマダラ、ヤマトシジミ、オンブバッタ、コカマキリ、等々

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつとお話

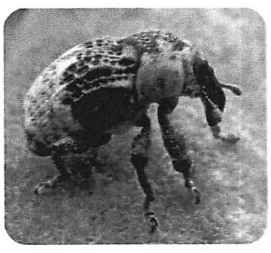
【右】子どもはバッタがいれば大喜び。でも、余りいなかった

【左】遠巻き（４，５ｍ？）でアサギマダラを見ている

【右】同左のアサギマダラ

東浦ブロック観察会　　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	2	17	土	募	協	東浦	「冬の生き物たちに会おう」	東浦の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)山田公
2	18	4	1	日	受募	協	東浦	「春の野山を見よう」	東浦町体育館玄関前 9:30	岩本(0569-58-0952)竹内秀
3	18	4	14	土	募		東浦	「竹林の探検をしよう」●東浦町環境課	東浦学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)桑原
4	18	5	12	土	受募		東浦	「ヒメボタルに会おう」●東浦町環境課	うのはな館P 21:30	田中央(0562-34-6040)岩本
5	18	6	2	土	受募		東浦	「明徳寺川の生き物を探そう」●東浦町環境課	於大公園第1P(プール側) 9:30	田中央(0562-34-6040)山田公
6	18	7	7	土	受募		東浦	「初夏の里山で生きものを探そう」●東浦町環境課	東浦自然環境学習の森P 9:30	山田公(0562-83-3297)桑原
7	18	7	20	金	募	協	東浦	「灯火に集まる虫と鳴く虫の音を聞こう」	高根の森P 19:00	春日(0562-84-2086)水野利
8	18	8	4	土	募	協	東浦	「川の生き物に会おう②」	藤江コミュニティセンターP 9:30	田中央(0562-34-6040)水野恭
9	18	9	29	土	受募		東浦	「身近にあるキノコを見つけよう」	高根の森P 9:30	岩本(0569-58-0952)降幡
10	18	10	20	土	募	協	東浦	「里山の秋を見つけよう」	東浦学習の森P 9:30	竹内秀(0562-83-9023)岩本
11	18	11	17	土	受募		東浦	「秋の宝物で工作をしよう」●東浦町環境課	於大公園このはな館 9:30	山田公(0562-83-3297)水野恭



【行事名】　「冬の生き物たちに会おう」

【日　時】　2018年2月17日(土)　9:30～12:00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　晴れ
【担　当】　岩本、山田公
【参加者】　一般：１６　名
　　指導員：岩本、桑原、榊原正、竹内秀、田中央、古川
【内　容】
　例年に比べると気温の低い日が多かった今年の冬も立春が過ぎると何となく日ざしが変わってくる。日中の気温が暖かいなと感じる日も出てきた。
　今日は子どもたちの数も多くにぎやかだった。阿久比や刈谷、大府からの参加もあった。林の中でボーイスカウトがテントを広げ一晩を過ごすとじゅんびをする姿も見られた。
　会を始める頃は黒い雲が立ちこめて風も強かったが、だんだんと風もおさまり青空が広がってきた。それでも、学習の森は谷筋にあるためか気温が低いと快感では感じた。草木たちはちゃんと春の準備をし、オオイヌノフグリやホトケノザ、タンポポが花を咲かせていた。寒さをしのいで、セイタカアワダチソウやスイバ、ハルジオンたちがロゼッタ状になって葉を広げて太陽の光を浴びようとがんばっていた。
　比較的大きなコナラたちが枯れてカシノナガキクイムシ防除のためかコナラの大きな木があちこちで切られていた。何年か後には、きっとコクワガタたちの楽園になることを願う。
　寒さのために動けなくなったシマヘビ、ハムシやジグモ、コクワガタの幼虫がみられ、子どもたちの歓声が上がった。池に１羽も水鳥が見られないのが気になった。（記・竹内秀）
【観察した生き物】 ◎植物…トウカイタンポポ、セイヨウタンポポ、スイバ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、エゴノキの虫えい、ハンノキ（花）（実）…ヤツデ、ハゼ、アオキ、サルトリイバラ、
◎鳥…ヒヨドリ、メジロ、ツグミ、モズ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シジュウカラ、ジョウビタキ、アオジ、ハシブトガラス、コゲラ、　◎その他…ナナホシテントウ、コクワガタ（幼虫）、ルリハムシ、ハサミムシ、キマワリ（幼虫）、シマヘビ、

【観察会の様子】

【観察会の様子】

【左】始めのお話　　【右】ヤツデのお話。子どもたちはヤツデの葉っぱが好き

【左】メダケの長いのを持って進む子供たち。これも大好き　【右】朽ち木の中にいた昆虫を観察

【行事名】　春の竹林を探検しよう　　● 東浦町環境課主催

【日　時】　平成30年４月14日（土）９：30?12：00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　晴れ
【担　当】　竹内秀、桑原
【参加者】　一般18名
（指導員：田中央、門脇、桑原、岩本、南川、平松俊、水野恭、藤井）
【内　容】
観察会当日は、雨が降りそうな曇り空であり、若干肌寒い陽気であった。春も真っ盛りで新緑が美しい状況でしたが、太陽がなく曇りのためか、チョウなどの昆虫の姿は少なく感じました。
自然環境学習の森の駐車場から新池（ため池）を通りながらゆっくりと散策を行いました。
今年は、３月になると暖かい日が続き、例年より早く藤の花が咲き、コナラの新芽を見ることができました。常緑樹の深緑、地面にはタンポポの黄色、ハルジオンの薄ピンク色、レンゲソウの濃いピンク、雲の切れ間から除く空の青色などさまざまな自然の色を観察することができました。
竹林に入るとウグイスの声が竹林内を満たし、心が安らぐ気持ちになりました。参加者は、春の里山をゆっくりと散策し、春を満喫することができました。

【観察した生き物】
植物：シロツメグサ、コメツブツメクサ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、レンゲソウ、フジ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、マツバウンラン、タネツケバナ、ナズナ、イヌガラシ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ノミノフスマ、ツメクサ、ハハコグサ、ハルジオン、コオニタビラコ、オオジシバリ、オニノゲシ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、キランソウ、スズメノヤリ、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、スギナ、ヨモギ、トウカイタンポポ、セイヨウタンポポ、シロバナタンポポ、ムラサキケマン、ギシギシ、セイタカアワダチソウ（外来種）、ヘビイチゴ、スイバ、イタドリ、アシ、ワラビ、タラ、セリ、ニガイチゴ、マムシグサ、ゼンマイ、アケビ、クズ、ヤブガラシ、コナ ラ、カクレミノ、ヤツデ、ヤマハゼ、アカメガシワ、シュロ、クスノキ、モウソウチク（外来種）、ヤダケ、ヤマザクラ

昆虫：アシブトハナアブ、シロスジヒゲナガハナバチ、シオカラトンボ、アブラムシの仲間、ベニシジミ、ツマキチョウ、カラスアゲハ、ガガンボの仲間、ナナホシテントウ、クロウリハムシ
爬虫・両生類：ヌマガエル、ナゴヤダルマガエル、ミシシッピアカミミガメ、
鳥類：カルガモ、コガモ、ウグイス（声）
計　７４種

【観察会の様子】

【行事名】　明徳寺川の生き物を探そう　　● 東浦町環境課主催

【日　時】　平成30年６月2日（土）　9:30～11:30
【場　所】　東浦町明徳寺川（坊主橋付近）
【天　気】　晴れ
【担　当】　田中央、山田公
【参加者】　一般：33名　（内　子供２１名）
　　（指導員：浅井一、岩本、大矢晃、門脇重、桑原、田中央、水野恭、）
【内　容】
　日差しが強くて、気温も高め、でも空気が乾いてさらっとしていて、川の観察会にもってこいの日になりました。
　最初に、たもの使い方の説明や諸注意があり、それから、於大公園第一駐車場から歩いて橋に向かいました。川の水はきれいで、水量もてごろ、橋の下に瀬があって川は観察会にはとてもよい状態でした。
　”エビが取れたよ。”　”魚が入ったよ。”と歓声があがり、大人も子供もみんな楽しめました。ハゼやエビがたくさん見つかりました。
　その後、見つけた生き物の説明を聞きました。
　貴重なウナギは今年も見つかりました。大きなウシガエルにびっくり、さわったり持ったりで、また、びっくり。ウシガエルは意外におとなしくしていました。みんなで頑張って、たくさんの生き物を採取することができました。　（記：岩本）
【観察した生き物】
○魚　類：ウナギ、ボラ、カマツカ、オイカワ、タモロコ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、マハゼ、タイリクバラタナゴ、カダヤシ、ブルーギル
○甲殻類：ヌマエビ、スジエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ
○両生類：ウシガエル（成体とおたまじゃくし）、ヌマガエル
○その他：シオカラトンボのヤゴ、ハグロトンボのヤゴ

【観察会の様子】

【左】始めのあいさつと諸注意

【右】採集活動の様子

【左・右】ウシガエル。こんなに大きいとチョットこわい。久しぶりに採集できた

トップページへ

【行事名】　身近にあるキノコを見つけよう

【日　時】　2018年9月29日(土)　9:30～11:45
【場　所】　東浦町高根の森
【天　気】　雨
【担　当】　降幡、岩本
【参加者】　一般：4名
　　指導員：岩本、桑原、竹内秀、田中央、降幡、
【内　容】
台風24号が近付いて大雨の中の観察会か、中止かと思いきや、誰の心がけが良かったのか何とか傘をささずに観察会ができ、終わったころに雨が降りだすといった半日になった。今年は夏が非常に暑く、9月に入ると雨が多いという天候で長野ではマツタケが豊作といわれる。
さて、今年はどうかと言いながら森の中へ入る。カワラタケやヒイロタケ、いつものカレバキツネタケなどが見られたが、ホコリタケの仲間は少なかったような気がした。途中、オオワライタケの若いの、普通の、時間のたったのがならんでいて、改めてきのこの変化の大きさ、とても同じものには見えない。といった感想が聞かれた。
今回の観察会の参加者は、知立からときどき来られる方に加えて、熱田区から、緑区から、小牧からの参加者もおられた。皆さんインターネットで見たとのことで、改めてホームページなどの宣伝が大切だなと感じたことだった。（記　竹内秀）

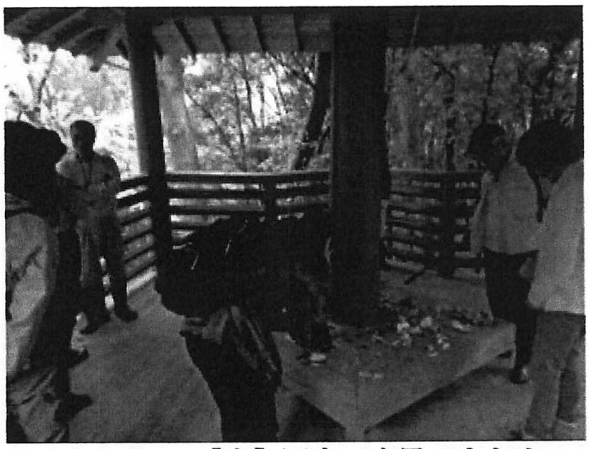
【観察した生き物】
・見られたキノコ⇒ハカワラタケ、ホウロクタケ、ヒイロタケ、コフキサルノコシカケ、エリマキツチグリ、ウスヒラタケ、シロテングタケ、キイロイグチ、ヌメリコウジタケ（すっぱい）、キイボカサタケ、アマタケ、ウスキモリノカサ、ブドウニガイグチ、ノウタケ、カレバキツネタケ、アシグロタケ、シロテングタケ、オオワライタケ、ドクツルタケ、ツルタケ、ニセシロハツ、シロハツモドキ、
・その他、見られたもの⇒ニイニイゼミの抜け殻

【観察会の様子】

【左】雨の中、熱心の人が遠路から

【右】枯れコナラの大木にハカワラタケたくさん見られた

【左】幻覚作用がある言われているオオワライタケ



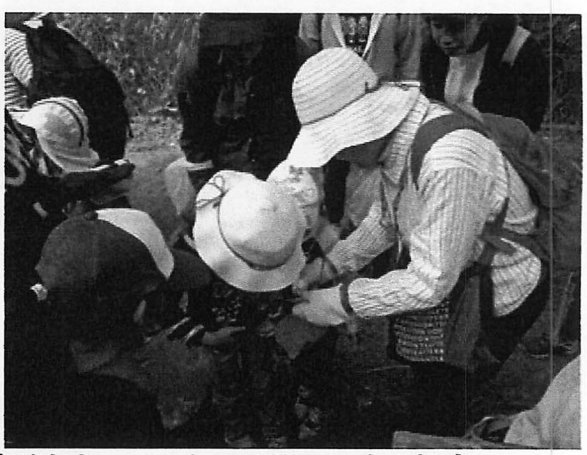
【右】園内の東屋でまとめ

【行事名】　里山の秋を見つけよう
【日　時】　平成30年10月20日（土）9：30～12：00
【場　所】　東浦自然環境学習の森
【天　気】　晴れ
【担　当】　竹内秀、岩本
【参加者】　一般：18名
　　指導員：浅井一、岩本、桑原、榊原正、竹内秀、田中央、水野恭、南川、藤井辰、古川
【内　容】
　10月に入っても気温の高い日が続き、日陰に入ると涼しさを感じる陽気であったが、日向に出るとまだまだ日差しがきつく、暑い日であった。今日は、虫網をもったたくさんの親子が参加した。
　秋の里山には、たくさんの恵みがある。アケビやヤマイモ（ムカゴ）などの食べるとおいしい植物や、きれいに色づいたカラスウリの実、ヨウシュヤマゴボウ、クサギの実、空を飛んでいるアキアカネなどの生き物を観察することができた。
　昔は当たり前に食べていたアケビですが、参加者の多くは食べたことがないようで、初めて食べるアケビに「あまい」「おいしい」と喜んでいた。まだ、樹木は色づいていなかったが参加者は身近な秋を満喫することができた観察会であった。

【観察した生き物】
　植物（菌類含む）：イヌタデ、ミツバアケビ、ヨウシュヤマゴボウ、カラスウリ、ツリガネニンジン、スミレ、ヤマノイモ、ミゾソバ、ヌルデ、ムラサキシキブ、オニフスベ、シュタケ、カンゾウタケ
　昆虫：ジョロウグモ、ナガコガネグモ、ハグロトンボ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、エンマコオロギ、オンブバッタ、オオカマキリ、ヤマトシジミ、ササキリ、ベニシジミ、ヒメジョウシナガカメムシ、モンキチョウ、ミドリヒョウモン、シオカラトンボ、アキアカネ、ウスバキトンボ、ヤブキリ、ケバエ、アサギマダラ、ハラビロカマキリ、モンキアゲハ
　爬虫・両生類：ヌマガエル、トノサマガエル、イシガメ
　鳥類：カルガモ、キジバト、チョウゲンボウ

（記・水野恭）

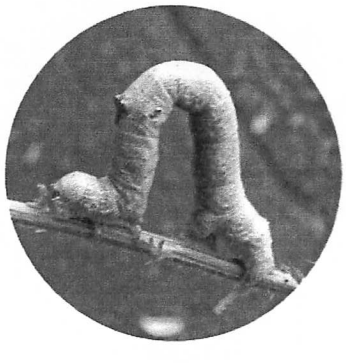
【観察会の様子】



【左】始めの挨拶　　【右】クズの葉が丸まっていたので開いて中を観察

美浜・南知多ブロック観察会　2018(平成30)年　1月～12月

No	年	月	日	曜	種	保険	担当	「テーマ」　●印…主催者	集合場所と時刻	担当指導員(問合せ先)
1	18	2	11	日	受募		美南	「地層岩石調べ化石採集」●南知多町環境課	南知多町JAあいち知多　みさき支店P 9:30	河原(0569-82-2307)田中達
2	18	2	25	日	受募	協	美南	「冬鳥と旅鳥カワウの子育て」●美浜町環境保全課	美浜町総合体育館正面玄関 9:30	岩井(0569-87-5661)永田孝
3	18	5	19	土	受募	協	美南	「山で発見　ヒメボタル」●美浜町環境保全課	美浜町時志観音P 21:30	百合草(0569-82-2354)永田寛
4	18	5	27	日	受募		美南	「アオウミウシを見つけよう」(小佐)●南知多町環境課	南知多町県水産試験場P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村英
5	18	5	27	日	募		美南	「クサフグの集団産卵を見よう」	南知多町聖崎公園P 14:30	大矢晃(052-841-6048)大矢美
6	18	7	14	土	受募		美南	「山海川生き物観察」●南知多町環境課	南知多町旧山海小学校P 9:30	田中達(090-1626-3231)中村英
7	18	7	28	土	受募	協	美南	「干潟の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町奥田農協P 9:30	森田博(0569-87-0725)永田寛
8	18	8	11	土	受募	協	美南	「海辺の生き物」●美浜町環境保全課	美浜町冨具崎港P 9:30	森田博(0569-87-0725)永田孝
9	18	8	11	土	募		美南	「ウミホタルの発光を見よう」	南知多町聖崎公園P 18:30	大矢晃(052-841-6048)中村英
10	18	9	8	土	受募	協	美南	「布土川の生き物観察」●美浜町環境保全課	美浜町布土公民館P 9:30	斉藤(090-4213-2898)榊原靖



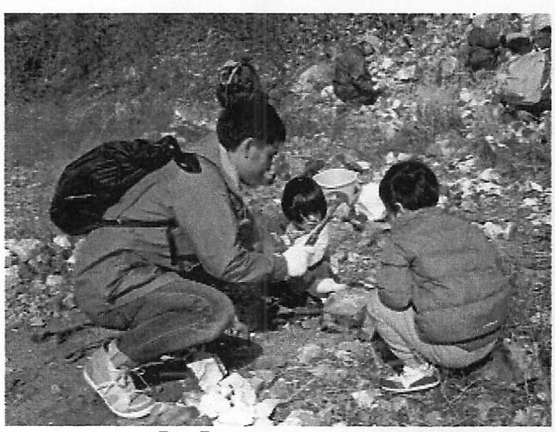
【行事名】　「地層岩石調べ化石採集」　　● 南知多町環境課主催

【日　時】　2018年2月11日(日)　9:30～12:00
【場　所】　農協みさき支店P⇒近くの海岸の崖
【天　気】　晴れ
【担　当】　河原、田中達
【参加者】　一般52名（大人24名　子ども28名）
　　指導員9名：（河原、桑原、鈴木汎、田中達、永田孝、永田寛、森田博、山田和）
　　化石専門講師3名、町職員2名、大井まちづくり協議会事務局長（取材）
【内　容】
　当日は夜半過ぎまで雨が降り続きましたが、朝には少し寒い中にも青空が戻る、そんな一日でした。
　この観察会には、県内外から52名の一般参加者ありました。集合場所となっている農協みさき支店から会場までは徒歩で移動し、採集地の崖の前で、この地域の地層の成り立ちや落石の危険性などの説明ののち、一斉に化石探しが開始されました。
　石を割って化石を見つけては、講師の先生方に種類の特定してもらい、その説明に熱心に耳を傾けている姿を多くみることができました。このあたりの地層（師崎層群）からは深海性の生物の化石が多く採取でき、シロウリガイやキララガイ、ウニの仲間の化石を見つけた参加者が多く見られました。
　化石採取の後には、毎年恒例となっている日本の鉱石がもらえるくじ引きが講師の計らいによりおこなわれ、全ての参加者が楽しむことができました。（記：田中達）

【観察会の様子】

【左】化石専門講師による化石の説明

【右】お母さんと化石採取


【左】お父さんと化石採取

【右】参加者集合写真

トップページへ

【行事名】　「冬鳥と旅鳥カワウの子育」●美浜町環境保全課

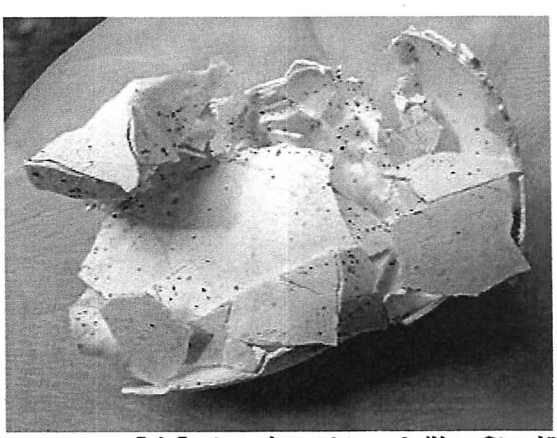
【日　時】　2018年2月25日(日)　9:30～12:00
【場　所】　美浜町体育館正面玄関前⇒鵜の池（国天）⇒菅田池
【天　気】　曇り
【担　当】　神野、永田孝
【参加者】　一般10名（大人8名、子供2名）
（指導員5名：神野、山田和、山田竜、浅井一、永田孝）
【内　容】
曇り空で寒い中、１０名の参加者とともに、鵜の池周辺の鳥を探して歩きました。今年もあまり鳥の姿は見られませんでしたが、何種類かの鳥と出会え、参加者のみなさんは満足されている様子でした。鵜の池までの道でツクシを見つけ、春が近い事を皆で喜びました。今年も鵜の池の展望台まで歩いた後、車で菅田池まで移動して、カワウの観察を試みましたが、どういうわけか子育て中の個体が観察できず、古い巣ばかりが目立ちました。神野指導員の話でも、今年は繁殖個体が異常に少ないということでした。（記・永田孝）
【観察した生き物】
◎鳥
ヒヨドリ、ツグミ、ハシボソガラス、マガモ、ミコアイサ、コガモ、ハシブトガラス、スズメ、キジバト、オオバン、トビ、コゲラ、ウグイス、アオサギ、カワウ、ハクセキレイ、コジュケイ
◎その他
ツクシ、キマワリアラゲツトノミタケ（キマワリの幼虫につく冬虫夏草）

【観察会の様子】

【左】鳥を探しています

【右】鵜の池ハシビロガモ

【左】菅田池の古い巣

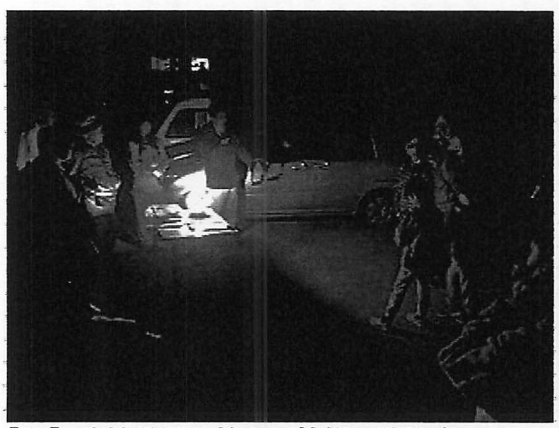

【右】少し青みがかった鵜の卵の殻

これまでの観察会へ　　トップページへ

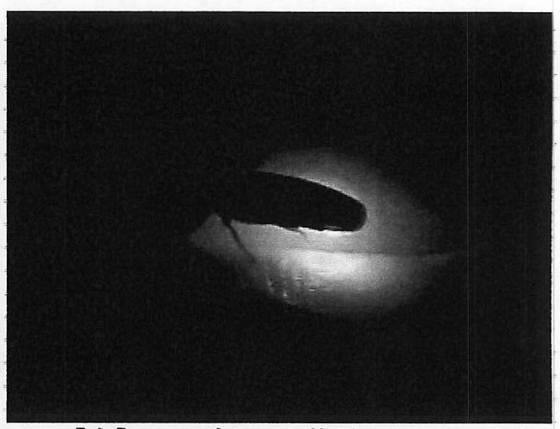
【行事名】　山で発見　ヒメボタル　　●美浜町環境課保全主催

【日　時】　平成３０年５月１９日（土曜）　２１時３０分～２３時
【場　所】　美浜町時志観音
【天　気】　晴れ
【担　当】　百合草、永田寛
【参加者】　一般：　１７名
　　指導員：岩橋、永田孝、永田寛、森田博、百合草
【内　容】
　前日の雨の影響もあってか、今年は参加者の方は少なめの印象でした。
　当日は風が強く、気温も低かったためホタルが観察できるか心配でしたが、森の中では数頭観察することができました。
　飛んでいるホタルは見られませんでしたが、地面で光っているのを見つけては「あそこにいるよ！」と嬉しそうな声があがっていました。
　＜観察できた生きもの＞　ヒメボタル

【観察会の様子】



【左】受付場所で始めの挨拶＆諸注意



【右】ヒメボタル。体長は6～7㎜ 小ちゃい。

トップページへ

【行事名】　アオウミウシを見つけよう　　●南知多町環境課主催

【日　時】　2018年5月27日(日)　9:30～12:00
【場　所】　県水産試験場P⇒峠海岸
【天　気】　晴れ
【担　当】　田中（達）、中村（英）
【参加者】　一般50名（大人23名 子ども27名）　町職員2名
　　指導員７名：大矢（晃）、大矢（美）、門脇（綾）、門脇（重）、田中（達）、中村（英）、森田（博）
【内　容】
　今回で4回目となるアオウミウシを見つけようが晴天のなか開催されました。県水産試験場駐車場から峠海岸までの道のりは、徒歩で漁港内の生き物を観察しながら進みました。
　参加者には3つの約束事、「①生き物は素手で直接触らないこと、②滑ると危険なので絶対に走らないこと、③生き物を見つけても深いところには入らない」ということだけを注意し、思い思いの場所で観察会を始めてもらいました。
　今回の観察会についても、まとめで生き物の名前を一つ一つ説明をするのはやめました。その分、どんな場所にどんな生き物が生息しているのかを知るなどして、磯の生き物に親しむ時間を大切にしました。また、素手で触っても大丈夫な生き物については、どんどん子どもたちに素手で触ってもらいます。名前については、採集時に、近くの指導員に聞いたりすることは、当然、ありです。
　なお、この観察会については豊浜漁業協同組合さんの特別な許可を得て実施しています。
（記・田中達）

【観察した生き物】
◎魚の仲間：ナベカ、コモンイトギンポ、ギンポ、キヌカジカ、クサフグ、メバル、スズキ、ドロメ、メジナ
◎ホヤの仲間：シロウスボヤ
◎ウニ、ヒトデ、ナマコの仲間：ムラサキウニ、イトマキヒトデ、バフンウニ、サンショウウニ、ニホンクモヒトデ、ナガトゲクモヒトデ、ヒメヒトデの一種
◎エビ、カニの仲間：イソガニ、ヒライソガニ、オウギガニ、ユビナガホンヤドカリ、イワフジツボ、クロフジツボ、シロスジフジツボ、カメノテ、フナムシ
◎貝やイカ、タコの仲間：マガキ、ムラサキイガイ、ナミマガシワ、アサリ、イボニシ、レイシ、スガイ、タマキビ、アラレタマキビ、コシダカガンガラ、イシダタミ、オオヘビガイ、シマメノウフネガイ、マツバガイ、ヨメガカサ、ウノアシ、カラマツガイ、オトメガサ、キクノハナガイ、ヒザラガイ、ヒメケハダヒザラガイ、ババガセ、スカシガイの一種、アメフラシ、クロシタナシウミウシ
◎ゴカイの仲間：　エゾカサネカンザシ、ヤッコカンザシ
◎クラゲやイソギンチャクの仲間：タテジマイソギンチャク、ヨロイイソギンチャク、ミズクラゲ
◎カイメンの仲間：ダイダイイソカイメン
◎海草類：アナアオサ、イシゲ、タンバノリ、キョウノヒモ、ヒライボ、ワカメ、ヒジキ
◎その他：ヒラムシ類

【観察会の様子】

【左】どうやって捕るのかな

【右】捕り方を説明

【行事名】　海辺の生き物　　● 美浜町環境保全課

【日　時】　2018年08月11日（土・祝）　09：30～11.30
【場　所】　美浜町富具崎港南側の磯場
【天　気】　晴れ
【担　当】　森田博文、永田　孝
【参加者】　一般：31名　　美浜町環境課職員：　2名
　　指導員：森田博文、永田　孝、門脇重弘
【内　容】
　晴れて猛暑が厳しい1日となり、参加者も少なめでした。ただし、中日新聞に掲載されたため遠くから参加された方もいらっしゃいました。
　富具崎港駐車場に集合し、ホテル小野浦南側の磯で生き物の観察、採取を行いました。
　例年に比べると種類、量ともに生物が少なかったように感じます。　午前11時過ぎより、森田指導員による解説を行って終了となりました。

【観察した生き物】
◎魚の仲間
　ナベカ、アゴハゼ、キヌカジカ、シマスズメダイ、クジメ、ミミズハゼ
◎ウニ・ヒトデ・ナマコの仲間
　ムラサキウニハスノハカシパン（殻）、イトマキヒトデ、マナマコ
◎エビ・カニの仲間
　イソガニ、ヒライソガニ、イシガニ、タカノケフサイソガニ、カメノテ、クロフジツボ、イワフジツボ
◎貝やイカ・タコの仲間
　マガキ、ナミマガシワ、スガイ、イボニシ、タマキビ、マツバガイ、ヨメガカサガイ、キクノハナガイ、ウノアシ、カラマツガイ、ヒザラガイ、ツメタガイ、ウチムラサキ、クチベニガイ、メダカラ、ハツユキダカラ、クロシタナシウミウシ（卵）
◎クラゲやイソギンチャクの仲間…ヨロイイソギンチャク、ミドリイソギンチャク、タテジマイソギンチャク
◎カイメンの仲間…ダイダイイソカイメン、クロイソカイメン
◎海藻の仲間…アナアオサ、オゴノリ、イシゲ

【観察会の様子】

【左】親子で協力して生き物を探します

【右】あまりの暑さに潮だまりに浸かる子も

【左】森田先生の解説に聞き入ります

【右】みんなが集めた生き物を持ち寄り

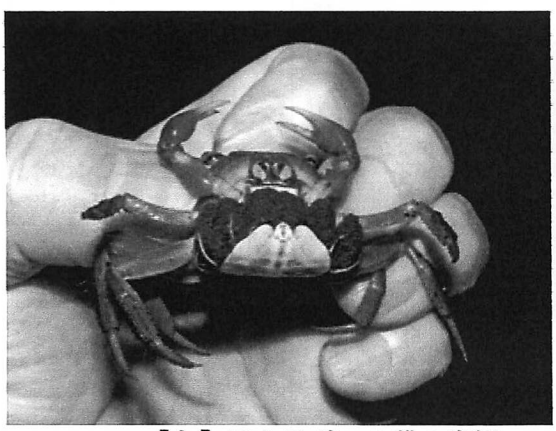
【行事名】　ウミホタルの発光を見よう　　●美浜・南知多ﾌﾞﾛｯｸ主催

【日　時】　2018年8月11日(土)　18:30～21:00
【場　所】　集合:南知多町聖崎公園Ｐ
【天　気】　晴れ
【担　当】　大矢　晃、大矢美紀
【参加者】　一般38名（大人17名、子ども21名）、町職員2名
　　指導員：大矢　晃、大矢美紀
【内　容】
本年は高温状態が続き、熱中症が多発していますが、この日の観察会は夕方のため日中よりは比較的過ごしやすい状態でした（師崎の最高気温34度、最低気温27度）。今回の観察会には38名の方にご参加いただきました。
聖崎公園駐車場での受付、ウミホタルの生態の説明ののち、ウミホタル採集場所に移動しました。
まだ明るいうちに、ブタ生レバー、イワシ、チクワなどのエサを入れた捕獲罠４つ用意し、海底が砂地の海中に沈め30分ほど待ちます。
この間、アカテガニが放仔する海岸に行き、アカテガニが卵を抱いている様子などを観察しました。
捕獲罠を海中に入れ、30分ほど経過したあと、罠を引き上げると、ウミホタルが捕獲罠に入っていることが分かりましたが、高水温のためかウミホタルの数はいつもよりは少なく、比較的小型でした。
ウミホタルの発光を見るためには刺激が必要なため、ウミホタルの入ったバケツからウミホタルを網ですくい刺激を与えると、真っ暗な中でウミホタルが青白く光りました。その青白く光る様子に参加者からは歓声が上がっていました。
今回も夜間にかかわらずけがをする人はなく、無事に終了しました。　　（記・大矢晃）
【観察した生き物】
ウミホタル、アカテガニ

【観察会の様子】

【左】本日の日程、ウミホタルの生態の説明

【右】暗くなるほど出てくるカニたち


【左】アカテガニの雌の腹側

【右】捕獲罠を海中から引き上げる

臨時の観察会

下記表には、学校、役場、子ども会などの団体から自然観察会等の依頼を受け
実施したものの中からホームページにあっぷされたものだけを掲載しています。

No	テーマ	主催者	実施日
1	「フナビオとふれあう会」	東海市立船島小学校	(2018. 5. 19)
2	「横須賀新川で生き物を調べよう」	東海市エコスクール事業	(2018. 5. 20)
3	「加木屋緑地の生き物を調べよう」	東海市エコスクール事業	(2018. 8. 19)
4	「野崎川の生き物を観察しよう」	知多市八幡みどり保全会	(2018. 8. 19)
5	「上野新川で生き物を調べよう」	東海市エコスクール事業	(2018. 8. 26)

行事名：「フナビオとふれあう会」　　（東海市立船島小学校 主催）

日時：２０１８年5月１９日（土）９：３０～１２：００
場所：東海市立船島小学校
天気：晴れ
担当：浅井一、平松俊
参加者：船島小生徒２５４名
　　指導員：浅井一、岩崎、榊原靖、平松俊、降幡、古川、山田和

＜内容＞
内容：雨を覚悟しましたが晴れて風の強い日になりました。９：３０にスタッフ全員校長室に集まりました。内田教務主任のあいさつ、説明の後スタッフごと持ち場に分かれて担当の講座を行いました。１１：４０に再び校長室に集まって教務主任よりお礼のあいさつを聞き、会を終了しました。（記　平松俊）

指導内容：

●１年生：草花遊び（担当　降幡）：実施した事

１　ツボミオオバコの相撲
２　シロツメクサの指輪作り
３　シラカシの葉を丸めて笛を作る
４　シャリンバイ花とヘクソカズラの葉の臭いを嗅いでの感
　＊いずれも保護者も参加して楽しく実施出来た。
５　最後にお土産として葉書大の画用紙にお気に入りの花をセロテープで張り花の名前を書いた。

●２年生：しおり作り（担当　山田和）：２年生の活動について

①朝礼台前に集合し、挨拶と諸注意をしました。
②フナビオを観察しながら、「しおりの材料」を採集する。
　※フナビオのコースを歩き、聞かれた植物名を教えました。
　※ときどき、集合してもらい、生き物と環境について、簡単に説明をしました。
③体育館の南側まで進めた後座らせ、採集した植物の数を確認し、図工室へ移動しました。
　※植物名はどうやってつけられたかを説明し、自分でも採取した植物に名前を付けてみることを伝える。
④電子レンジを使ったしおりの作り方を教師に説明していただく。
⑤パワーポイントを使い、フナビオで見られる植物を確認させたり、しおり作りに使った植物名を教える。
⑥最後にフナビオの良さを伝え、生き物に触れていってほしいことを話しました。

　○子どもたちの興味関心はとても高いと感じました。しかし、ふだんは進んでフナビオの中に入り遊ぶことはないようです。いろいろな機会にふらっと入り込み、見たり触ったりする体験ができるといいなと思いました。　　以上

●３年１組：水生生物観察（担当　榊原靖）：
ビオトープの水路（前半）と観察池（後半）で水生生物の捕獲・観察を行いました。
ビオトープ水路では、アメリカザリガニが最も多く、魚はドジョウのみでした。

そのほかにはヤゴ、マツモムシなどの水生昆虫、サカマキガイ、ミシシッピアカミミガメが見つかりましたがいずれも少数でした。
後半の観察池では、メダカ、タナゴ、フナといった魚が多数捕まって驚きました。
アメリカザリガニ、スジエビ、オタマジャクシ（ウシガエル）も見られて、
メダカやタナゴなど希少なものから、アメリカザリガニやウシガエルといった問題のある外来種まで混在していました。

●３年２組：昆虫観察（担当　平松俊）：
昨年同様教室へ行って行程説明、昆虫を探すコツ、危険な昆虫について話してから校庭の花壇の前に集合しました。
担任の先生に時間係をお願いして校庭を一周しながら昆虫採集を行いました。
１１：００に観察を終了して教室に戻りました。見つけた虫を場所ごとに書き出して校庭のどこにどんな虫が見られるかわかるようにしてみました。

●４年１組：野鳥観察（担当　岩崎）：
この時期野鳥観察には少し不向きな季節です、
夏鳥も山のほうに行ってしまった季節です。風も強かったせいか野鳥の数も少なったです。観察路の道端にオオキンケイキクが群生しているところがあります。野鳥があまり見られないので、この植物は、外来植物で特定外来生物に指定されていますと、野鳥の話ではなく植物の話をしながら歩いていきます。学校の近くに小さな池があり真池といいますが。
ここにはいつもカルガモがいますが、今日はいませんでした。
ミシシッピアカミミカメがたくさんいましたので、その話をしながら教室に戻りました。
今日確認できた野鳥は少なかったです。

●４年２組：野鳥観察（担当　古川）：
晴れたので観察路を歩きながら野鳥を探しました。

●５年生：川の生き物観察（担当　浅井一）：
５年生2グラスが前、後半に分かれ泉周辺と排水路でそれぞれ生物を捕獲した。
なお泉周辺は教員の指導のみで実施され詳細は不明です。
川とつながっているにもかかわらずヨシノボリを初めとした魚類がドジョウ以外に見られない。
赤耳亀の密度が高いことによるものか他にも理由があるのか8、19予定の川の観察会にも考えてみます

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【観察結果】

◆２年生：採取した植物
①ドクダミ②コバンソウ③ニワゼキショウ④オオバコ⑤ムラサキカタミ
⑥カキの葉⑦シャリンバイの花⑧モミジ⑨ノバラの葉⑩キャラボクの葉
⑪クサギの葉⑫シラカシの葉⑬トベラの葉⑭シロツメグサ⑮アカツメサ

◆３年１組：
〈ビオトープ水路の生き物〉
サカマキガイ、イトトンボの一種（アオイトトンボか？）、オニヤンマ、
シオカラトンボ、マツモムシ、コミズムシの一種、アメリカザリガニ、ドジョウ、
ミシシッピアカミミガメ（幼体）
〈観察池の生き物〉
ギンヤンマ、シオカラトンボ、スジエビ、アメリカザリガニ、
タナゴの一種（ヤリタナゴか？）、フナの一種、ミナミメダカ、ニホンアマガエル、
ウシガエル（オタマジャクシ）

◆３年２組：（昆虫）
花壇：ショウリョウバッタ幼虫、クロヤマアリ
樹木園：ガの仲間、クロヤマアリ、モリチャバネゴキブリ幼虫
トトロの道、ラクダ山：モンキチョウ、ショウリョウバッタ幼虫、
クロモンサシガメ？、キンバエ類、クロヤマアリ、
モリチャバネゴキブリ幼虫、ヒゲジロハサミムシ、
ビオトープ：アオスジアゲハ、シオカラトンボ、セボシジョウカイ、
ヨツボシケシキスイ、ヒメヒラタアブ類、
観察池：ヤマトシジミ、ルリシジミ、ベニシジミ、モンシロチョウ、
モンキチョウ、アオスジアゲハ、シャクガ類、オオシオカラトンボ、
ショウジョウトンボ、ツチイナゴ、ナナホシテントウ、
クロボシツツハムシ、オオタコゾウムシ？、

◆４年１組：（野鳥）
スズメ　　ツバメ　　ムクドリ　　ハシボソガラス　　ハシブトガラス
キジバト　　ホオジロ　　ヒヨドリ　　ヒバリ

◆４年２組：（野鳥）
ツバメ、ムクドリ、ヒバリ、スズメ、ダイサギ、ハシブトガラス、ケリ、
アオサギ、ホオジロ、ヒヨドリ、モズ、キジバト、ハシボソガラス、
カワラヒワ、ハクセキレイ（記録　吉川）

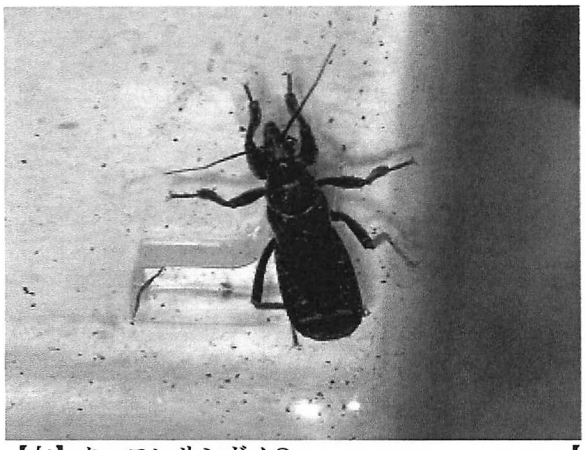
◆５年生：（川の生き物）　排水路で捕獲された生物
石亀、ミシシッピ赤耳亀、ドジョウ、アメリカザリガニ、タニシ、
トノサマカエル、沼カエル、やご　　以上（記録　浅井）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

写真

【左】ヨツボシケシキスイ

【右】ヒメヒラタアブ類



【左】クロモンサシガメ？

【右】オオタコゾウムシ？

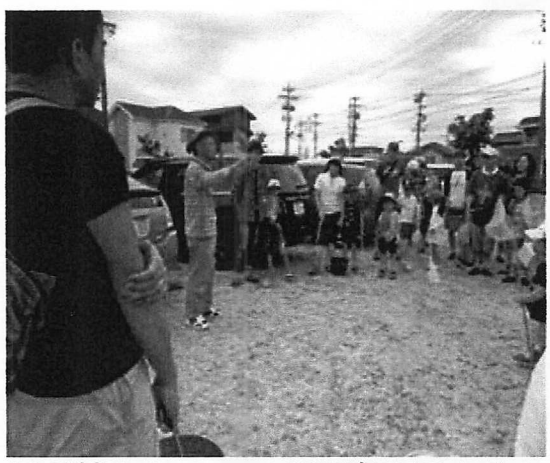
トップページへ

【行事名】「横須賀新川で生き物を調べよう」　　●東海市エコスクール
【日　時】2018年5月20日(日)　9:30～11:30
【場　所】横須賀新川
【天　気】晴
【担　当】南川
【参加者】　44名　（大人20名・子供24名）　　東海市職員　長坂・小島2名
【指導員】浅井一・田中央・水野恭・南川・以上4名
【内　容】　今年も晴天に恵まれて、多くの方が参加された。この横須賀新川は東海市では水質が一番の良い川であると市の方より，説明が有りました。川の現場では観察会の指導員から川の生き物たちがどんなところに潜んでいるか？捕え方、観察の方法、安全行動と注意事項を説明後、梯子から川に入り、親御さんと子供たちがタモやバケツを思い思い手にして、川の中をガサガサとサカナや川の生き物を求め活動し、サカナや生き物がタモには入ると感激や感性の声をあげて嬉しそうに楽しんでいました。今年は昨年よりウナギの稚魚（シラスウナギ）は多少少なかったが、アユカケ、稚アユも見られて、予想通り、サカナ等、川の生き物が多く見られて、参加者の皆様は観察会を楽しまれ、自然の一端を学ばれたひと時であった。

（（記：南川）

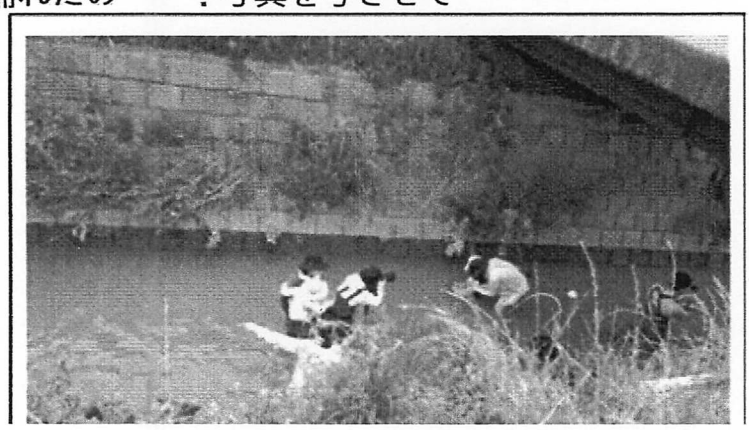
【観察した生き物】
（魚類）稚アユ、モツゴ、ウナギ（１年生？）シラスウナギ21匹、アユカケ、マハゼ、ボラ
　　スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、ヌマチチブ、スズキの稚魚、
（甲殻類）モクズガ二、スジエビ、ヌマエビ、テナガエビ、ミゾレエビ、アメリカザリガニ、
（貝類）　カワニナ、マルタニシ、マシジミ、タイワンシジミ、イシマキガイ、
（水生昆虫）シオカラトンボのヤゴ、アメンボ、コオイムシ
（両生類）　ミシシッピアカミミガメ、ナゴヤダルマカエル、ヌマガエル

【観察会の様子】
観察会についての注意事項と挨拶



安全に梯子から川に入り思い思いに物を求め
サカナ等、生き物を求めてガサガサと

何が捕れたの・・？写真を写させて



知多自然観察会報告書

【行事名】　東海市エコスクール「加木屋緑地の生き物を調べよう」
【日　時】　2018年8月19日（日）９：３０～１１：３０
【場　所】　東海市加木屋緑地 公園
【天　気】　晴れ
【担　当】　平松俊、岩崎、
【参加者】　一般２４名　　東海市職員３名　知多メディアスネットワーク３名
（指導員：平松俊、岩崎、降幡、南川）
【内　容】
朝からカンカン照りの暑い夏空の中で子供たちの元気な声と姿に励まされて観察会が開催されました。第一駐車場付近での林の木陰で東海市市生活環境課から観察会の趣旨説明と挨拶があり、花と緑の推進課の方から加木屋緑公園の成り立ちとこの公園に生息する生物の紹介、観察会から観察時の注意事項と観察時のポイント説明が有り観察が始めました。御雉山に至る観察路は昨年より緑が豊かになり、子供たちはタモを片手にトンボやチョウチョ、バッタを追い捕らえた物を虫かごに入れて暑さも忘れて元気に観察をしていました。御雉山観察後第一駐車場北の林の中を観察し、最後に林の下の図賀奈池周辺を観察しました。今年は期待されたカブトやノコギリクワガタは見つからず残念であったが、トンボやバッタ等は多く見つかり子供たち楽しそうであり、観察風景を撮影されるメディアに適所で対応し、子供たちは生き生きと観察を楽しんだ様である。最後の分かち合いでは平松俊氏から、個々に捕らえた子供たちの虫かごの中の昆虫を一人ずつ、名前を説明されると、子供たちは捕らえた昆虫を満足げにあらためて虫たちを見て、意義深い、楽しい観察会になりました。（記　南川）

【観察結果（昆虫）】
◎地域別に観察された生物。
①御雉山周辺
ヤマトシジミ・ウラギンシジミ、ナミアゲハ、モンシロチョウ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、コミスジ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、ギンヤンマ、ショリョウバッタ、マダラバッタ、キリギリス（声）、オオカマキリ、ナナホシテントウムシ、アブラゼミ（声）、クマゼミ（声）、ツクツクボウシ（声）、ベッコウバチ、

②林の中
キチョウ、サトキマダラヒカゲ、コクワガタ、シロテンハナムグリ、ユミアシゴミムシダマシ、アオバハゴロモ、スズメバツチ類、スキバツリアブ、

③図賀奈池及び東屋周辺
ヤマトシジミ、キチョウ、アオスジアゲハ、ルリタテハ、ホシホウジャク（又はクロホウジャク）、シメトンボ、ショウリョウバッタ、マメコガネ、キボシカミキリ、石亀、図賀奈池にて見て確認

④野鳥（見られたリ、なき声を聴いた鳥）
スズメ、ヒヨドリ、キジバト、ツバメ、ハシブトカラス、ハシボソカラス、カワセミ、ハクセキレイ

＊［全体的に今年は捕らえたり、見られた生物、昆虫が減少入している］

【観察会の様子】
観察会の開始の挨拶と観察時の注意事項とこの公園の成り立ちと生物を説明しています。

この周辺で昨年はカブトムシガいたよ？！　　林を抜けて御雉山へ草むらにトンボが飛んだ

【行事名】　野崎川の生き物を観察しよう　　●八幡みどり保全会主催

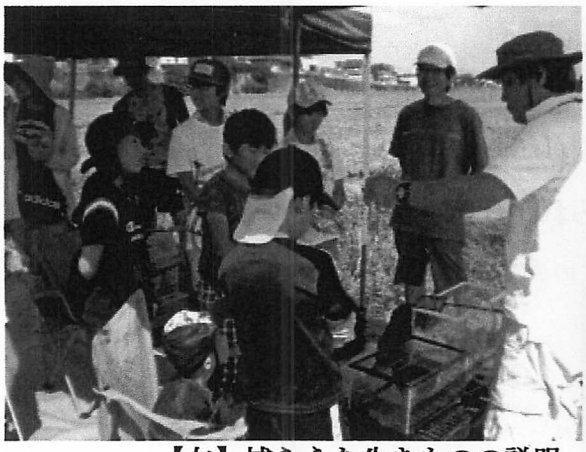
【日　時】　2018年８月１９日（日）　９：００～１０：３０
【場　所】　知多市　野崎川
【天　気】　晴れ
【担　当】　浅井一、田中央
【参加者】　子供９名・子供会役員８名　・八幡みどり保全会３名　・寺本台防災役員5名
　　指導員：浅井一光・田中　央
【内　容】

今年の夏は異常気象で、連日４０℃近くの気温で、熱中症が心配の毎日でしたが、台風の影響で、３０℃まで下がった日曜日、知多市野崎川で観察会が行われました。会の役員の方々がテントを２張り立てて日陰を作ったり、川に降りる階段やはしごも準備して下さったり、暑さ対策と安全対策に気を配っていただいた会場でした。
魚が隠れていそうな場所、タモを使っての魚の取り方などの説明の後、丸型のタモは川底にうまくつくように変形をし、川に入って魚獲りをしました。砂地の所、泥の所、草が生い茂っているところなどがあり、楽しく採集することができました。
そのあと、捕れたものを見ながらまとめをしました。マハゼが多く捕れましたが、カマツカが２匹捕れたのは川底の砂のおかげだと思われます。　　（記：田中）

【観察した生き物】

［　魚　］　カダヤシ　カマツカ　スミウキゴリ　マハゼ　ドジョウ
［　貝　］　カワニナ　マシジミ　タニシ
［カ　メ］　ニホンイシガメ　ミシシピアカミミガメ
［昆　虫］　マツモムシ　ハグロトンボのヤゴ　［その他］　アメリカザリガニ　テナガエビ　ウシガエルのオタマジャクシ

【観察会の様子】　　写真：八幡みどり保全会　黒川氏



【左】捕らえた生きものの説明

【右】参加者記念撮影

これまでの観察会へ　　トップページへ

知多自然観察会報告書

【行事名】　「上野新川で生き物を調べよう」　　●東海市エコスクール
【日　時】　2018年8月26（日）　9：30～11：30
【場　所】　上野新川
【天　気】　晴れ
【担　当】　南川
【参加者】　37名　大人17人　子供20人　東海市の職員２名
　　指導員4名　田中（央）・浅井（一）・門脇（重）・南川
【内　容】　今年は酷暑であっが、今日は暑さも少し和らぎ、絶好の川の観察日和となりました。常連の参加者が昨年もウナギも取れたし、今回も期待してこの川の観察会に参加したと話されていた方も見えて、最後の夏休みでもあり、いつもながら参加者が多い観察会となりました。市の職員の方の挨拶と東海市を流れる川の現状と自然環境についての説明と、観察会をから田中さんから川の生き物の観察方法、捕え方、注意事項等の説明が有り、川の観察が始まりました。生き物との出会いと楽しみと期待をもって、川に入りました。子供たちはタモを片手にお父さん、お母さんと一緒になりタモに入った生き物を嬉しそうにバケツに入れたりし、川のあちらこちらで感激や感性の声をあげて楽しんでいました。今年も昨年より、大きなウナギとフナ、ドジョウ等と最近見られなくなった水生昆虫のタイコウチが捕らまえられ、ミニ水族館をかこみ、分かち合いを行いました。今年はアメリカザリガニが見つからず、ドジョウは増えているようでした。今年も参加された皆さんが楽しく、熱心にこの川の生き物を観察されて、有意義なものになりました。（記：南川）

【観察した生き物】
（さかな）
ウナギ、フナ、スミウキゴリ、モツゴ、カダヤシ、ドジョウ、メダカ、
（その他）
タイコウチ、モクズガニ、ヌマエビ、ヌマガエル、ウシガエルの子供、クサガメ、
シオカラトンボのヤゴ

【観察会の様子】

観察会についての注意事項と挨拶

獲物を求めて川に入ります

何が捕れたかな

今年も大きなウナギを捕らえました

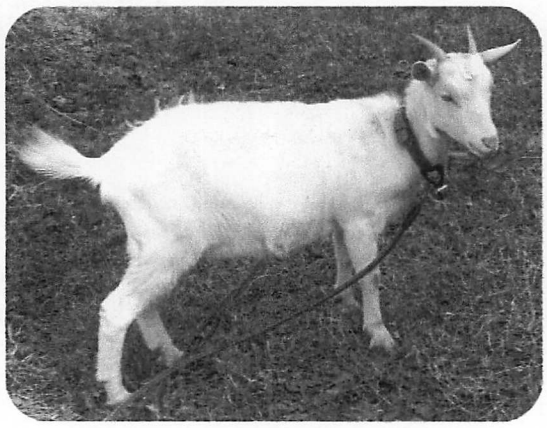
みんなが捕らえた魚等を説明します

今年オタマジャクシから孵ったウシガエルの子

発 表 の 場

知多自然観察会が実施する行事ではなく、会員個人の体験や活動したことを掲載しています。

No	テーマ	提 供 者	アップ日
1	カタツムリとモモタナマ	中井三従美	(2018.1.30)
2	知多半島でツノゼミ発見	永田　孝	(2018.6.30)
3	ホルトノキの花	榊原正躬	(2018.7.2)
4	マルカメムシの幼虫と成虫	藤井辰子	(2018.7.6)
5	イチジクの種子	榊原正躬	(2018.8.18)
6	ラッパイチョウ	永田　孝	(2018.9.27)
7	ショウガの根茎の側根に塊根	榊原正躬	(2018.12.17)
8	イヌマキの芽生え（胎生種子）	榊原正躬	(2018.12.18)



カタツムリとモモタマナ　※ 沖縄での出会い

2018.1.30 アップ

沖縄～蒲池海岸のロマン

会員：中井三従美さんからの連絡を以下に紹介します。

＜以下…メール原文＞
先日の沖縄でみどりのカタツムリをみました。
沖縄にはカタツムリが沢山いて、もっと下調べをしてからと後悔しました。
（アオミオカタニシのようです）
昨年「蒲池海岸の漂着物を楽しもう」で拾った種（モモタマナ）を沖縄で実を拾いました。遠くまで流れて来るうちに、小さくなってしまうものですね。とても軽く本土までの距離に納得しています。
左から木の実、こうもりが皮を食べた後　風に舞うほど軽い一番右は蒲池海岸の漂着

中井三従美

写真クリック→拡大サイズ

【左】アオミオカタニシ　　【右】左から木の実、こうもりが皮を食べた後　風に舞うほど軽い一番右は蒲池海岸の漂着

後日、会員：吉川洋行氏からのコメントが届きましたので下記に紹介します。

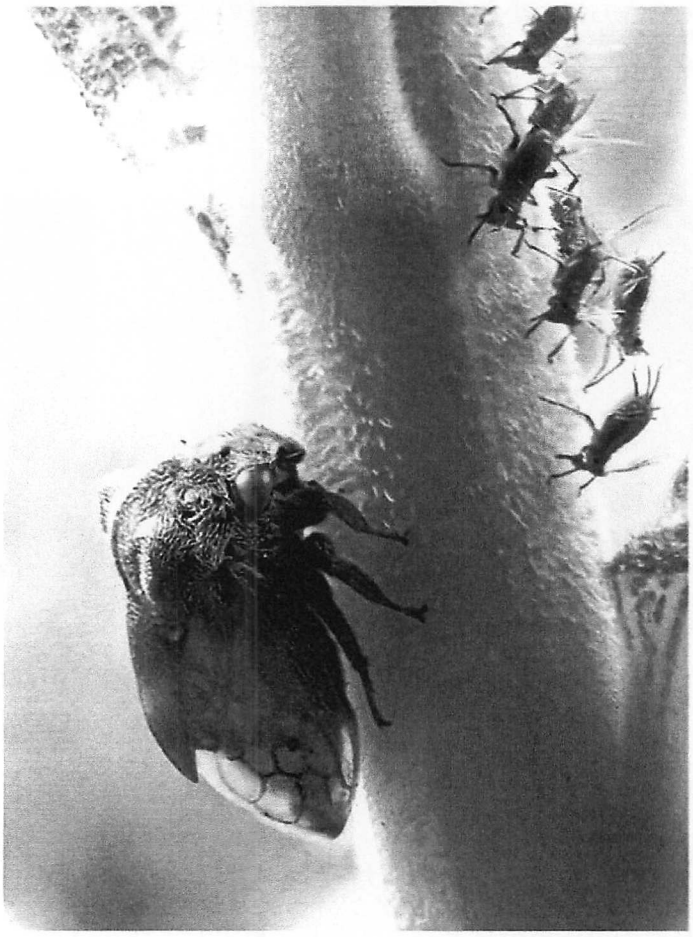
From:begonias@ezweb.ne.jp [2018/02/01 0:53:09]
今回行ったメキシコのユカタン半島にも、モモタマナ(インドではシーアーモンドと言ってました。)がたくさんありました。東南アジアやスリランカの海岸にも多くて、インドのデカン高原の乾燥地帯などでも日差しよけとして活用されてましたが、コスモポリタンです。
iPhoneから送信

永田氏が知多半島でツノゼミ発見

榊原正躬です
【宛先】知多自然観察会会員
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
前略
下記内容は会員の永田孝氏のフェースブックで2018.6.25現在で閲覧できたものです。（※永田氏の投稿日は6/10）
永田氏とフェースブック仲間になってる人はご覧済みものものですが、極めて貴重なので紹介します。
下段に私の思いも書き込みました。　　2018.6.25 アップ

永田 孝さんは 愛知県 知多郡にいます。 ・・・
6月10日 9:03 ·

トビイロツノゼミ
ツノゼミの中では普通種のようだけど
自宅近所でツノゼミのなかまに出会ったのは初めて



阪〇〇子 どうして永田先生のまわりにはこんなに珍しいものが…というより、観察眼が優れているのですね！また「スケスケ」のお話も聞きたいです!!

いいね！ · 返信 · 2週間前 1

阪〇〇子 写真集出ないかなあ。私買いますよ 3

いいね！ · 返信 · 2週間前

永田 孝 写真集ですか
じゃあその夢を胸に秘めて
コツコツ撮りためていきます（笑） 2

いいね！ · 返信 · 2週間前

返信する…

西〇〇祐 え～
これは見たことがない！
というか、これを見つける能力と身近にいる環境に超驚きです 3

いいね！ · 返信 · 2週間前

永田 孝 近所をゆっくり歩いているだけですよ 1

いいね！ · 返信 · 2週間前

西〇〇祐 私も敏感な方ですか、確実にすごいと思います。
見つけられて羨ましい限りです。 1

いいね！ · 返信 · 2週間前

返信する…

永田 孝 今、写真見てて思ったんですが
ダリっぽっくないですか？ 2

いいね！ · 返信 · 2週間前

西〇〇祐 ああ、しっくり来ますね～ 1

いいね！ · 返信 · 2週間前

返信する…

土 〇〇 子 私もウチの窓からガラス越しに出会った時があります
が、妖精と出会ったに等しい(たぶん)感動でした！
右側の赤いアブラムシは、あの長い名前のでしょうか？ 1

いいね！ · 返信 · 1週間前

永田 孝 そう、私もうれしかったです
赤いのはセイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ
ですかねぇ 1

いいね！ · 返信 · 1週間前

返信する…

コメントする…

投稿するには Enter キーを押します。

＜私の思い＞
一年ほど前、私が観光がてらにチェンマイでツノゼミを探つもりだったころ、永田氏にツノゼミのことを聞いたら「この辺（知多半島）でもいるハズ」とのことでした。
ホントにいて、それを見つけたとは…全く恐れ入りました。（根性ハンパなし！）

ちなみに、チェンマイに行く前にツノゼミのチェック結果…↓
http://9.pro.tok2.com/~polepole/170822tsunozemi-chiengmai/index.html

※よろしかったらご覧ください。

ホルトノキの花

撮影：2018.6.29(金)。半田市の市街地の道路脇　　(アップ：7/2)

正直言って、ホルトノキはアチコチで見たことはあったが、花を今まで見たことがなかった。
本日(2018.6.29)、街路樹で手の届く所にも花が咲いていたので簡単に撮れた。紹介します。 (From 榊原正躬)

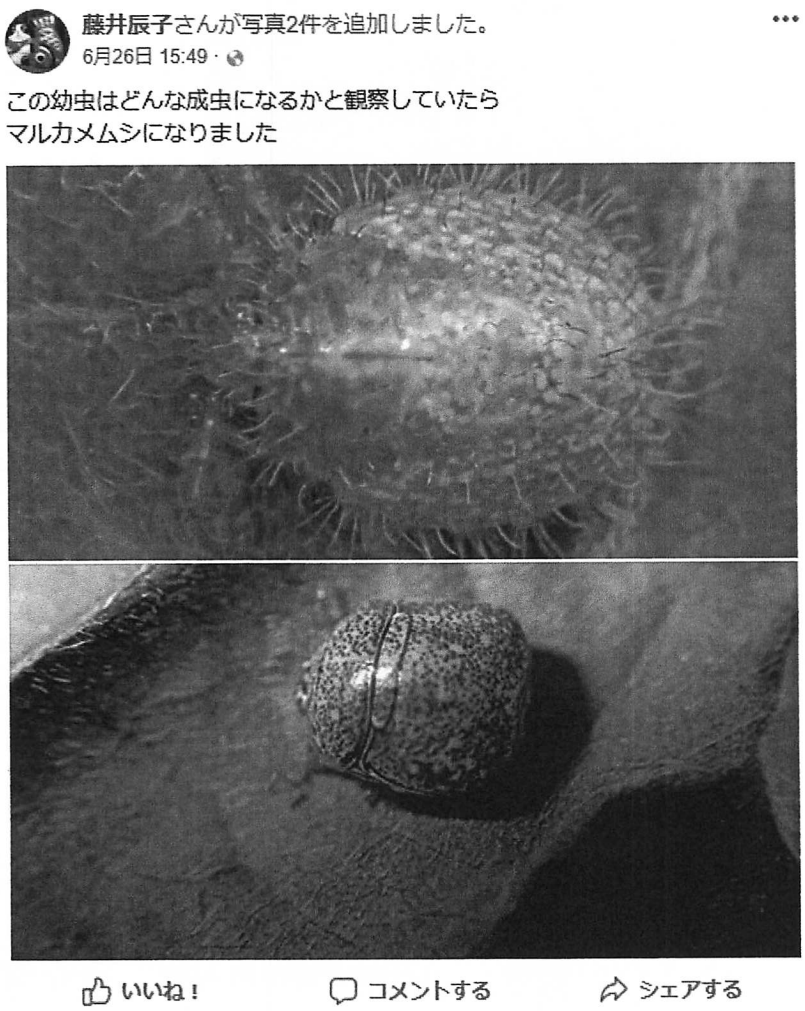
※ 写真をクリック→拡大写真

ホルトノキの特徴…年中（夏でも）、赤い葉が所々に付いている

よく見ると変わった花。似てる花があった気がするが思い出せない

マルカメムシの幼虫と成虫

榊原正躬です
【宛先】知多自然観察会会員の皆さん
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
前略
下記写真は会員の藤井辰子さんのフェースブックで 2018.7.6 現在で閲覧できたものです。（※藤井さんの投稿日は6/26）
藤井さんとフェースブック仲間になってる人はご覧済みものものですが、このような比較写真は貴重なので紹介します。
下段に私の思いも書き込みました。　　2018.7.6 アップ



＜私の思い＞
　私のよく知ってる会員の多くはこのカメムシを見たことがあるし、種名を知ってる人も、まま、います。
　写真好きな人は、きっと、一度や二度は撮っていることでしょう。
　しかし、幼虫を撮ったのは会員の中では藤井さんが最初じゃないのでしょうか。
　この根性も半端なし！
　※ 今後、クズに出会ったら、このような幼虫がいるか見てみましょう。
＜追伸＞
　なお、私にはフェースブック仲間はいません。勝手に見させてもらってるだけです。
　また、投稿者の承諾を得ずに皆さんに紹介してます。
　藤井さんはメールをヤッてないので、このホームページを見ることもないでしょう。
　皆さんの誰かが本人に会われることがありましたらご連絡いただくと有り難いです。
――――――――
以上です。よろしくお願いします。

イチジクの種子

撮影：2018.8.17　　アップ：2018.8.18

だいぶ昔から、私は〝イチジクのタネを撮ろう〟って思っていましたが、今回、まったく、予定外に〝タネ〟を取り出したのでここに紹介します。
会員の皆さんの中には、当然、すでに取り出して収集している人もみえると推測しますが、私の目には届いていませんので、まあ、これは初公開と言ったところです。
ご笑覧ください。

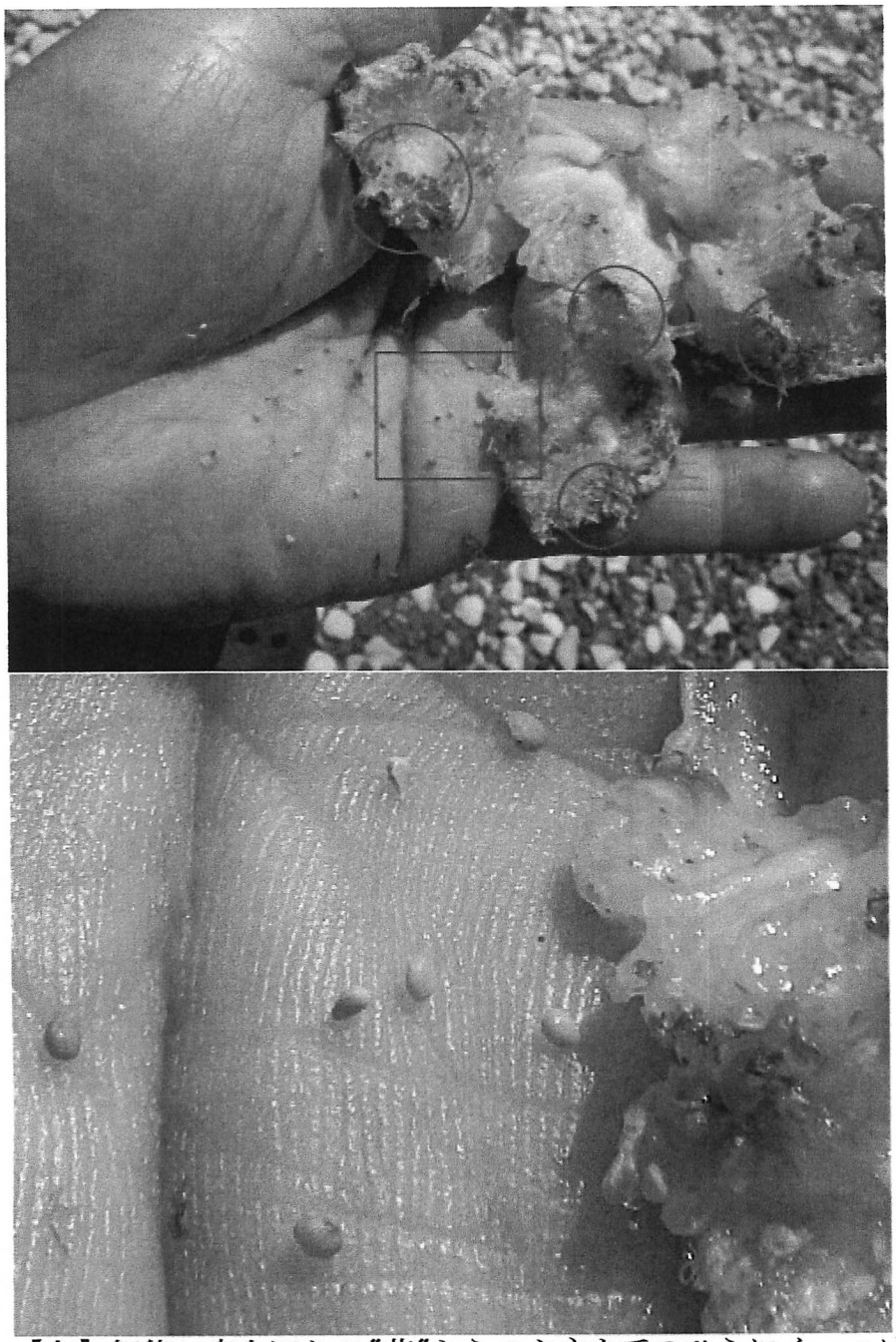
出かけようとしたら、孫が一緒に行くということで、その待ち時間の間に、
庭の小さなイチジクの木を見たら、毎日採っているが、〝しょぼくれた〝赤くなった果実が残っていた。

それを見て、「〝タネ〝でも確認してみようか」と思いつき、誰も採らないショボクレタその実を取って、玄関前に腰を下ろしてその実を解体した。

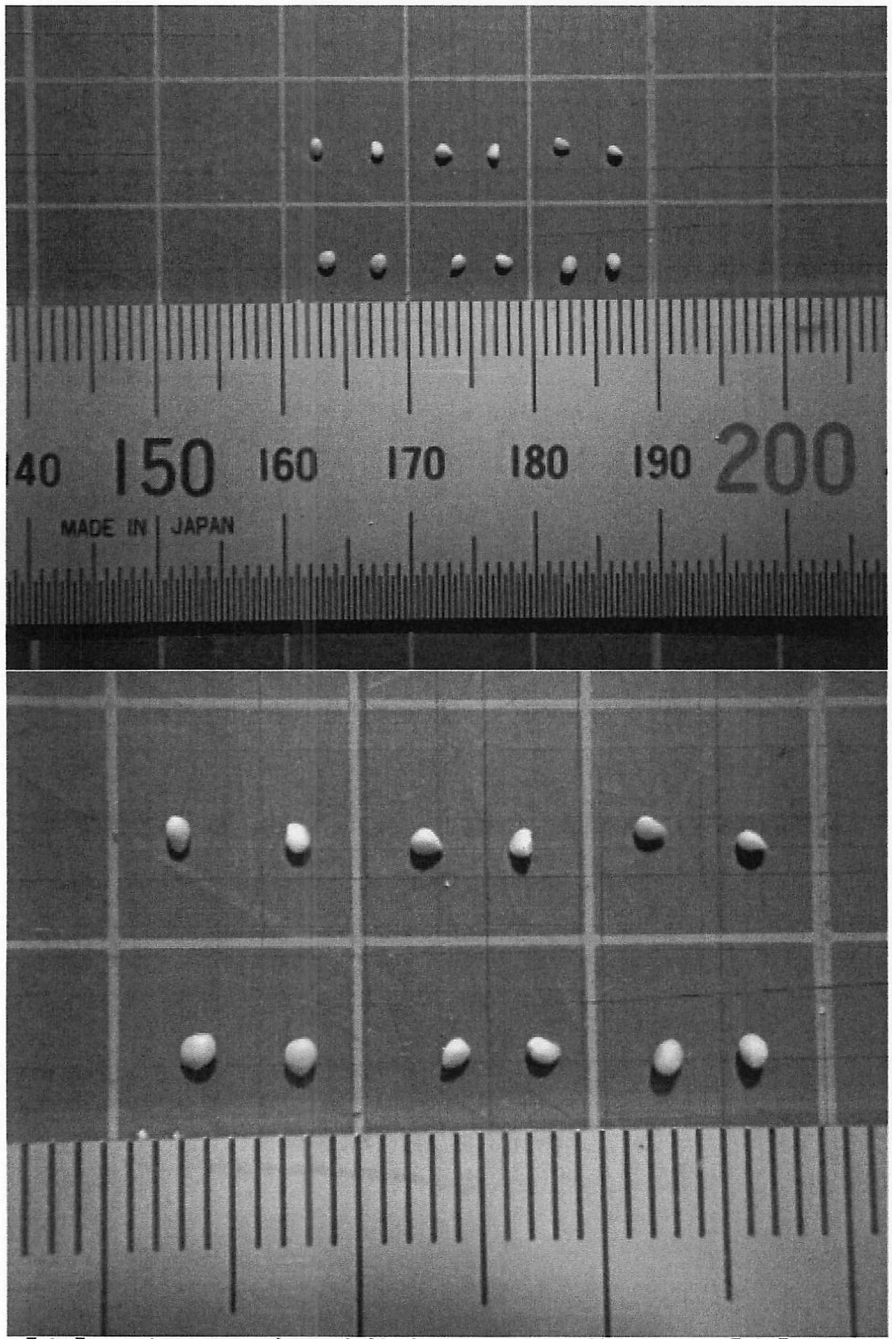
解体した果実は、左の写真のイチジクの木から取ったが、写真の果実ではない。
もっと、小さく、取って食べようと誰もが思わない貧弱な果実を取って解体した。

＜追伸＞
なお、左の写真の果実が十分実ったら、タネを取り出し、その写真を再アップの予定
よろしかったら、数日後、再度このページをご覧ください。

＜解体結果＞



【左】解体。赤丸辺りの″花″からのタネを手のひらにくっつけた　【右】左写真の赤四角枠の部分を拡大した画像



【左】小さめのタネは成熟途上のモノと推測　　【右】長さは1㎜以上だが、厚みは1㎜未満と推測　(1目盛り:1㎜)

ラッパイチョウ

会員の皆さん　こんにちは(^o^)

会員の永田氏が本人のフェースブックに表題の"葉っぱ"をアップしました(2018.9.25 6:13 アップ)。

私は、日頃、足下のイチョウの葉っぱをそれなりによく見ていると思ってますが、今までに、こんな形の葉っぱ見たことありません。
皆さんも、ほぼ同様と推測しますので紹介します。

発見者は、写真を添付送信していただければ有り難いです。　→masami@japan-net.ne.jp（榊原正躬）
2018.9.27 アップ　（榊原正躬）

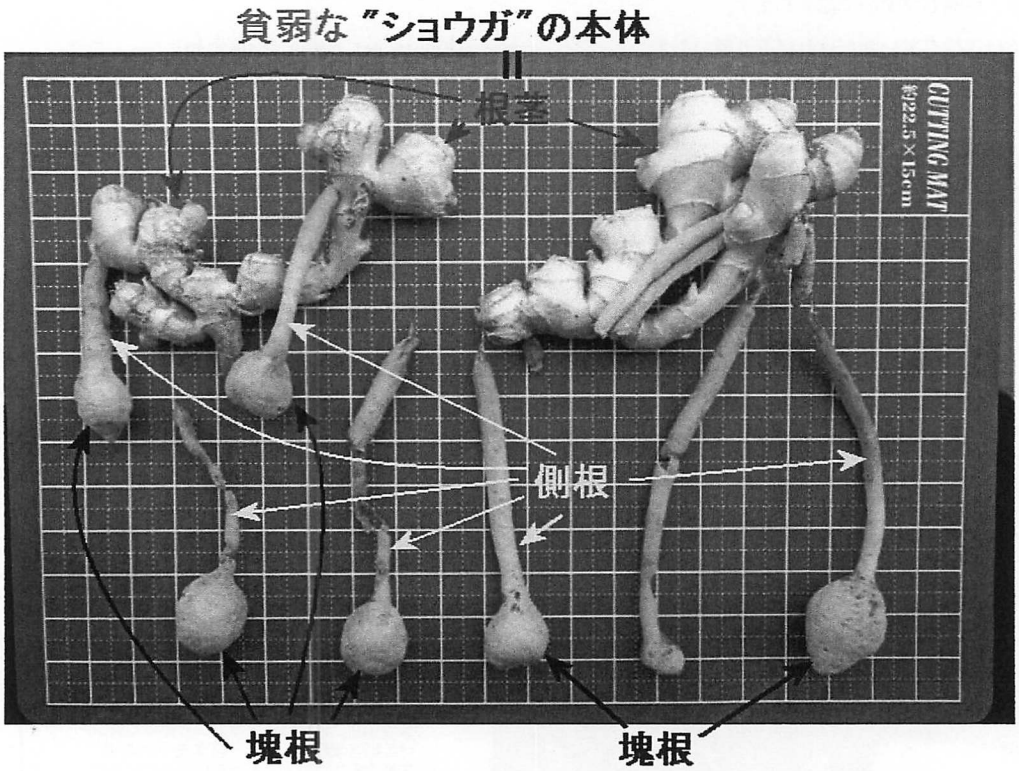
永田氏のフェースブック（一部）…↓

生姜(ショウガ)の根茎の側根に塊根が出来た

2018. 12. 17 アップ（榊原正躬）

※ *なお、〝根茎〟、〝側根〟、〝塊根〟の語句は下記写真の説明ため使用したが、正しい使用かどうかは、全く、定かではありません*

会員の皆様の中には、腕前相当なお百姓さんがたくさんいます（私の周りだけでも４名以上）。珍しい現象がありましたらご連絡ください。このように紹介したいです。なお、連絡は写真付きでお願いします。



今年(2018年, 平成30年）、水やりが不便な畑での〝ショウガ〟は夏の雨が少なくて大変貧弱なモノしか出来なかったようです。

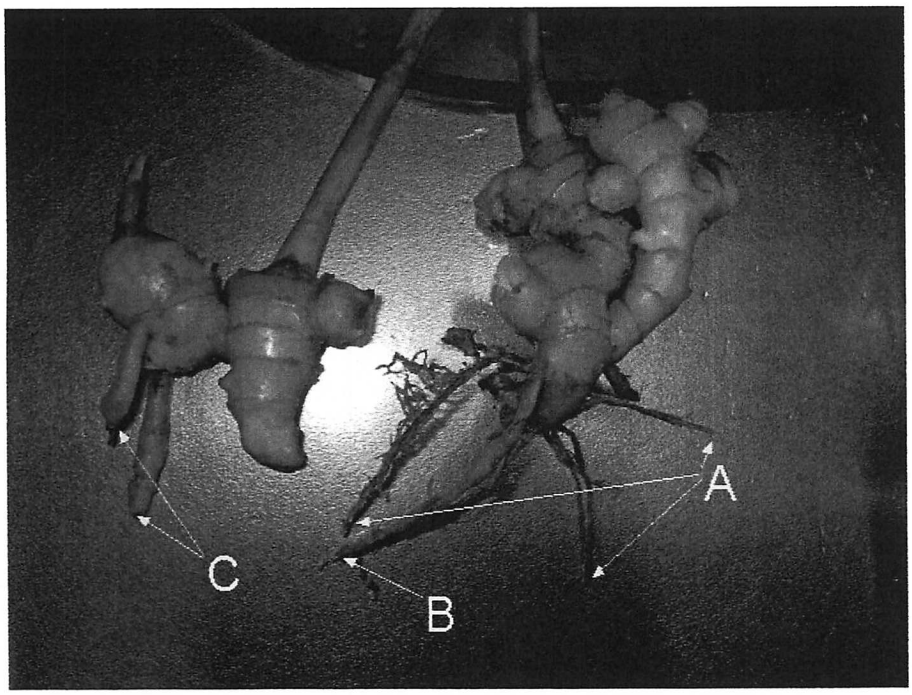
写真のショウガは私の春日井の友人（知多自然観察会々員の百姓オタクに優るとも劣らないオタク）の畑で出来たモノ。

掘り起こした貧弱なショウガに写真の〝塊根〟が付いていても、普通、気にも留めないが、この初めての現象に、友人(元は学者)は〝塊根〟も一緒に採集し、家に持ち帰った。

※ その結果、その一週間後(12/7) にその採集物をゲットできた（上記写真はその一部）

【参考１】＜野外の畑のショウガ と 適切な水やりのショウガ＞

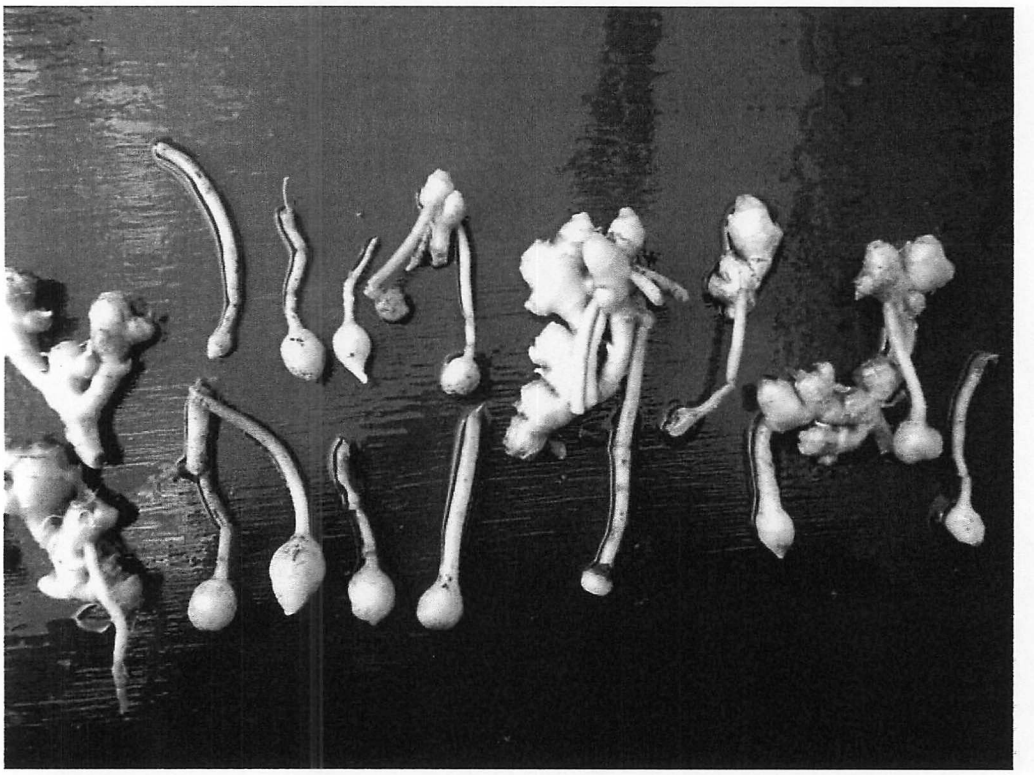
【参考２】＜ショウガの根茎と側根＞



※ どの根（A, B, C）に球体（塊根）が付いたか聞くために友人に送付した写真
※ 上記写真は適切な水やりのショウガを洗って撮ったモノ

友人からは、あえてどちらかと言えば、"C"という返信あり

【参考３】＜これだけいただいた。帰宅後、洗って撮ったショウガ＞　※ もらったときは、まだ、土が付いていた



【参考：友人のコメント】
※このメールがきっかけで、何回かのメールやりとり後、本日の対象物（塊根）のゲットに至る

２０１８年１１月２９日

生姜の知恵

生姜の根の先端に丸い玉ができました。直径は５mm～１０mm程度です（写真がないと大きな声がしますが．．．）。９年の経験で初めてです。本日は、この面白い玉の報告です。ネットで検索すれば理由が書かれていると考えましたが、答えはありませんでした。そこで私が考えた自己流の解釈です。

生姜は半日陰を好むのでサトイモの畝を利用し、サトイモの間で畝の北側に定植します。サトイモの葉による日陰を利用するのです。サトイモとほとんど同じ時期に発芽し、霜が降りる頃に終焉を迎えます。サトイモの葉は霜が降りると明くる日に枯れてしまいます。生涯が生姜と似通っています。

１１月２７日に生姜を掘り出しました。今年は７月、８月に雨が少なく野菜がほとんど生長しませんでした。生姜も例外ではなく、生きていることが精一杯と言える状態でほとんど成長しませんでした。９月になって成長を始めたのですが時はすでに遅く成長の途中で寒くなり小さな生姜しかできませんでした。

サトイモの間に１０株ほど定植していましたが、株によって例年の半分程度まで成長し、成長が遅れた小さな株は種芋より小さい物がありました。この新生姜の大小で、根の部分の形状が違いました。生姜の部分が例年の半分程度まで成長した株は例年と同様に通常の形状の根でした。ところが、生姜の部分が小さな株は根の先端が球形になりました。全部の根が球形になるのではなく、２０％程度が球形になりました。それもかなり深い位置で球形になっていました。

当然ですが、直径が１mm程度の成長途中の予備軍も見られました。私は、この現象は、生姜が子孫を残すための天性の知恵だと考えました。百姓の直感によれば上部の生姜は小さく、乾燥や外気温の変化に対応できず越年することは無理だと思います。そのことが本能的に分かるので、子孫繁栄用の非常スイッチが入り、根の先端に種用の球形の生姜を作り出したのだと思います。

体積が同じなら球形の表面積が最も小さく、保温や乾燥に耐えるのに最適な形状です。想像ですが、越年できる生存率も高いと思っています。

畑仕事は単純作業ですが、環境の変化を敏感に反映しますから面白いです。同じようなことは繰り返しても、同じことは二度とありませんから、同じようなことを前提にして収量を多くするしかありません。（禅問答か？）

イヌマキの芽生え

永田 孝さんは愛知県 知多郡にいます。
12月16日 9:21 ・

イヌマキの芽生え
久しぶりに近所を散歩していて見つけました
知多では畑の境界線によく植えられていますが
頭にタネの玉をつけて芽生えてくるのは初めて知りました

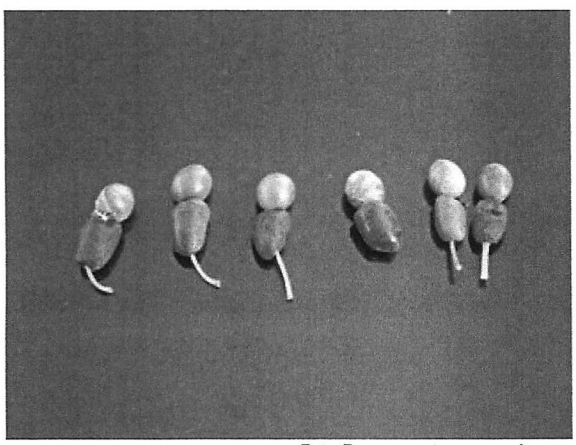
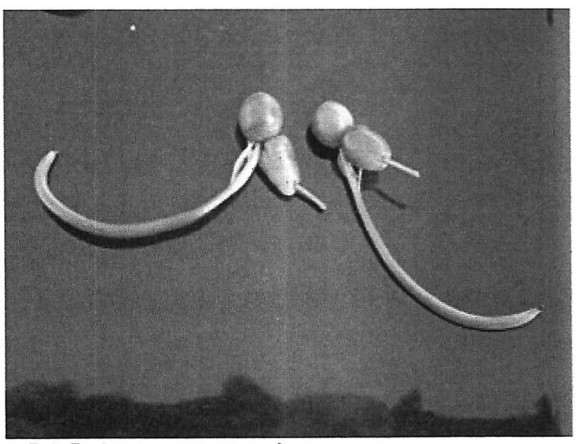
左記のFB(フェースブック)は、永田氏のFB仲間の方はご覧済み。当然、写真掲載であったが、私はその写真には何となく違和感を覚えた。
それで、自分で"種まき"して確認しようと思って、タネを採集に行った（半田市内）。
そしたら、そこで、"初めて見た"モノがあったので、以下の写真で紹介します。
※ 永田氏のFBの写真は土壌から出てくる"イヌマキの芽生え"で間違いなしです。以下の種子の現象説明は"ご覧の皆様にお任せします"。

(2018.12.18 アップ)

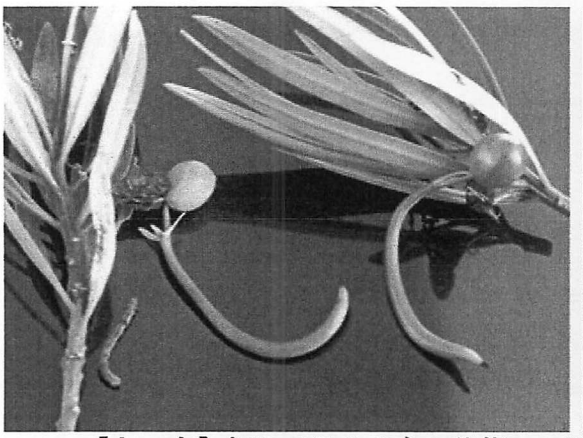
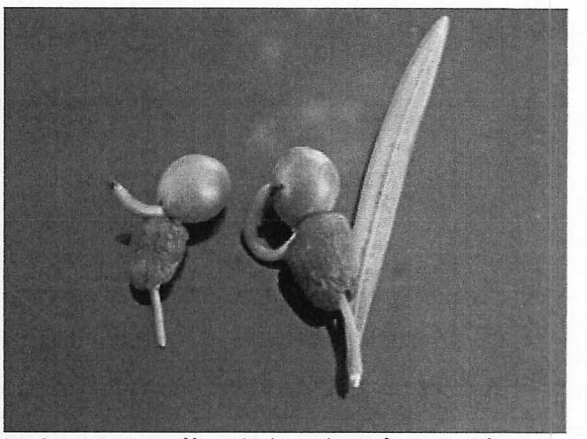
※会員の 吉川洋行 氏から、早速、12/19にメールでコメントをいただいた。最下段に掲載するので、是非、ご覧ください。

写真クリック→ビッグサイズ　　(撮影：2018.12.18 PM2:00 頃)

【左】これが"ふつうのタネ"　【右】"初めて見るタネ"

【左】ふつうのタネ　　【右】初めて見るタネ

【左・右】初めて見るタネの状態　　※これって、一体、どういう現象か…?!

※会員：吉川洋行氏からの 12/19のメール…↓

見出し　：　Re: イヌマキの芽生え
差出人　：　begonias@ezweb.ne.jp <begonias@ezweb.ne.jp>
宛先　　：　masami@japan-net.ne.jp
CC　　：
送信日時：　2018/12/19 8:23:03

この姿がまさに胎生種子の姿ですね。マングローブの木々と同じように、イヌマキでは胎生種子をよく目にします。
個人的には、この仲間でニューカレドニアなどで見られる川や池の中に育つものと同じ仕組み(その木はマングローブの木と同じような育ち方をするようです)が働いているのかなぁと思っています。

iPhoneから送信

平成30(2018)年度　知多自然観察会役員一覧表

役名	氏名	住所
顧　問	降幡　光宏	常滑市
代　表	榊原　　靖	半田市
副代表	南川　陸夫	知多市
〃	榊原　正躬	半田市
庶　務	吉川　　勉	知多市
会　計	森田　琢磨	常滑市
会計監査	山田　公子	東浦町
〃	牧野　靖子	半田市
阿久比ブロック世話役	平松　裕規	阿久比町
大府　〃	村瀬　由理	大府市
武豊　〃	畠　　烈	武豊町
知多　〃	南川　陸夫	知多市
東海　〃	浅井　一光	名古屋市
常滑　〃	森田　琢磨	常滑市
半田　〃	山田　和男	半田市
東浦　〃	竹内　秀代	東浦町
美南※1　〃	田中　達也	美浜町

※1…美浜・南知多ブロック　　以上　2018年2月4日 現在

編　集　後　記

今回の年報も印刷製本を業者に発注です。持ち込んだ原稿の写真印刷ですので校正という過程はありません。即ち、誤字脱字やおかしなレイアウト等すべて出来上がりは担当が編集したとおりです。従って何かありましたら担当の方へご連絡下さい。次年度の年報に反映させて頂きます。

さて、今回も編集面では特別大きな変化はありません。古くから年報に携わってみえた方はお気づきのことと存じますが、この数年、会員へ今回の“年報に掲載するための記事”やイラストなどを募集していません。従って内容は編集にあたって…に記載したごとく知多自然観察会のホームページにアップされているものばかりです。

その代わりホームページ上の「発表の場」のページはできるだけ投稿どおりに掲載するように心がけました。なお、「発表の場」のページに投稿したいが“やり方”が分からないという方はワードやエクセルで原稿を作りそれを私（榊原正）へ添付で送信していただければそれをホームページへアップしますので遠慮無く送信して下さい。（ただし、投稿者のレイアウト通りには掲載できるとは限りません）

いずれにしても今回も業者の制作ですので見栄えはＯＫです。内容及び構成については今後とも要検討です。

（年報担当：榊原正躬）

平成31年1月8日　　作成
連絡先　知多自然観察会
代表　榊　原　　靖
代表：ysakaki@cac-net.ne.jp

イヌマキの"胎生種子"

撮影：2018(平成30年) 12月下旬 -半田市内にて-

・実がいっぱい出来ている木でこれを探しても、普通、見つけられない
・この実がある木でもたくさんある実のなかでこれはホンの少しである
・元々、雌株のほうが少ないので探す気で探さないと簡単には探せない